

特233

マヌイルスキー著

856

資本主義戦後発展第三期

希望閣刊

始



特233
856



マヌイルスキー
戦後発展
資本主義 第三期



譯 序

このパンフレットは、コミンテルンの大立物マヌイルスキー氏が、

一、一九二九年七月のコミンテルン執行委員会第十回執行委員会總會を前にして「第六回世界大會後の一年」と題して書いたもの、

二、同じく一九二九年十一月に開かれた青年コミンテルン中央委員会總會に於て「第三期とプロレタリア青年」と題してなした演説（前半）、及び

三、一九三〇年一月のコミンテルン中央委員会總會に於て「恐慌、失業及びストライキ運動」と題してなした演説（全文）、
を集めてつくつたものである。

一九二八年のコミンテルン第六回世界大會は、資本主義の戦後發展を三期に分ち、略々一九二八年を以て始まつた第三期を以て、資本の矛盾の極度に激化せる時期、社會主義の飛躍的勝利の時期、資本主義諸國內の階級闘争の更なる激化の時期、×××革命運動の發展の時期、之を要するに「新たな

る革命的昂揚」の時期なりと規定した。大會後の二年有半は、この規定の全く正しいことを證明した。第三期の諸特徴は、今では完全に展開されてゐる。世界經濟恐慌——五ヶ年計畫の成功——支那、印度、ラテンアメリカ等の諸暴動——ストライキ闘争の未曾有の波。

第三期といふ時期は、全國際的規模に於ける決定的階級衝突を直前とする歴史的な時期である。譯者等は、マヌイルスキー氏のこれらの諸論策は、この第三期の性質、特徴について最も正しい規定と叙述とを含むものと考へ、敢て紹介するのである。

一九三〇年十月

譯者

目次

譯序

一 第六回世界大會後の一年……………三

一 前年に於ける重大事件……………三

二 第三期と資本主義的安定……………一〇

三 労働者大衆の左翼化と改良主義的首脳部……………一六

四 階級闘争を通じて労働者階級の多數者獲得へ……………二六

五 革命的統一戦線のために……………三六

二 革命的昂揚……………四九

一 五ヶ年計畫第一年の成果……………五二

二 アメリカの取引所恐慌……………七〇

三 ヤング案と「軍縮」……………八〇

四	オーストリー……………	六四
五	支那……………	六六
六	アフガニスタンとパレスチナ……………	一〇三
七	南アフリカ……………	一〇六
八	隠蔽された日和見主義が暴露された……………	一〇七
	三 世界經濟恐慌、ストライキ闘争及び失業……………	一一五
一	一 二二三の暫定的結論……………	一二七
二	二 恐慌の地理……………	一二九
三	三 恐慌の諸結果と諸共産黨の任務……………	一三五
四	四 戦術……………	一三九

第六回大會後の一年

一 前年に於ける重大事件

第六回世界大會以來、殆んど一年が経過した。それは、國際共產主義運動の集めた政治的經驗に基いて、若干の根本的な結論を引出すに足る一年であり、又、第六回大會の決議並びに同大會によつて規定されたコミンテルン各支部の立場の正しさを検討するに足る一年であつた。今や労働者の世界的運動が經つゝある時期は、諸事件が續出し、階級の力關係が數週間の中に急激に變化し、プロレタリアートの革命的黨がかゝる不安定な情勢との關聯において方針を新にし、屢々二十四時間以内にその戰術上の方針を改めることを必要とするやうな時ではない。歴史は種々なる時代において、種々なる規範を吾々に與へる。政治的印象主義——智的な觀察によつて三ヶ月毎に資本主義戰後發展の第三期の新特質を發見しようとしたり、いかなる犠牲を拂つても毎週、労働者運動の新段階を見出さうとする事は今や全く有害な試みでしかない。かゝる試みは非常に屢々、單なる帝國主義の不可分の屬性を新奇なものとして觀察するに至らしめ、又、いかなる犠牲を拂つても何か新奇なことを口にしようとする努力は、國際労働者運動の發展を内包する事實的、歴史的諸關係から遊離したところの・痲痺した雛型へ轉化するであらう。第六回大會によつて決定された方針は正當であり、目下の情勢にあつ

てもその意義を失つてゐない。いかに此の方針が正しいかは、前年における諸事件の結果が證明してゐる。だが若しも吾々が決定されたその公式を固守して、第六回大會以來、經濟及び政治の兩方面における國際的情勢並びに國際労働者運動の状態において顯著であるところの現實的變化に注意を拂はないならば、それは同時に、根本的に誤つた・それどころか有害な立場とならざるを得ない。コミンテルン内の右翼的及び協調的グループはかゝるスコラ哲學的保守主義の好例である。彼等の眼には、所謂第三期も、社會民主主義諸黨における機能の變化も、第三回世界大會當時のものとは異つた戰術的方針の必要も、すべて映らないのである。去年は重大な意義を有する事件がいくつとなく發生した。世界各國で經濟的ストライキの波が高まりつゝある。それはさしあたりなほ分裂せる・統一のないストライキでしかないかも知れない。それにも拘はらずこれらのストライキの波は資本の現段階における攻勢が既にプロレタリアートの抵抗のシガラミまで来たことを物語つてゐる。プロレタリアートの側からの攻撃的性質の階級闘争は逆襲に轉化しつゝある。植民地並びに半植民地諸國では、極點に達した植民地壓迫の結果、ストライキ運動は、コロンビアにおける栽培労働者の蜂起が示すとほり、武装蜂起の形を取つてゐる。インドでは植民地産業豫備軍の大群が最近の支那における事件を思はせる革命的過程へ入りこんで行く。インド革命は今やまさに日程に上つてゐる。資本主義歐洲の核

心、ベルリンでは、國際労働者階級の革命化といふ點において、又、労働者運動に對する社會民主主義の影響の震撼といふ點において、重大な意義を生ずるであらうところの諸事件が展開されつゝある。植民地諸國の労働者階級並びに勤勞者の戰闘的活動の昂進はブルジョアジーを、勤勞大衆との武装闘争に備へる軍事並びに警察機關の動員に、抑壓手段の強化に、あらゆる行政方法の急速なるファツシヨ化に導いてゐる。國內における政治的反動に適應して、外部への攻勢、就中國際革命運動の最強のバリケードたるサヴェート同盟に對するそれが増大して行く。國際的規模における階級闘争の尖鋭化のこれらの過程は植民地諸國へ影響を及ぼし、その結果、前年において民族ブルジョアジーは至る處で帝國主義の前に屈伏することによつて、急に右翼へ移行した（例へばインド、支那、エヂプト）。民族革命的運動において分化過程が尖鋭的に出現し、同運動の小ブルジョアの分子は急速に右翼化した。吾々はこの現象を南米諸國のメキシコその他の政府の運命の中に如實に見ることができ

る。前年においてアメリカ資本は歐洲（不戰條約、國際賠償銀行案等々）のみならず、從來は英國資本の殆んど無制限なる支配下にあつた諸植民地に對して一層目覺ましく進出した。即ち、アメリカ資本は支那において第一位を占め、さらに近東、エヂプト、アラビア及びベルシヤにおいてその進軍が見

られた。世界へゲモニー獲得のための英米間の争ひ（全資本主義世界内部の中心的對立）は決着に近づきつゝある。支那における南京、廣西兩派の小競合は元來この世界政策の兩敵手の血なまぐさい遊戯であり、太平洋における來るべき大戦争の威嚇的な烽火である。社會民主主義者によつては戦争に對する保證として、右翼共產主義者、例へばフランスのクローゼによつては戦争を數年間延引せしめる要因として評價された經濟的利害の『紛糾』（國際カルテル、トラスト、發行銀行）が、實際においては來るべき戦争をして、もはやいかなる中立をも許さないところの・全世界に互る戦争へ轉化せしめることに役立つであらう。第六回大會によつて指摘せられた資本主義の獨占的傾向、即ち、國家資本主義の傾向——これを社會民主主義はデモクラシーの卵から這出した社會主義であると宣言してゐる——はいよいよ鮮明になつた。社會民主主義並びに改良主義的官僚的企業家組織及び資本主義國家との合生は前年のみならず、概して最近數年に互つて著しい進歩を遂げてゐる。今日吾々は、ブルジョア國家機構への社會民主黨の首腦部の参加について、一九一四年八月四日の裏切りの後におけると同様に語るわけにはいかない。

社會民主主義は數千のその活動分子をブルジョアジーの食卓からの施物によつて腐敗せしめてしまつた。社會民主主義は、労働組合、企業家組織、都市行政によつて、又、労働省、疾病共済會或はそ

れに類似のもの、警察機構等々における官僚的地位によつて、その活動分子を自己の奉仕する現在體制に對して利害關係を持たせてゐる。ベルリン事件はかゝる官僚的身分がブルジョアジーの歩みによつて促進せしめられることなく、單獨にファシスト化しつゝあると同時に、同じ速度で労働者へのその影響を失ひつゝあるといふことの例證である。社會民主主義は、労働者運動における自己の役割の歴史的期間が短縮され、自分たちは労働者階級が資本主義と最後の戦をなすために、踏み越えて進むべき最初の××であるといふことを、自ら覺つてゐるだけ、ます／＼逆上するであらう。資本が、傳送裝置的に整列されたあらゆる組織を以て、自己の代理人たる社會民主主義の援けを借りつゝ、労働者階級の中へかくの如く侵入するといふことは、ことさら労働者の闘争を困難ならしめる。あらゆる經濟的闘争は労働者階級と全資本主義國家との衝突に導く。併しながら労働者階級は他方においてそのことによつて、直接に『政治』へと導かれるのである。かくて彼等は資本主義制度の全からくりを益々あからさまに目撃するのである。資本主義のあらゆる特徴が最も鋭く表現されてゐる。最も發展せる資本主義國家の一つにおいて起つたところの、ルール地方の闘争は全國際プロレタリアートの面前へ、プロレタリアートは資本主義社會のありとある力が集中せられた戦線を如何なる方法で突破すべきかといふ問題を提出してゐる。この問題は、現時期における闘争の特殊な諸關係が労働者階級の

個々の層の中に、個々の部分的闘争は無益だといふ気分、及び力を最後の決定的な戦のためにのみ取つて置くべきだといふ気分をかもしてゐる以上、ますます大きな・実践的な意義を有してゐる。かゝる気分は統一労働者同盟（C.G.T.U.）に属するフランス鐵道従業員の間で起つてゐる。彼等はなほ、一九二〇年における自分たちの運動の敗北の影響から脱け切つてゐないのである。

最後に、前年二三の共産黨（ドイツとチェッコ・スロバキアの）において一系列の右翼の危機が起つた。資本主義の部分的・相対的安定と時間的に一致する、コミンテルン支部のボルシェヴィキ化に關する危機の段階後の數年間において、吾々の諸支部の黨内諸關係及び黨内諸分派に一定の安定性が生じて來た。併しながら労働者階級の活動性の増大は、國際共産主義運動の根本的問題の解決における組織的方法と習慣とに對して、又、階級關係の或る種の安定の時期において吾々の諸支部の個々の分派にあつて完成され、採用されてゐた習慣に對して、矛盾を形成するに至つた。この、社會民主主義の全政治的遺産と歴史的に結びつけられた右翼の並びに協調的分派——彼等は屢々、労働者階級の闘争の重大な段階において（一九二三年のドイツ、チェッコ・スロバキアにおけるブブニク危機）、その日和見主義的本性を現し、事實上は共産黨内における左翼社會民主主義の小細胞に退化した——は國際労働者運動の高まりつゝある波によつて一掃されてしまつた。この運動の波が高まれば高まるだけ、

いよ／＼速かにかゝる分派は社會民主主義の側へ移行するであらう。右翼の危機（ドイツにおけるブランドラー、タールハイマー、チェッコ・スロバキアにおけるハイマ、イレック、ノオイラート）は明かに次の如き決定的な・争ふ餘地のない事實を示した。即ち、コミンテルンの存在の十年間において、個々の支部のボルシェヴィキ化のためのその執拗な闘争の十年間において、國際共産主義運動の中に、共産主義運動を分裂せしめようと企てるあらゆるものを粉碎せしめざるはやまさるボルシェヴィキ的幹部の核心が発生したといふこと、これである。これらの幹部はまだ初陣の経験もなく、なほ多くの缺點と弱點とを有してゐるにも係はらず、その意識の中には共産主義インターナショナル以外には労働者運動は絶體に存在し得ないといふ堅い認識が嚴として存在してゐる。同様に前年においてはヨリ明かに、ヨリはつきりと右翼的並びに極左分派の・統一的な社會民主主義的潮流への合流が行はれた。これらの小分派は宗派的階性的の結果、外界に對して組織的にはなほ別れ／＼に存在し得るが、併し彼等の親戚關係は過去の諸経験を度外視しても、既にベルリン事件と關聯して曝露された。即ち、彼等はドイツ共産黨に對して、大衆からの遊離の非難、暴動煽動の非難、労働組合『大衆』——彼等は街頭示威を行へといふドイツ共産黨の檄に對する對抗として、限られた場所で示威をするやうに社會民主主義によつて要求された——の輕視の非難をあびせてゐる。すべてこれらの問題は別々にはなして觀

察することは出来ない。それらは、第六回大會によつてその主要方向を豫示された世界情勢の特徴づけて結びつけられとる。

二 第三期と資本主義的安定

コミンテルン執行委員會總會において、吾々は先づ第一に、資本主義的安定の性質に關する問題における第六回大會の決議を修正せんとする、右翼及び協調派の試みを排撃しなければならぬであらう。次に必要なことは、新契機を基礎として『第三期』の概念をより嚴密に公式化し、具體化する事であらう。資本主義的安定の性質は決定的な問題である。コミンテルンによる此の問題の解答如何によつて、サヴェート同盟及び資本主義諸國の國際的並びに國內的情勢の評価が決定されるのである。資本主義の内部的・經濟的諸矛盾、プロレタリアートの階級闘争、最近の植民地運動（インド、支那）、或は國際的戦線における諸蜂起（コンゴ、インドネシア等々）、これらのものゝ意義を資本主義安定を崩壊せしめる要因の一つとして過小評價するものは、この安定の強固さをも過大評價すること疑ひなしである。

日和見主義の本質は常に、それが敵對階級の力を過大評價し、之に反して自己の屬する階級の力の前には非常に懐疑的な態度を取ることにある。同志エーヴェルトは第六回世界大會の席上、一九二七年のウキン・プロレタリアートの七月蜂起の如き運動はオースタリーのやうな國においてのみ可能であり、オースタリーの特殊な國際的情勢によつて條件づけられてゐる、と極力主張した。ところが一年後のベルリン五月事件はかゝる主張がいかに『先見の明ある』ものであるかを示した。吾々の共產主義的日和見主義者らは安定の性質の評価に際して、階級闘争の尖鋭化の要素を理論的には敢て否定しようとしなない。然るに具體的なプロレタリアートの闘争に當つては常に彼等は悲觀主義の毒を撒き散らして、プロレタリアートの闘志を鈍らすのである。

前年において労働者階級が戦つた階級闘争の間にあつてもさうだつた。だが國際日和見主義の役割はベルリン事件の評価と八月一日の國際反戦行動に對する態度決定とにおいて最も明白に示されてゐる。ベルリン・プロレタリアートのメーデー行動を『敗北』と見做し、既に今から八月一日の行動の失敗を豫言してゐる、これらの頭のどうかしてゐる人々が憂鬱症の空気を蔓延させるのである。これらの實踐的問題において、資本主義的安定に對する日和見主義的分子の眞の態度が曝露される。

國際共產主義運動における日和見主義によるプロレタリアートの力の過小評價はサヴェート同盟における右翼の態度と最も密接に結びついてゐる。この右翼はサヴェート同盟内の資本主義の萌芽に對

する闘争における同盟の労働者階級の力を過小評價してゐるのである。わがサヴェート同盟の社會主義的安定は資本主義諸國における労働者の革命的諸運動に劣らぬ程度に、世界經濟の資本主義的安定の非永續性を決定する一契機である。わがサヴェート同盟の社會主義的安定の意義を輕視したり、社會主義建設の困難に怖れをなして尻込みをすること、又、サヴェート同盟の諸事萬端を悲觀視し、同時に世界の資本主義的安定の抵抗能力を誇張して、その『繁榮』の前に低頭し、かくてこの點において、社會民主主義と親類關係の立場を取ること、これらのことに國際右翼的偏向の本性が窺はれる。かゝる態度からはそれに適應した戰術上の方針が生れることは當然である。日和見主義的分子は資本主義の力を過大評價することによつて、その前に屈服する。サヴェート同盟におけるクラークに對して餘り激しい壓迫を加へまいとする態度は、國際労働者運動における右翼的分子の・共產主義者と社會民主主義との多かれ少かれ平和な共存を計る方針と一致してゐる。それ故に社會民主主義に對する日和見主義者たちの態度はひどく消極的である。彼等は改良主義的組合における労働組合的誠實に賛成し、自立的な・ストライキ闘争の指導のために大衆によつて下から作られた・ストライキ委員會には反對する。何となればさうすることによつて、規約が破られ、改良主義的官僚の手に労働組合から左翼革命的労働者を除く機會が與へられるからだといふのである。彼等は未組織労働者の役割を輕ん

ずる。第三期は彼等にとつては資本主義的安定の緊留期、ブルジョアジーのあらゆる地位の強化期、と同義である。階級闘争は彼等にとつては、専ら、武器を奪はれ・力を弱められた労働者階級に對する資本の攻勢として觀察される。コミンテルン執行委員會總會は、資本主義的安定の基礎の上に生じ、それに一の相對性を與へてゐるところの・老大な諸矛盾の要素を出来る限り強調しなければならぬであらう。コミンテルン執行委員會總會は、從來よりも廣大な範圍に亘る階級闘争の準備のために、組織的な共產主義運動を刺戟して、かゝる諸矛盾のなほ一層執拗な徹底的利用に導くべきであらう。第三期は資本主義のあらゆる決定的な矛盾が、その技術的上昇の基礎の上に未曾有の尖鋭的な形を取つて現れ來り、資本主義にとつて解し決がたき性質を帯びる時期である（市場問題、失業、大衆の過少消費等々）。それは獨占的資本主義の寄生的特質が最も露骨な形態で出現し、獨占的資本主義をして生産諸力の發展の桎梏たらしめる時期であり、又、改良主義の地盤が狭まり行き、それと關聯して社會的闘争が、プロレタリア獨裁の國の存在といふ事實によつて強固にされた一大革命的運動の性質を帯びるに至る時期である。さらにそれは空前の大戦争、就中サヴェート同盟に對する戦争の成熟する時期である。之を要するに、それは、資本主義の一般的危機を尖鋭化せしめ、不可避的にXXに充てるプロレタリア革命の段階へ導くところの資本主義的安定の下降線の時期なのである。

第三期の『組織された』資本主義は腐敗し行く資本主義である。ゾンバルト、シュマーレンバツハ等々の如き、たゞ現存せるもののみを叙述することを知つてをり、この資本主義を名付けて『縛られた』資本主義となすところの、資本主義經濟の理論家諸君は例の獨乙學者の良心を以て、縛られた資本主義の諸相をその獨占的性質の歸結と認め、又、それとして算へてゐる。彼等は資本主義の細胞の中に個人の創意だとか、事業欲だとかといったやうな諸特徴——これらは過去においては資本主義制度に合目的性の外觀を與へ、一種の宗教的崇拜の對象として資本主義の辯護者に役立つのだが——の死滅過程を認めてゐる。有力なトラスト及び投資團に統一された・種々の經營の經濟的指導における、ますます／＼瀾漫し行く官僚主義化、社會化・計劃經濟等の必要に直面せる獨占的資本主義の明白なる不合理、すべてこれらの『組織された』資本主義の特質は決してゾンバルトやシュマーレンバツハの發見せるものではない。それは腐敗し行く資本主義の典型的特質であり、レーニンがその帝國主義に關する著作の中で確めたところのものである。

獨占、寡頭支配、自由への努力に代る支配への努力、——とレーニンは書いてゐる——少數の富強國民による、ますます／＼數を増す弱少國民の搾取、すべてこれらは帝國主義の諸特徴を生み出したのであり、これらの特徴によつて帝國主義を寄生的な・或ひは腐敗し行く資本主義として特色づけるのである。

ある。

資本主義の構成の變化は生産諸力の獨占的資本主義の時期における生産物收得の形式との間に存する諸對立によつて條件づけられる。

組織された資本主義はその全組織の安定が生み出す諸對立の上に築かれてゐる。景氣の急激な變動は單に、一般的不安定の結果であるばかりではない、それは不安定の度を高める。腐敗し行く資本主義は一般的な・冗長な・テンポのろい危機を伴ふ資本主義である。『正規の』資本主義のあらゆる對立は第三期においては未聞の廣大な範圍に亘る。市場問題は『正規の』資本主義の時代においても存在したが、現在、獨占的資本主義の時代におけるが如く、解明しがたき矛盾といふわけではなかつた。労働市場を悩ます失業者軍は資本主義の成立以來存在してゐる。没落せる手工業、貧窮化せる農民は若い工業に過剰な労働力を供給した。だが現在の失業は固定的性質を帯びてゐる。資本主義の腐敗期における資本主義的合理化は數百萬の人々を生産過程から追ひ立て、彼等をして、生産に従事するプロレタリア大衆にとつて重い負擔であるところの乞食又はルンペン・プロレタリアたらしめる。インドの如き植民地では失業は残忍な形態を取る、といふのはそれは工業の資本主義的合理化及び小營業者と農民の廣汎なる集團の貧窮化の同時的現れにほかならないのだから。

いかなる好景氣も資本主義をして、歐米の諸都市に溢れてゐる大衆の大部分が生産に従事し得るやうな状態に至らしめることは出来ない。だが生産における労働者の減少の傾向及び資本の流通領域（商業・人的勤務）への労働者の移動の傾向に基いて、資本主義腐敗期の新法則を打ち建てるのは今日なほ、恐らく早計であらう。併しながら生産に従事してゐる労働力の減少の一般的傾向の問題が提起されてゐるといふ事實はそれ自身既に次のことを指摘してゐるのである。即ち、ますます龐大な範圍に亘りつゝある失業問題の解決は近世資本主義の力ではどうにもならないといふこと、これである。このことはこの問題の解決の道を求めつゝある英國支配階級の狼狽によつて證明されてゐる、（英國における選挙カンパニアを見よ）。大衆の過少消費の問題も近世資本主義にとつては同様に解決しがた性質を持つてゐる。世界經濟の生産機構の激増と關聯して、又、經濟的に遅れた國々の工業化の結果としての・サヴェート同盟の發展の結果としての・大都市との商業關係を攪亂するところの植民地における内亂（たとへば支那）の結果としての・外國市場の狭小化と關聯して、國內市場の消化力の減少は資本主義に對して致命的な意義を持つ。失業者の數は世界中で千五百萬人、若しその家族を合はせれば六千萬人に上つてゐる。そしてこれらの六千萬人は消費の方面では最少限度の役割しか果たしてゐない。廣汎な勞役大衆の購買力の低下と平行して、吾々は資本主義の獨占的性質に關聯せる物價

騰貴を確認することが出来る。著名な・改良主義的な・労働組合指導者タルノフのやうな奴等はなるほど、労働者階級の狀態は二百年前とは比較にならないほど良くなつてゐると言つて、奴等が瞞着した労働者を慰めることは出来るかも知れない。だが彼等は、國民の財産と労働者階級の物質的水準との間の不釣合が一九一四—一八年の世界戦争の以前よりは遙かに大きくなつてゐるといふ事實を否定することは出来ない。近世資本主義の客觀的諸矛盾の背後には階級關係が存在してゐる。第三期はただに資本主義のあらゆる矛盾が擴大再生産される時期であるのみならず、階級闘争の極度の尖鋭化の時期である。資本主義を切りさいなみつゝある諸對立から逃路を見出すために、資本主義は最大の戦争を行ひ、世界の全大陸を戦争の渦中に捲き込まうと努力するであらう。その際これらの戦争は植民地における内亂と革命とを隨伴するであらう。今や世界は社會的闘争と震撼とに當面してゐる。これらの前には、世界大戦の結果として一九一八—一九年に歐洲に漲つた革命の最初の波は顔色を失ひ、單なる一挿話たるに止るであらう。プロレタリアートが勝利を占めるであらう國々は、他の資本主義諸國の反革命的政府に對して革命的戦争を遂行するの必要に迫られるであらう。……

吾々は今日やつと、イギリスの總罷業及び支那革命を序幕とする第三期の初頭に立つたばかりである。プロレタリアの闘争はなほ部分的性質を帯びてゐる。それはまだ、その評價に際して意見の相違

を許さないやうな・懷疑論者までが遲鈍せながらこの闘争の事實を承認せざるを得ないやうな・それほど廣大な範圍に亘つてはゐない。それはさしあたり、なほ個々の産業内で展開され、孤立的な・國民的な規模で進行する。集中的闘争、國際的性質の階級闘争は目前に迫つてゐる。この初期においてはプロレタリアートの階級意識はなほ、堅固にかためられた・階級敵の機構の影響によつて壓迫されてゐる。それ故に労働者階級の急進化も亦、一の複雑な過程である。

三 労働者大衆の左翼化と改良主義的首脳部

コミンテルン執行委員會議は、大衆の急進化の問題に對し、又左翼化の原因、その速度と形態の原因に對し、特別の注意を向けなければならぬ。何故なら、此等の問題に對する正當な解答と關聯してのみ、コミンテルンの任務、特に労働組合内の活動に於ける共產主義者の任務も亦正しく規定されるのだから。

労働者階級の左翼化は第三期の性質と結び付いてゐる。周知の如く、労働者階級に及ぼす改良主義的影響の經濟的基礎は、資本主義列強が植民地に於て、或は彼等の獨占的地位の特權を利用することによつて得たところの『超過利潤率』であつた。この超過利潤率は、以前の英國の様な國のブルジョ

アジーをして、現存する労働貴族を優遇し、彼等に或る意味に於て特權的な地位を讓與して、彼等をおこぼれと特權——それらが労働者階級の中に改良主義的幻想を植え付けたのだ——によつて腐敗させることを得せしめた。これが周知の如く戦前の英國の改良主義の根源であつた。此處で我々は、嘗てはチャーチズムを體驗せる英國労働運動が數十年間にかくも固くブルジョアジーの凱旋戦車に縛り付けられてしまつたといふ事實、及び英國労働運動が嘗てかの自由主義的改良主義的労働黨——それは今日英國ブルジョアジーの第三黨として出現してゐる——を持つてゐたといふ事實の説明を求めなければならぬ。英國の經濟的没落——それは一方世界市場に於ける獨占的地位の喪失により、他方資本輸出の減少によつて條件付けられてゐる——は英國労働貴族の特權的地位を震撼せしめた。かくて英國労働者階級の左翼化が始まつた。既に二十世紀初頭から頭角を現はしてゐた合衆國へ世界經濟の重點が移動したこと、帝國主義戦争中アメリカが大きな儲けをしたこと、資本輸出が増大したと、自國の原料を使用して行ふ經濟の自給自足的な型、合衆國を他の資本主義諸國に對して甚しく有利な地位に置き、合衆國をして同時に『超過利潤率』を實現するを得せしめるところの經濟の型、——これ等すべては次の如き結果を齎した、即ち、アメリカの労働貴族が自國の資本のお蔭で、戦前の英國資本の『労働將校』と同様な地位を得たといふことこれである。併し労働者階級の上層の墮落と

腐敗は英米だけに起つたといふわけではない、むしろそれ等の國々でたゞ最も明確に表現されたといふだけである。ヨーロッパの他の資本主義諸國に於てもブルジョアジーは彼等の豫備金——たとひそれが英米に於ける程豊富ではなかつたにしろ——を以て、労働者階級の階級意識を曇らす爲の手術を行つた。社會立法の方面に於ける諸方策、經濟的性質の僅かな部分的讓歩、及び他方労働者の中から最も腐敗せる分子を「引拔」いて、これに指導的小地位を與へたこと等がこれである。資本は、『正規な』時期に於いては、改良主義の土臺が非常に廣く、労働者の状態は不可避免的に改善され、労働者階級は震撼と革命とを要せずして社會主義に到達するだらう、といふ印象を與へることに成功した。この腐敗政策に當面して國際社會民主主義は強化し生長した。數十年間に彼等は、プロレタリアートの既得權は彼等社會民主主義者の功績だといふ考を労働者階級の頭の中にたゞき込んだ。労働貴族の労働者運動への影響の最初の破綻は、數百萬の労働者の家族にとつて致命的な結果をともなつた戰爭によつて齊されたのである。困窮し、没落せるヨーロッパは革命的爆破の最初の舞臺となつた。急進化は、資本主義的經濟の一般的瓦解との關聯に於いて、ブルジョアジーにとつて致命的な形態をとつた。それは吾々が今日見るが如き労働者運動の徐々なる上昇ではなくて、むしろそれは直接に革命的な情勢の時期にのみ特有な大衆の急進化であつた。左翼化の速度がかく急速な時に當つては數日が數年又

は數ヶ月に相當した。今日では社會民主主義諸黨の内部に於て徐々に——不注意な眼には見えない様に——脱退が行はれてゐるが、當時は黨員の大衆的脱退が行はれたのである。階級闘争は直接に公然たる武装衝突の形態をとつた。この大衆の巨大な突撃時代に於いて、労働者階級はブルジョアジーからかの重大な諸成果を奪ひ取つた。それ等の成果とは、あらゆる國々の資本家及び例へばカツセルの如きその従僕共が今日、資本主義經濟の混亂と不定性との原因だと稱してゐるものである。これは世界の改良主義に對して加へられた最初の手きびしい打撃ではあつたが、未だなほ決定的なものではなかつた。革命の波が靜まつた後は労働者階級の多數は依然として社會民主主義の影響下に止まつてゐた。一九一八年から一九二〇年までの間に解決されなかつた任務を吾々は今や第三期に於て、異なれる、新たなる諸關係の下に解決しなければならぬ。労働者階級の多數、即ち労働者階級の決定的な層を××黨に獲得するといふこの任務を、吾々は差當り、例へば一九一八年——一九年のドイツに於けるが如き直接に革命的な情勢の條件とは、異つた條件の下に解決するであらう。併しながら新しい諸關係とはこのことのみには止まらない。第三期はまた、資本主義の矛盾の生長と關聯して改良主義の土臺が極度に狭ばめられたといふことによつて特徴付けられる。吾々は既に植民地に於ける改良主義の土臺が如何に狭いかを確かめた。確かに人は野蠻な抑壓を助けとして、蔣介石のやうに國民黨勞

働組合を作ること出来るし、またイタリーの労働組合ファシズムを模倣して、チリーの獨裁官イバニエスのやうに労働組合の個々の指導者を腐敗せしめることも出来る——だが改良主義の生長の爲の經濟的基礎は植民地並びに半植民地には存在しないのだ。

植民地の地面の上に生じたメンシヴィズムは決して實を結ぶことのない貧弱な寄生植物である。資本主義諸國に於ては事情は言ふまでもなくこれとは異なる。此處ではブルジョアジーは未だ労働貴族養成のあらゆる可能な策略を使ひ盡してはゐない。アメリカのやうな國では、労働者階級の上層を腐敗せしめる爲の、經濟的基礎はまだ少ししか動搖せしめられてゐない。併し資本主義世界經濟に於ける一般的傾向として改良主義の經濟的基礎が狭くなつたことは斷乎たる事實である。販賣市場の爲の激しい同時的鬭争が利潤を減少せしめるといふ法則はブルジョアジーを驅つて生産費を安價にする方法を求めしめる。ブルジョアジーは資本主義的合理化を利用してその負擔をすべて労働者階級に轉嫁した。だが資本主義的合理化は可變資本部分を減少せしめ、不變資本部分の増大を促がすものである、換言すれば、資本主義的合理化は矛盾を深刻化する。そしてそれをブルジョアジーはプロレタリア大衆の抑壓によつて解決せんと努めるのだ。競争戦が極度に緊張すれば、合衆國のやうな國ですら自國の労働者階級の生活標準をヨーロッパの労働者の水準に低下せしめるの餘儀なきに至るだらう。他の國

國よりも遅れて世界の舞臺で經濟的膨脹を初めたアメリカは、他國を押しつけて道を開かざるを得ない。アメリカの輸出は、ヨーロッパの關稅壁、産業合理化、賃銀低下による有利な『競争』に——殊に英國に於て——ぶつかる。生産手段の形態で行ふ資本輸出は、アメリカから生産手段を輸入する國に於て、その國に自身の工業を建設する。かゝる事情の下では、アメリカの霸權はたゞに不可避的な戦争と結び付いてゐるのみならず、アメリカの労働貴族の特權的地位の不可避的震撼と結び付いてゐる。更に我々は、資本主義的合理化が既に以上進むことは極めて困難だといふ限界に到達してゐることを顧慮しなければならぬ。併しながらブルジョアジーは世界競争によつて押し潰されないう爲にもう一つの補助手段を豫備に持つてゐる、それは勞賃に對してもつと攻撃を加へることだ。だがすべて此等の諸過程は迅速には展開されず、徐々に展開される。それ等の諸過程は二つの革命の波の間の歴史的段階を成すものである。この第三期に於いては、經濟危機が不可避的に尖鋭化して戦争の形態を取る結果として、『第二の革命の波が早く来るだらうといふ』『短い見透し』も不可能ではない。だが、労働者階級の急進化は緩慢な速度を以て行はれるのだから、長期に亘る見透しの方が、可能でもあり眞實に近くもある。資本主義的合理化は、それが革命的煽動に對して特に敏感な要素たる失業者の巨大な層を生ぜしめるといふことを全く度外視しても、労働者階級の構成の變化を招致する

ものである。それは熟練労働者と不熟練労働者との限界を消滅せしめる。ファードの工場では従業労働者の四十五パーセントはたつた一日で熟練してしまふことが確かめられてゐる。合理化は熟練労働者たる古き労働貴族の基礎を揺り動かし、彼等を不熟練労働力と同一水準に置くのである。勿論合理化はその以前に比べてより多くの職工監督即ち生産の『特務曹長』を生ぜしめる。かゝる事情は言ふまでもなくブルジョアジーをして、かゝる層を他の労働者大衆に對する對抗力として利用することを得せしめるであらう。併し労働者階級の決定的な幹部は資本主義的合理化の諸關係の下に於いては、一般的な現象として社會的により低い地位に低下せざるを得ないのである。古い熟練労働力は押しつけられ、不熟練労働力(青年・婦人)が生産に引入れられる。新しい未組織大衆と古い労働組合幹部との間に深い溝が生ずる。改良主義的な労働組合幹部は労働貴族の傳統の中に教育されてゐる。彼等は新しい大衆に對して保守的要因の役割を演じる。未組織の層は資本主義の没落期に於いて生産にはいり込む。此の層は、労働者運動の上昇の情勢の下に於ては、改良主義的官僚によつて異つた闘争方法で訓練され、安定的な改良主義的労働組合に組織された、労働者よりも、本能的に革命的である。このことからして、未組織者の問題が全赤色労働組合運動に對して、持つ意義は明かになるであらう。ルール地方、ロツツに於ける最近のストライキ及びフランスに於ける數多のストライキ(ロア

ール・ルーアン地方)の経験は、組織外の労働者階級の層が屢々如何に有利な革命的材料であるかを物語つてゐる。だがこれと同時に、大きな經濟的豫備軍が存在してゐる際には企業家が熟練労働者の部分を新しい不熟練労働力によつて極めて迅速に置き代へる可能性を持つてゐるといふ事實は、プロレタリアートの經濟闘争を困難ならしめる一契機である。企業家は工場全員を政治的觀點から選擇することが出来る。此の可能性は既にイタリー、ポーランド、ドイツ、フランス、オストリー及び其他の國々で廣汎な範圍に亘つて利用し盡されてゐる。これが『工場ファシズム』の一要因であり、労働者階級の一般的急進化にも拘はらず工場に於けるファシズムの影響の或種の強化(ポーランドに於けるヤプロウスキー一派、オストリーに於ける企て)の一要因である。大衆の左翼化は、ファシズムが激烈極まる抑壓手段によつて工場内に小さなファシスト的細胞を形成するに到つたといふ事實——この事實は多くの人々を誤つた結論に導き、それ等の人々をしてプロレタリアートの急進化の過程一般を疑はしめる傾向を持つてゐる——の存在を許さないものではない。此處に我々は、何故、我々のXX黨を工場細胞を基礎として再組織することが妨げられ、かくも困難な歩みをなすかを、理解する爲の鍵を見出す。工場では共産主義者に對してまつかうから狩り出しが企てられる。ブルジョアジーは工場を彼等の階級戦の主要戦場となすのだ。更に労働者階級の急進化は個々の産業部門の重心の移

動によつても促進される。資本主義の發展の不均衡は、世界經濟の國民的部門に於ける力の關係の變化（英・米）に於いてのみならず、個々の産業の役割に於ても現れる。若干の産業部門は徐々に没落しつゝある（炭鑛業の世界恐慌、織維工業の恐慌の成熟）。つい先頃まで世界經濟の全體では大した役割を演じてゐなかつたところの・若干の産業部門はこれに反して急激に發展しつゝある（化學工業、電氣工業、自動者工業、人造絹絲の生産等）。生産諸力並びに地方的經濟中心勢力の移動は同時に労働者階級の内部の層の移動を伴ふ。それは労働者大衆の状態の極度の不安定性の一原因である。

四 階級闘争を通じて労働者階級の多數者獲得へ

國際労働者階級の急進化は如何なる形態で行はれるか？ 此の過程はあらゆる資本主義諸國に於いて一様に進行するか？ 斷して否。労働者階級の左翼化の速度は種々なる國々に於いて、其の時々の經濟的、政治的諸關係に依存する。植民地に於ては、労働者大衆の急進化は帝國主義的抑壓及び封建的諸關係——それは農民階級を革命化し、そしてそれ故に一定の段階に於てプロレタリアートの闘争に對する同情の雰圍氣を作り出す——によつて促進される。例へば、今日大衆の革命化が特に迅速に進行しつゝある印度に於ては、近世の資本主義的合理化の方法と原始的な資本蓄積の時代に屬する搾

取方法との結合が決定的な影響を及ぼしてゐる。具體的に言へば、近代的傳送装置とインドの労働者の悲惨な生活とが、その最後の結果として、既に數ヶ月に亘るボムベイの織維労働者のストライキの如き英雄的運動を生み出すのである。南アメリカの諸國——此處では大衆の左翼化が、若干のこれ等の國々に於ける直接に革命的な情勢の成熟と存立とに並行して進行してをり、内亂が既に傳統を持つてゐる——に於いては、革命化の速度は次の如き三つの種々な社會政策的現象の交錯によつて決定される、即ち、搾取の殘忍極りなき形態たる奴隸制の殘滓、封建的諸關係、及び資本主義的合理化を基礎とする最も近代的な資本主義的搾取方法、の諸現象これである。ヨーロッパの資本主義諸國に於ては左翼化の速度もその形態も一樣ではない。それは各國に於て非常に差がある。ドイツやフランスのやうな國には大衆は共產黨の影響下にある。イギリスに於ては事情は異なる。既に第六回大會は、急進化が二つの平行的な過程、即ち、共產主義者の影響の増大の過程及びしかもそれと同時に社會民主主義の影響の數字的・外觀的・増大の過程に於て、達成されるといふことを確認した。これ等の兩過程の平行は、資本主義の『安定』の二重の性質から生じるところの・一つの過渡的現象である。

第三期に於ては資本主義經濟の崩壞要素が安定要素よりも優勢だといふことは、不可避的に、労働

者階級内部の力の関係を共産黨にとつて有利に移動せしめるに到るだらう。これ等の過程は労働者大衆の意識に於ては、社會民主主義に對する信頼の危機として實現されるだらう。吾々はかゝる危機を既に、從來社會民主主義者に追従してゐたドイツの労働者の間に確認することが出来る。かゝる危機は他の國々に於ても同様に認め得るところである。社會民主主義的及び改良主義的機構はなほ一定の期間社會民主主義の崩壊を引留め得る、だがそれは崩壊するに決つてゐる。社會民主黨は多くの國に於て労働者階級の多數をその影響下に集めてゐた政黨であつた。最近の選挙に於て英國労働黨は八百萬票以上（全投票數の三分ノ一以上、二分ノ一以下）を集めた。社會民主主義は屢々一定の段階に達すると彼等の中央から政府を組織した。彼等は、彼等の勝利が既に資本主義社會の枠内でのプロレタリアートの権力の表現だ、といふ物語りによつて大衆を欺瞞した。彼等は聯立政策を社會主義への道だと稱した。今や、國際労働者階級が戦後の諸經驗を基礎として次の如き問題を提起しつゝある決定的な瞬間がやつて來た、幾多の國々に於て社會民主黨が労働者階級の多數の政黨であつたといふことから如何なる利益が労働者階級に齎らされたか？と。最も強力な社會民主黨の意志に抗して勃發したところのウイーン七月蜂起は、社會民主主義に對する大衆の態度の大衆による修正の開始の信號である。この蜂起によつて次のことが示された、即ち、社會民主黨に投票し、共産主義者は宗派だと

恐らく正直に信じてはゐるが、併し從來はただ共産主義者によつてのみ代表された革命的闘争方法を使用する用意の出來た、労働者のなほ廣汎な層が、社會民主主義の陣列内に居るといふことこれである。今や我々は多くの國々に於いて、労働者階級の巨大な大衆を獲得するための・社會民主主義との多年の歴史的闘争に最後の決定を與へんとしてゐる（例へばフランス、チェッコ・スロヴァキアに於て、また白色テロルのポーランドに於てすらさうである）。この問題は先づ第一に獨乙共産黨の面前に提出されてゐる。ドイツ共産黨はコミンテルンのすべての支部の中で此の問題の實踐的解決に最も近付してゐるのだ。

労働者階級の決定的な層の獲得は今日に於ては最早抽象的な問題でもなく、未來の音楽でもない、それは一つの現實的な政治的・日常任務であり、それを解決することなくしては直接に×××な情勢の接近を云々するのは無駄なことである。數十萬の労働者は工場委員會の選挙に際してドイツ共産黨に投票した、このことは、單に彼等が、社會民主主義が資本の積極的代理人へ轉化したことを確信し、社會民主主義が労働者階級の多數の意志に對して行つた非行について確信したが爲のみでなく、自己の力に對する認識が生長したこと、及び×××のみがプロレタリアートの闘争意志を利用してこの力を資本主義社會に對立せしめ得るのだといふことを認めるに到つたこと、によるものである。我々の

黨は大きな階級闘争によつてのみ労働者階級の巨大な大衆を獲得し得るのだ。これ等の闘争こそ労働者階級の多数を××の側に獲得する爲の決定的方法である。チェッコ・スロヴァキアのイレックは、改良主義的なそれと殆んど異なる手段方法を以てしても労働者階級の多数を獲得し得ると信じ、また、共産黨の影響をいさといふ日の爲にしまつておき、最後の決定的瞬間迄は大きな階級闘争を避けなければならぬといふ見解を代表した。——このイレックの例はコミンテルンのあらゆる支部に向つてその政策を活潑にすることの必要を告げてゐる。活潑な××的政策によつてのみ××は労働者の廣汎な大衆の信頼を確保するのだ。我々は、最近の英國の選挙に際して共産主義者が僅か五萬票を得たに過ぎないといふ事實によつて氣を落しはしない。共産黨に投ぜられる如何なる一票もポールドウィンに有利な機會を與へるものだと言はれてゐた國、労働者大衆が、労働黨に投票することは、鑛山労働者のストライキとゼネラルストライキとを絞殺し、反労働組合法を發布した政府を倒すことだ、と信じてゐた國——かゝる國に於いて労働黨に反對して投票したこれ等五萬の労働者は未來の大共産黨の幹部である。イギリスの労働者は、ミューラーとツェルギーベルの政治からその教訓を引出したドイツの労働者と正に同様に、明日マクドナルドとトマス一派が仕事に取りかゝつたあかつきには、××と××主義の旗幟を掲げたプロレタリアートの唯一の黨への道を見出すであらう。

我々は、マクドナルドによる労働黨政府の組織が一時民主主義的、平和主義的幻想を強め得ることを知つてゐる。既に今日、一九二五年の『平和な時期』の再來の可能性、ファシズム的傾向を鈍らすことの可能性、戦争の危機の減少等々の可能性、に就いて云々されてゐる。これに對して聲高くそしてはつきりと次の如く宣言されなければならない、一九二五年の『時期の』第二版は最早不可能である、と。かゝる『時期』の再來を國際的規模に於ける階級闘争の尖鋭化が許さないのだ。マクドナルドの政府は一の短期間の挿話となるであらう。目下労働黨が示してゐるところのかの混成的ブロックの不可避的分化、ロード及びポールドウィン並びに『労働貴族』等、あらゆる道連れの右翼化、及び階級闘争の尖鋭化の情勢下に於ける労働者の左翼化は、此の政府を遠からず崩壊せしめるであらう。この政府は、内政の範囲内に於ても、外交及び植民政策に於ても、マクドナルドの第一回の政府よりも一層右翼化し一層反動化すであらう。それは容赦なく資本主義的合理化を遂行し、いかなるストライキ運動をも絞殺するだらう。それは植民地諸國の——先づ第一に印度の——民族革命運動を抑壓し、攻撃的戦争政策を遂行するだらう。かゝる型の政府は戦争の歴史の時期をも××的運動をも延期し得るものではない。それは、自己の生んだ政體の政治的永續性をも經濟的永續性をも創造しはしない。それはそれ自身、現存する政治的、經濟的全體系の不定性の歸結である。かゝる政府は、與へら

れた具體的諸關係の下に於ては支配階級の力では果し得ない任務を、果すのである。ブルジョアジーは、サヴェート同盟の條件付きの承認の方法により、海軍々備問題に於けるアメリカとの協定の方法により、労働組合法の變更の方法により、マクドナルドの助けをかりて、自國のみならず他の資本主義諸國の労働者の警戒心をも眠り込ませようと努力するだらう。マクドナルドの政府は、平和主義的、民主々義的空語の假面の下に、労働者階級にとつて『ヨリ好ましい』手段方法によつて、準備されるところの戦争と反動との政府である。かゝる政府は長く続けば續くだけ益々根本的にその正體を露はすであらう。如何なる速度でイギリスの労働者がその幻想から解放されるかは大部分イギリス共産黨の精力と能力にかゝつてゐる。小さなイギリス共産黨には、その大衆黨への轉化といふ意味に於ける大なる前進、急進化しつゝあるイギリス労働運動の指導權獲得に到る大なる前進、の可能性が與へられてゐる。

一聯の國々に於ては我々の支部は未だ小さい。だが、屢々レーニンの言葉の一言半句をも知らないのに我々の革命的方法によつて闘争する全世界の大衆の支持は我々を強大にする。コミンテルンは今日既に一つの威力である。それは廣汎に組織され全面的に準備された階級闘争を通じて、階級の力關係に、プロレタリアートに有利な影響を與へることが出来るし、また與へなければならぬ。資本主義

世界が一つの新しい戦争に向つて不可避免的に進行しつゝある今日に於ては、共産黨は全力を盡してその影響を擴大しなければならない。これが八月一日の國際赤色反戦デーの意味である。此の日プロレタリアートは國際的デモンストレーションによつてブルジョアジーに次のことを示さなければならぬ、即ち、八月四日の繰返しは最早不可能であるといふこと、ブルジョアジーは戦争を挑むことによつて自からに對する勞役者の××を準備するのだといふこと、これである。我々は戦争に對する労働者階級の同時的行動がぶつかるであらう困難を知つてゐる。ブルジョアジーは労働者階級のかゝる行動を妨げるために全力を盡すだらう。だが共産主義者は今や地平線が既に近付きつゝある血みどろな戦争の暗雲にとざされてゐる時に於て、労働者大衆に向つて『ブルジョアジーをして明日といはず今日直ちに諸君の生長せる力を考慮するのやむなきに到らしめよ』と呼びかけることなければ、自己の初歩的な義務をも果し得ないであらう。

我々の労働組合戦術の問題に對しても、我々は、労働者階級の決定的層の獲得といふ我々の重大な任務の立場から近付かなければならない。我々は依然として労働組合運動の統一に賛成するものである。だが我々は分裂の脅迫を恐れるものではない。改良主義的官僚は共産主義者が労働組合内で重要な地位を獲得する爲に活動し始めると分裂を抑制しないだらうことを、我々は知つてゐる（その一證

據はバーセル聯合の分裂である。

労働組合内の多数者獲得の爲の共産主義者の闘争が極めて牧歌的な形態で行はれると想像し、老獪な改良主義的官僚が左翼反対派に、それが規約及び労働組合内部の民主主義を楯にして彼等改良主義者を葬り去ることを許すだらうと考へるのは誤りである。社会民主主義との我々の闘争は××の時まで続くであらう。共産主義者を分裂を以て脅かしてゐる人々（例へばワルヘル、エンドエレル等は、既に労働組合問題に於いて、革命への平和的成長といふ彼等の立場を現はしてゐる。併しながら共産主義者は、改良主義的官僚によつて除外された・小さな労働者の集團で、平行的組織を作ることは反對しなければならぬ。斯様な平行的組織は改良主義的官僚の願ふところである。労働者階級の多数者への影響の爲の・改良主義者に對する・我々の闘争——それは國際的に重大な意義を有する——は、言ふまでもなくかゝる貧弱な組織によつては最後の決定を與へられない。最後の決定は異つた規模の組織によつて與へられなければならぬ。けれどもこれ等の諸傾向は、ほんの小さな影響を以て我々の小さな支部を動かし、最小抵抗線に沿つて發展する危険性を含んでゐる。若しもオーストリーやポーランドの黨の様な小さな共産黨が、極左翼らしい振舞をしようとして、かゝる未組織者を獲得しなければならぬといふ口實の下に平行的労働組合的組織の建設に向ふ場合に、最大の弊害が現はれるの

である。それは最も純粹な形の日和見主義であり、困難の前に屈服することであらう。だがこの方法は共産主義者にとつては他の方面から考へても危険極まるものである。

我々が到る處に於て階級闘争の尖鋭化に向つて進みつゝあるといふ原則が正當であるならば、ブルジョアジーが赤色労働組合の合法性を共産黨のそれと同一水準に置かうと努めることはいふまでもないことである（ルーマニアを見よ）。若しも共産主義者が決定的闘争への準備期に於て労働組合の合法的舞臺への道を斷念するならば、彼はまずい戦術家であらう。此處では労働者階級の急進化の速度の問題が決定的である。たゞ一つの場合にのみ我々は現存する労働組合を踏み越えて進み得るであらう、即ち、大衆の急進化が嵐の如き形態を取り、組織労働者の壓倒的多数が昨日の反対派について行くが如き場合に於てである。けれども情勢は未だ、多数者が、ブルジョア國家の機構に據つて共産黨の影響に對して闘争しつゝある改良主義的官僚を、強力を以て驅逐し得る程熟してはゐない。若し情勢がかくも熟してゐるのなら、我々はプロレタリア××樹立の直前期、明日にも××が××するであらう時期に、居ることになるであらう。共産主義者は今日改良主義的労働組合内に止つて、そして組合内での活動の活潑性を數倍に増大し、労働組合の合法主義に對して容赦なく闘争しなければならぬ。また若し必要な場合には、労働組合の規約の形式的な枠を打破り、そして絶えず我々の活動の最

高の基準はプロレタリア革命の利益にあるのだといふことを考へなければならぬ。かゝる活潑な革命的政策によつてのみ共産主義者は労働組合内に於けるその影響を確保し、高揚しつゝあるストライキの波に取り残されることがないであらう。擴大しつゝあるプロレタリアートのストライキ闘争は、×××者による労働組合内の多数者獲得の爲のすべての前提を作り出してゐる。過去數年來、未だ嘗て此の任務の解決に有利なる今日の情勢の如きはない。そしてこれ等の有利な諸關係は、×××が此の任務を第三期に於いて解決するであらうことの保證である。

五 革命的統一戦線のために

さて、われわれはコミンテルンの任務に言及しよう。それは労働者階級の決定的な層の征服及び最も廣汎な勞役大衆の同情と支持との獲得を目的とする立場から明かにされるものである。われわれはこの任務の解決に、コミンテルン第三回大會の時代とは異つた仕方であらう。統一戦線の適用における戦術の古い形式、大なり小なりの才幹を有する首脳部に宛てた公開狀の形式、は古臭くやつてしまつた。イタリーの『協調派』セルラ及び獨逸の右翼の如く、われわれを第三回大會まで呼び戻すところの連中は次のやうな判り切つた眞理、即ち、コミンテルンの第三回大會が仕上げた統一戦

線戦術の諸形式は一九一八—一九一九年の革命の波の沈降期に關係してゐるものであるといふこと、を理解してゐないのである。今日においてはその形式は國際労働者運動の上昇によつて決定される。このことが當時と今との情勢における根本的な相違である。社會民主主義が一九一四年八月四日以後、變化してゐないといふ主張、又、ノスケ並びにシヤイデマンの一九一八—一九一九年における役割の後、社會民主主義は消極的な進歩すら遂げなかつたといふ主張は現代の・トラストと結びついてゐる社會民主主義を理想化するものである。八月四日、社會民主主義は戦争に賛成の意を表し、且つ、それを積極的に支持した。

然しながら彼等は八月四日以前には戦争の準備をしてゐなかつた。これに反して今日ではトラストの社會民主主義、經濟的デモクラシーの時期の社會民主主義、は戦争の準備のための積極的代理人である。ノスケ並びにシヤイデマンの社會民主主義は、何等武装をしてゐない労働者を射撃せしめたツェルギーベルにも劣らず残忍に労働者並びに海員の蜂起を絞殺した。だがノスケ並びにシヤイデマンの社會民主主義は敢て八時間労働制及び社會立法を廢止しようとも、又、プロレタリアートの最も謙遜な經濟的要求に傲慢にも反對しようともしなかつた。

ルール地方の重工業の社會民主主義はノスケ並びにシヤイデマンのやらなかつたことを敢行してゐ

る。ドイツにおける工場委員選挙は統一戦線戦術における新形式の範例——その実行の點においては個々の缺點があるにも係はらず——たり得るであらう。それは、コミンテルンによる統一戦線戦術の外見的清算に關する右翼の誹謗を克服し、そしていかにわれわれが統一戦線の正當な革命的戦術と、この戦線の日和見主義的曲解の曝露とによつて、プロレタリア大衆を共産黨の影響下に齎し得るかといふことを示したのである。

われわれの支部の第一の戦術的任務はドイツ共産黨のこの教訓を學び取り、統一戦線戦術の適用のこの形式を全般的に擴大深化することである。われわれは他の共産黨がこのことに關して集めた具體的諸經驗を顧慮しなければならぬ。殊にフランスの同志のそれは教訓に充ちてゐる。彼等は五月一日の數日前、パリ地方においてメーデー組織のために金屬労働者と木材労働者との二つの大會を持つたのであるが、その結果、五月一日には八十パーセントの金屬労働者と百パーセントの木材労働者がストライキを敢行するに至つたのである。かゝる大衆動員の形式は、あらゆる共産黨にとつて、八月一日の示威の準備のために是非とも必要である。反戦日に重大な性質を持たせようと共産黨が眞剣に考へてゐるのなら、黨は工場の全従業員によつて選出された八月委員會の網を全國に張りわたさねばならぬ。われわれの決定的任務の解決、大衆獲得のための効果的闘争が右翼的偏向及び協調主義に對す

るわれわれの態度を決定するのである。これらの分派はわれわれの任務の遂行に際して、われわれを遮げるが故に、われわれは彼等に對して闘争するのである。彼等は『統一戦線戦術のために』『大衆のために』なるスローガンを掲げて、コミンテルンに對して戦ひを宣言した。——しかも彼等はちつぽけな・革命的國際労働者運動の主流から遊離せる分派的グループとして終つたのである（ブランドラー、ハイス、イレーク）。彼等は共産黨の行手を遮り、そして未だに安定期の鈍感さを振り落してゐない労働者階級の個々の層における受動性、合法主義及び時代遅れの氣分を、政治的舞臺で現すことによつて共産黨の邪魔をしてゐる。これらの氣分は右翼的及び協調的分派よりもひろく行き亘つてゐる。それは共産黨内においてすらこれらの分派よりも廣い範圍に亘つてゐる。往々それは一寸見ると非常に急進的な形で現れ來ることがある。例へばドイツ共産黨中央委員會が五月事件後、ベルリン労働者に向つて抗議のマツセンストライキの檄を飛ばした時、次のやうな聲が喧しくなつた、『俺達に武器を與へろ、さうしてこそ初めて俺達は抗議デモンストレーションを口にすることが出来るのだ。』然しながらいかなる場合にも共産黨内のかゝる氣分は明白な日和見主義的過誤として作用するものである、（スウイス共産黨中央委員會は第六回大會後早くも社會民主黨との選挙プロツク形成を提案した、又、若干のポーランドの同志は第六回大會の方針に基いてゐながら、ポーランド社會黨の役割を

正當に評價しなかつた、等々)。

四〇

右翼的偏向並びにそれに對する協調的態度への攻撃、コミンテルンの方針の贊成者の間において見出される日和見主義的な部分的過誤の容捨なき曝露、これらは労働者の個々の層における受動性と無關心との克服を意味する。右翼的日和見主義者及び彼等に對する協調的態度の曝露によつてのみわれわれは『左翼』社會民主主義を、ノスケ並びにツエルギーベルの政黨を似而非急進的文句によつて援助してゐるところの・この危険極まりなく・有害の上もない改良主義の變種、を撃退することが出来るのである。政治的潮流としての右翼並びに協調派を清算することなしには、共產黨は巨大な決定的闘争のためにその隊列を整へて、速かに前進することは望まれない。然しながら清算は、組織労働者のみならず、未組織労働者をも抱含すべき・下からの統一戦線戦術の廣汎なる適用によつてのみ可能である。

革命的統一戦線の問題は多數の國々においてプロレタリアートの・農民階級と結んでの共同闘争にとつて、大きな實踐的意義を有するものである。内亂が殆んど間斷なく繼續し、従つてその歴史がかかる戦亂の一つの連續せる鎖をなしてゐるやうな國がある。南アメリカの諸國がこれである。その中の二三の國では、例へばエリアドルとコロンビアでは、われわれに直接に革命的な状態を見ることが出来る。

出来る。こゝでは統一戦線戦術は先づ第一にプロレタリアートによる・農民大衆の指導の問題である。ブランドラー式の過誤がこゝでは労働者階級の指導的役割の輕視の中に現れてゐる。それ故にこれらの國々にあつては共產主義者は就中、永久的労働者農民のプロツク思想を放棄することが必要である。かかる思想は第六回大會によつて否決された労働者農民黨のスローガン以外の何者でもない。獨立的プロレタリア黨の創建と強化とは、統一戦線戦術が尨大な農民大衆の代表權を我物とせる二三の小ブルジョア的政治家のヘゲモニーと化してしまはないための、又、廣大なる労働者農民の戦線の基礎の上に展開されてゐる内亂が第一回目のメキシコ式の將軍革命へと退化しないための、決定的前提である。

諸植民地における情勢の變化は全植民地諸國における共產黨の樹立をして一つの特に現實的な問題たらしめる。われわれの經驗は、共產黨のみが民族××的運動をして階級的に實を結ばしめるのだといふことを物語つてゐる。この問題は從來、獨立的共產黨が存在してゐなかつたインドにおいて最も尖鋭化してゐる。社會革命のための戦士の前衛の結集地となるべき根據地を有することなくしては、われわれは既に運動に身を投じた大衆の獲得のための闘争を遂行することは出来ない。

われわれは決定的任務、即ち、労働者運動の指導權獲得のための闘争、の立場から、共產黨の政治

的影響とその組織的強さとの間の不釣合を減少せしめることの問題に近づいて行かねばならぬ。この不釣合は單に客觀的諸關係の、『安定期』（反動期）の、幾多の迫害と彈壓との、産物であるのみならず、われわれの黨組織の活動における不十分なイデオロギー的内容の産物である。黨の構成分子の變動はわれわれの組織並びに細胞が共産黨に殺到する新しき労働者層の革命的感激を利用することを解してゐないことを示してゐる。細胞活動を活潑ならしめ、これを更新して細胞が最も廣汎なる未組織労働者大衆のすべての要求に反應するやうに細胞を形成すること、新しく加入したあらゆる労働者を黨の側へ確定的に獲得すること、これらのことは既に『不釣合』を半ば取除くことを意味する。われわれは諸任務に對する非常に形式的な態度の・自己満足の・一人よがりの・自縛自縛の・精神をわれわれの細胞の中から驅逐して、細胞に最も力強い イニシヤティブ 創意と自立的な活動とを教へなければならぬ。『安定期』（反動期）の時代にあつては、小さな黨では特に封鎖的な閥を思ひ出させるやうな一つの宗派が形成された。彼等はよりよき革命の日を辛抱強く待ち、素手で鐵砲にはかなはないと宿命的にあきらめてゐる、（スペイン、オースタリー等々）。これらの幹部は不活潑で、腰が弱く、無氣力の精神に染まつてゐる。かゝる痲痺した幹部を以てしては、われわれは労働者階級の決定的な層を獲得し得ないであらうし、又、労働者運動における指導的役割を握り得ないであらう。

幹部の問題は今日においては最も重要な任務である。無類のストライキ（チェッコ・スロバキアの織維工業のストライキを全然度外視するとしても、ルール地方、フランスにおいて）において、われわれの舊幹部がその政治的水準、氣分及び鬭争能力の點では未組織大衆よりもずつと遅れてゐたといふやうな現象が見られた。

共産黨は舊幹部の間から最優良分子を選び出すこと、又、階級鬭争の過程において獲得された新鮮な力によつて幹部の補充をなすことに最大限度の注意を向けなければならぬ。われわれは工場内において、次のやうな新しい型の黨の活動分子を必要とする。即ち、その活動においてあらゆる小ブルジョアの偏見や社會民主主義的煽動・宣傳の古臭い方法から脱してをり、且つ、『我國の諸關係』の下にあつては『ロシア式の』方法は必ずしも適當ではない、といふやうな誤れる考慮に左右されないやうな型の活動分子である。工場の中へ。すべての工場を、 $\times \times \times \times$ の城塞とし、當面の鬭争、スローガンはかう叫んでゐる。ドイツ共産黨は五月事件において、デモンストレーションの禁止にも係はらず、よく二十萬の労働者を動かした得たが、工場内におけるわれわれの微力の故に、示威者の射殺の後で強力な一大マツセンストライキを組織することが出来なかつた。ドイツ共産黨のこの教訓をコミンテルンの全支部は學ばねばならぬ。幾多の國々において屢々われわれの黨は工場共産主義者の組織とい

ふよりも、むしろ職業的政治家の集團又は政治的クラブに近い。それは工場から遊離して生活してゐる。すべてこれらのことは根本的に改められねばならぬ。黨員の資格を決定するものは、彼の忠誠と活動性と黨機關としての能力であつて、演説の才能とか大事の前夜に親友と政治的題目について論ずる覺悟とかではない。反對だ。その黨員が幾人の新しい労働者を自分の工場で黨に獲得したか、又、彼が黨に對する労働者の信頼を高めるために、どんな大衆活動を工場内で行つたか、といふ立場から黨員の試験を行はなければならない。若干の非合法な黨においては『自分のための共產主義者』の型が發生してゐる。彼等は非合法活動の見地から見れば、一般に何等の仕事をしてゐない。かゝる共產主義者たちは黨からの決定的離叛の十字路に立つてゐるのである。オースタリーには、指導的役割を演じてゐながら、未だ嘗て工場で首になつたことのない黨員がある。こんなことは彼等の活動性の證據にはならない。

共產諸黨は工場内で活動すると共に、失業者に對して活潑な政策を遂行しなければならない。失業者間での活動は労働者階級の一般的運動と密接に結びつけられねばならぬ。ドイツにおける失業者會議や失業者大會及びイギリスの失業者のロンドンへの行進は、すべて共產黨によつて研究され、擴大され、そして國際的に適用されなければならない。われわれは諸々の國々において八月一日の反戦デ

ーに同時的に失業者の行進を組織することによつて、失業者のかゝる運動に國際的性質を與へることが出来るであらう。

労働者階級の世界的運動における指導的役割獲得のためのわれわれの闘争コースは、黨内政治の領域では、フラクションの清算に表現されなければならない。フラクションは共產諸黨の中にコミンテルン創始以來の『安定期』（反動期）の間に形成されたものである。共產諸黨の決心、即ち、労働者階級の前衛の統一的な戰鬥意志の表現としての共產諸黨の眞のボルシェヴィキ的な固い結合、はコミンテルンの最大の成果の一つである。コミンテルンは『獨立の』國民的諸支部の機械的結合體ではない。むしろそれは一の統一的な世界×××である。過去においてはフラクションの存在は不可避免的に共產諸黨のボルシェヴィキ化の過程によつて條件づけられてゐた。即ち、社會民主主義的殘滓に對する左翼派の闘争が大きな積極的役割を演じたのである。併しながら若干の黨においてはこの過程が本質的には終りを告げた後にも、フラクションの活動が殘存した。共產主義運動の分裂がフラクションの存続を促進せしめたのである。黨全體が殆んど全く日和見主義的偏向に對する戰場となつたやうな情勢の下では、フラクションは共產黨の發展を妨げる反動的要因となつた。それは無原則的分派闘争へと墮落した（アメリカ）。往々それは國家的分裂を反映し（バルカン）、又、個々の地方の闘争の半封建

主義的條件を反映してゐる（スペインにおけるバルセロナ對マドリッド）。それは一般に世界獲得にとつての障害となり、極めて有害な一人よがりを保存し、例へばポーランドにおけるが如く黨の過誤の自己批判を妨げるものである。フラクションの連帯責任によつて結びつけられてゐる個々の分派は、自分たちのフラクションの過誤を隠蔽し、他の分派の一寸した過誤を誇張する。われわれ自身の過誤を眞剣にボルシェヴィキ的に自己批判することによつてのみ、共産黨は生長するのである。

第六回大會が規定し、そして今なほその重大さを失つてゐない諸任務（反戦闘争、資本主義的合理化の結果に對する闘争等々）にはわれわれは殊に立入つて觸れなかつた。コミンテルンのあらゆる支部の最も重大な義務は、總會の度毎に新しい任務を考へ出すことではなくて、われわれによつてまだ解決されてゐない任務の解決にねばり強く従事することである。

革命的昂揚

革命的昂揚

同志諸君、私の報告のテーマは——「第十回總會の決定とコミンテルンの任務」である。私は、コミンテルン執行委員會第十回總會によつて採用された決定の内容に此處でもう一度立ち入る必要はない、と信ずる。根本的な決議は發表され、總會に於けるすべての重要な報告及び演説は印刷に附され、最近、第十回總會の決定に獻げられた幾多の中央委員會總會が開かれ、それは各細胞に於ても充分に研究しつくされた、従つて此處に列席する同志諸君は第十回總會の決定的政治的方針について確實に御承知のことであらう。

私の報告は二つの部分から成り立つ。第十回總會以來吾々は、誇張なしに言ひ得るやうに、世界史的意義を持つ最も重要な諸條件を擧げなければならぬ。私はその際、何よりも先づ社會主義建設の五ヶ年計畫と、そして主として、サヴェート同盟共產黨の最も重要な總會の一つ、黨の中央委員會の最近の十一月總會に於て總決算されたところの五ヶ年計畫實現の第一年の成果とを念頭に浮べる。最近の更に注目し得る事件は、一般的經濟恐慌にまで發展しつゝある合衆國に於ける取引所恐慌である。

それは、コミンテルンにとつてもまた、若しかう言ひ得るならば、それで一つの「五ヶ年計畫」、資本主義の安定を破壊する五ヶ年計畫」である。合衆國からヨーロッパへと蔓延しつつある恐慌は、既に最近數ヶ月間に於て全世界の階級間の力の關係、國際労働者階級の急進化のテムボ及び最も重要な資本主義諸國に於ける革命的情勢の成熟のテムボ、を根本的に變更し得る經濟恐慌の始まりを吾々に前觸れするものである。二つの世界體制は衝突しつつある。一方はプロレタリア獨裁の最初の國に於ける社會主義的建設計畫であり、他方は、從來爾餘の全世界の指導者であつた・經濟的に最も強力な國家（アメリカ）に於ける資本主義の「繁榮」である。吾々は今や最初の成果に基き充分なる確信を持つて、兩體制の衝突から——社會主義建設の五ヶ年計畫が勝利者として立ち現はれるであらう、と斷言することが出来る。

更にまた、切迫しつつある世界經濟恐慌と共に、ブルジョア・デモクラシーの政治的瓦解、そのフアシズムへの轉化、あらゆるブルジョア政黨のフアシヨ化、就中また社會民主黨のフアシヨ化、が指摘されなければならぬ。それ故、小國オーストリーの情勢に立ち入ることが必要である、といふのは此處ではこれらすべての過程が水滴に映る日光のやうに國際舞臺に反映してゐるからである。それと結びついて吾々は、國際的意義をもつ若干の戰術上の問題、オーストリーの政治的危機が日程に

上せた問題を検討しなければならぬであらう。

吾々はまた、植民地運動の成長に立ち入らねばならぬであらう。コミンテルン執行委員會の最近の總會に於て、吾々は、支那に於て革命の波が不可避免的に再び高まるであらう、と述べた。

この決定以來四箇月が過ぎた。支那に於ける革命の新たな波は現在、何びともはや争はない事實である。かくて報告の第一部には、資本主義の對立の尖鋭化について述べられてゐる。この尖鋭化は、ヤング案のうちに、イギリスの「労働黨政府」による權力の讓受け、及びマクドナルドのフーズァーとの協定に結びついて幾多の國々に於て培養されつゝある平和主義的幻想のうちに現はれてゐる。そして最後に吾々は、日和見主義的右翼、吾々の陣列内に於て主たる危険をなしてゐる右翼を國際的規模に於て結合しようとする試みが失敗に終つたことにその注意を向けねばならぬ。新たな事實と結果とに照して見るとき、四箇月前のコミンテルン執行委員會第十回總會の分析が正しかつたかどうか、といふ決定的な問題が生れて来る。

報告の第二部は、第十回總會の決定が如何に遂行されてゐるか、それらの決定を實現するため四箇月間に何がコミンテルンの各支部によつてなされたか、といふ問題に捧げられるであらう。

五ヶ年計畫第一年の成果

コミンテルン執行委員會第十回總會の決定の正當性の第一の最も重要な證明は、これをコミンテルンの最大の支部、サヴェート同盟共産黨によつて指導されてるプロレタリア國家の社會主義建設の五ヶ年計畫の實現の中に求めねばならぬ。

同志諸君、諸君はなほ、二年前、サヴェート同盟が國民經濟の改造の段階に入つたとき、右翼的偏向の代表者達によつて唱へられた悲觀的豫言がどんなものであつたかを想起するか？ 諸君はなほ、わが國の穀物調達困難、プロレタリア獨裁の支配に對する農村の大農分子の攻勢の前觸れであつたこの困難が現はれたとき、同志ブハリン、ルイコフ及びトムスキーのやつた演説を想起するか？ これらの同志達は、わが國の社會主義建設を決定された通りのテムボで進めて行くことは出来ない、わが國は農民國ぢやないか、「百姓馬」はなほ永くわが國の經濟の發展を規定するだらう、農業が後れてゐるから今のテムボはどうせ維持されない、などと言つた。諸君はなほ、當時彼等が黨を威嚇しようとして喋つたことを想起するか？ 彼等は、中農の決定的な大衆との分離は不可避的だと言ひ、大農はなほ永く市場向穀物の主たる供給者だらう、共同經營農場や、サヴェート農場を發展させても市

場向穀物の生産は保證され得ない、これらの農場を發展させて行けばそれは中農の主要大衆の抵抗に打突かるだらう、と主張したのである。

なほ數ヶ月前、ブハリンは何と言つたか？ 一九二九年一月に中央委員會に宛てた文書の中で、彼は次の如く書いた、

「秋になつて私は、驚くべき現象が同盟の經濟に於て増大しつつあることを知つた。『一經濟學者の手記』の中で、私は特に慎重にこれらの現象を分析した……十一月總會に於て、私は更に改めて、三度目に、十度目に、穀物調達と種子との不安な見透しについて述べたのであつた。私は、若しも吾々が中農との經濟政策上の平和を強調することがないならば、諸々の困難は再生産され、而も尖鋭化される、と豫言した（この點に注意せよ）。或者は私に答へた——同志ブハリンは皮肉に考へたのだ——例へばウクライナに於て農民は最大の熱狂さを持つて夜提灯をつけて田畑を耕作してゐる、そして小心者と恐慌によつて窮地に陥つたものだけが意見を異にし得るにすぎぬ、と。最後の結果に於ては、非常に勇敢な同志達の勇敢な宣言にも拘はらず、冬播の種子は減少し（中央統計局の報告によると、同盟全體で五パーセント、ウクライナで一二パーセント減少した）、そして食料品のひどい恐慌があり、加ふるに外國への支拂の方面に於て苦境に陥つてゐる。吾々は、食料品カードを作り、輸入を

制限しなければならぬ、そして吾々は確かに、先の生産計畫を制限せざるを得ないだらう。現實は、私が述べたよりも一層悪化してゐることがわかる。

右翼反対派の指導者は、農民に對する吾々の政策を軍國主義的・封建主義的搾取であると評價した。「貢税といふ合言葉は——と彼等は主張した——遺憾ながら『文學上の言葉』であることが分つたばかりではない。農民に對するその後の新たな課税、穀物調達困難の増大、種子の減少及び農民の不満がそれと結びついてゐる。」

同じ一九二九年、同志ブハリンはわが黨に向つて、工業化のテムボを定めるに際し經濟戦線の弱い個所（農業）を標準とすべきことを奨めた。彼は書いた、「私は豫め、建設材料が不足してゐるとき資金を承認しても無意味なことである、と言つて置いたではないか」と。

同志ブハリンは、個人主義的農民經濟に關し、國の經濟に於けるその地位に關し、農村に於て第二の十月を實現しようとする吾々の試みを、幾度も繰返して宣言した、「個人主義的農民經濟は、なほ永く決定的な源泉であらう」と。

中央委員會の四月總會に於て、ブハリンの腹心、同志トムスキーは生産同盟の新たな形態に反對し、それに、商品關係を基礎とする舊い形態を對立せしめた。彼は、生産同盟なる考へを嘲笑し、

中央委員會の多數者に、レーニンに於て述べられてもまた暗示されてもゐない新たな形態とはどんなものか、といふ皮肉な質問を提起したのであつた。

同志ブハリン、ルイコフ及びトムスキーは、將來農業發展の「大道」をなすものは、共同經營農場でもなければサヴェイト農場でもなくて個人主義的農民經濟であらう、と聲明した。右翼反対派の指導者の態度は、新經濟政策に對する彼等の評價と結びついてゐた。右翼は、新經濟政策を専ら、その實施後第一年に生じた市場關係の形態と見た。新經濟政策の時代にも資本主義的分子に對して攻勢に出るといふレーニンの考へは彼等の頭には浮ばなかつた。だから彼等の考へる新經濟政策は、都市及び農村の私的資本主義的分子に對する不斷の讓歩政策となつてしまつたのである。

最近の中央委員會總會に於ては、この同じ同志達は、新しい聲明をもつて現はれ、自分達は少しも誤つてはゐなかつた、自分達と中央委員會との間の唯一の意見の相違は穀物調達に際しての非常手段の適用の問題で生れたのだと言つた。自分達はこの非常手段のことについて黨に反對するのみであつて、黨との決定的な意見の相違は今では現實によつて消滅せしめられてしまつてゐると言ふのである。所で實際さうなのか？ 吾々がわが右翼と交へた論争の背後には何が隠されてあつたか？ 吾々と右翼との意見の相違は、事實上、サヴェイト同盟に於ける革命的發展は社會主義の途を辿るであらうか、

それとも資本主義の途をとるであらうか？といふ吾々の革命的決定的問題に集中されたのであつた。吾々は非常手段について論争したのではなく、寧ろ吾々と同志トムスキー、ブハーリン及びルイコフとの意見はこの根本的な問題で岐れたのであつた。サヴェート同盟共産黨は、困難をおそれずに、斷乎として、急速なる工業化を目指すコースをとり、同時にわが國の經濟の社會主義的部分、その支配的優越性が全面的に鞏固にされるべきことを提議したのである。

右翼は黨に向つて、農民から離れるようなことのないために工業化のテムボを弛めるよう、社會主義的工業と、なほ個人主義的な基礎の上に立てられてゐる農業との間の關係の表面上の弛緩を深めるようなことのないようにと訴へた。

わが黨は、農業をば工業化のテムボに順應させること、而かも後れた農業を新技術の基礎の上に置き、共同經營化の方法によつて順應させることを提議した。右翼はわが黨に向つて、「經濟戰線の弱い環」に調子を合せることを奨めた。彼等は黨をして共同經營とサヴェート農場とを發展させるコースから個人主義的農民經濟を支持し發展させるコースへ轉換させようと欲したのである。

わが黨は、農業の改造とその生産水準の向上とを豫見する勞農同盟の新たなる生産形態を提議した。右翼は、新經濟政策の初期の市場關係を同盟の基礎とした。

わが黨は、幾百萬の個人主義的農民經濟に對する社會主義的工業の指導的な役割を強化すること、従つてまた、中小農の決定的な大衆に對するプロレタリアートの指導的役割の強化を提議した。右翼は、農民に對する勞働者階級の指導的な役割を黜し、プロレタリアートを分散せる農民大衆の附屬物にした。

わが黨は、社會主義の勝利的な建設は不可避免的に、都市や農村に於ける私的資本主義的分子の抵抗を惹き起し、階級闘争を尖鋭化せしめるであらうと豫見した。右翼は、この闘争を隠蔽し、それを弱め、不當にも黨は中農大衆に對するトロツキー主義的見解を復活させるものだと言ひたのであつた。

今や私は問ふ、これでもなほ、吾々と右翼との決定的な意見の相違はただ非常手段に關する論争として行はれたにすぎなかつたと主張し得るか？客觀的に見れば、わが黨内の右翼は、プロレタリアートの獨裁の體系に對する私的資本主義的分子の壓迫を反映したものである。歴史は問題をかように提起した、そして吾々はこの問題に對する答へを避けることは出来ぬ。

同志諸君、生活それ自らが吾々と右翼との争ひに結末をつけたのである。最近の總會で吾々は五ヶ年計畫第一年の總決算を行つた。その最も重要な諸成果を極く簡単に要約することを許して戴き度

第一の成果——國の工業化を目指すコースの正しいことが立派に證明された。五箇年計畫で定められたテムボが、吾が國の國民經濟にとつて充分堪え得られることがわかつたばかりでなく、遙かに追ひ越されたのである。私は興味ある若干の數字を擧げる、それはみな、サヴェート同盟のプロレタリアートが資本主義の包圍に抗し、帝國主義の陰謀に抗し、國際社會民主主義の裏切に抗してその社會主義經濟の再興に如何に驚異すべき英雄主義を發揮したかを生々と證明してゐるからである、——

増加豫定率

増加率

社會主義的大工業の生産……………	一一・四%	一一三・七%
生産手段を生産する工業……………	二五・六%	三〇・七%
電力生産……………	一四・〇%	二二・一%

これらの成功は、吾々をして當經濟年度一九二九年—三〇年に對する五ヶ年計畫原案の數字を修正せしめた。統制數字は、本年に於ける工業生産の増加を五ヶ年計畫の二一パーセントに對し三二パーセント豫定してゐる。工業建築は、五ヶ年計畫による五二パーセントに對し九二パーセント増加してゐる。鐵道運輸よりの總収入は、一四パーセントに對し二三パーセント増加してゐる。

これは、わが右翼に決定的な打撃を與へるところの數字である。それは、右翼反對派の善意の代表

者、一時右翼に追従してゐた若干の有名なるモスコウ労働者をして黨の政策の正しいコースを確信せしめ、且つわが黨の中央委員會の最近の總會に於て右翼的偏向から分離せしめたのである。*

* 社會主義建設の成功は、右翼反對派の指導者同志ブハリン、ルイコフ及びトムスキーをして總會の數日後に至り降伏せしめ、彼等の方針の誤謬と彼等との論争に於ける黨の見地の正當性とを承認せざるを得ざらしめた。

第二の結論——吾々は、農業の共同經營化の異常な進歩、巨大な共同經營とサヴェート農場との建設の發展、耕作契約その他の形態の社會化された經濟の普及を認めることが出来る。五箇年計畫は、第一年に於て十二萬の農場を共同經營化する豫定であつたが、事實上は六十萬の農場を、即ち豫定の五倍もの共同經營化を行つたのである。更に現在に於ては百四萬の農場がそれに結合されてをり、その耕作面積は一九二七—二八年の百四十萬ヘクターから一九二八—二九年の四百二十萬ヘクターに増加してゐる。

最近の總會に於て、吾々は實際に農民經濟生産のすばらしい飛躍を感じた。地方の同志達はこれとについて吾々は報告した。黒土地方や、ヴォルガの下流地方等々の代表者の言は注目に値するものであつた。彼等は異口同音に宣言した——同志諸君、諸君の統計、諸君の數字は舊くなつてしまつて

六〇
ゐる。どんな統計も農村の共同經營化の過程と歩調を合せることは出来ぬ。共同經營には、全農村ばかりでなく、全地區が加入してゐる。吾々は、かくも無數に設立されつゝある共同經營を技術的に運用することが出来ないのである、と。これが中央委員會總會に於ける演説の結論なのである。

吾々は今や巨大な穀物農場、正しくは穀物工場を組織しつゝある。十五萬ヘクタールの面積を占める北部カウカサスの「巨人第一號」のやうなサヴェート農場を頭に浮べて見るがいゝ。ブルジョア科學は、そんなに大きな國營農場は不可能だし不適當である、それは世界農業の實踐的經驗と矛盾する、と主張した。例へば、キヤムベル某に屬するアメリカの最大の穀物農場でも僅か四萬ヘクタールの面積しか持つてゐない、といふことは何びとも知つてゐるであらう、と。吾々の實踐はブルジョア科學の主張を否定し、從來の見解を覆へしてゐる。吾々は既に、農業の社會化された部分の増加に於て注目し値する成果を收めてゐる。サヴェート農場及び共同經營は既に一九二九年に於て一億三千五百萬ポンド（一ポンドはわが國の約四貫四百匁にあたる——譯者）の商品穀物を供給したが、一九三〇年には四億ポンドを、即ちサヴェート同盟の全市場穀物の五〇パーセントを生産するであらう。

第三の結論——わが黨の唱導した生産同盟の思想の正しいことが完全に證明された。レーニンは生前、吾々にして先づ第一に一等級のトラクターを十萬臺持つてゐたら中農は「コムミュン」に味方す

るであらう、と書いたことがある。吾々は一九三〇年には六萬臺以上の、そして一九三二年には約二十五萬臺のトラクターを持つようにならう。例へばスターリン・グラードの工場の如きは年に五萬臺のトラクターを作つてゐる。同じ製造能力あるトラクター工場がチエルヤビンスクに作られてゐる。二三年のうちに吾々は年に十萬臺のトラクターを作る工場を二つ持つようにならう。であつて見れば、右翼が今になつて、自分達と中央委員會との間には何等意見の相異はないなどと聲明しても何の不思議があらうか？ 右翼は今や、吾々の成功を承認せねばならなくなつてゐる。今では世界中の殆んどどのブルジョア新聞もこの成功を承認してゐるのである。

サヴェート農村の共同經營化及びそのトラクター化に關する「新チュリツヒ新聞」から（その大意を）引用した次の箇所は注目に値するものである。十月二十五日の「新チュリツヒ新聞」は就中次の如く書いてゐる、ボルシェヴィキが單なる壓迫によつては解決し得なかつた任務は今では技術の旗の下に實行に移されてゐる。農民は耕作機の誘惑に抵抗することは出来ない、そして機械化といふ御馳走のために自由農民としてのその嫡子權を賣り拂つてゐる。農民はそのすべての思想と傳統とによつて彼の小所有に執着してゐる。今や、立派につくられた農業機械格納庫の姿を持つた誘惑者が農民に近づきつゝある。農民には宿命が準備されるであらう、此處には狡猾な陥穽がかくされてゐる、

——即ち農場は大經營に適するような耕作機しか得なかつたからである。機械が農民を捕らへるや、それは農民を自動的に大經營に押しやり、そしてそれと同時に農民の獨立が破壊される。區分された田畑をもつ個人主義經濟は地上から消滅し、農民はその土地所有を合併すべく無慈悲に強制され、彼等は國家の勞働者となる。その結果は、農民そのものが消滅することとなる、云々。

更に曰く、攻撃の最近の形態は農民を共産主義秩序の下に強制しようとする最も狡猾な試みである。革命的土壌改良によつても成就されなかつたことが、今や技術によつて實現されるのである。純粹に技術上の見地からいへば、この計畫を遂行するための條件は或る點に於ては決して不利でない。ただ、農民そのものが消滅してしまふだけだ。然しこれは、モスコウが立てた目標である、と。

然り、同志諸君、わが國の社會主義經濟に於ては農民、土地耕作の後れた・大昔の方法を基礎としてゐる經濟を營む農民が消滅しつつあるのである。週期的にやつて來た旱魃と凶作との結果飢えて貧窮のどん底に陥つた農民の型は消滅しつつあるが、共同經營化の戦線に加はりつゝある自由な・社會主義的農民の新しい型が生れつつある。

そしてこのことが、崩壊しつつある資本主義の棺桶に打込む最大の釘なのである。吾々の敵はこの危険を見てゐる。それ故に、彼等は「自由」農民の消滅を歎くのである。

第四の結論——右翼は、中農との分離の危険を懼れてゐるが、農村に生起しつつある經過は、共同經營が貧農ばかりでなく中農をも引き入れてゐることを示してゐる。中農の決定的大衆が動き出した、そして共同經營に流れ込んでゐるのである。農民大衆との結合は固められた。中小農民は社會主義を信じてゐるのだ、——これが第一年の經驗の決定的な結果である。

第五の結論——吾々の穀物調達成功！ 二三の數字を挙げれば、一九二七—二八年度に於ては、この年度の十一月十日には、まだその三八・四パーセントが實行されたに過ぎなかつたが、一九二八—二九年度に於ては、同じ十一月十日には四四・一パーセント實行され、本年は既に八二・六パーセントまで實行された。*

* 十二月一日には常經濟年度計畫の穀物調達は一〇〇パーセントまで實現された。

第六の結論——勞働者階級の創造的力に對するわが黨の無限の信頼の正しいことが證明された。吾々は困難に打ち克つことは出來ないであらうと言ふものがあるが、私は問ひたい、資本主義國の何處で、プロレタリア獨裁の國で現在示されてゐるやうなさうした創造的な感激と、さうした發展とが可能であるか？ その熱心さは第一に、現在到る處で擡頭しつつある自己批判の波に、第二にすべての工場、全勞働者階級によつて行はれ、ドイツの同志達の創意に基いて今や外國にまで普及してゐる

ところの社會主義的競争に現はれてをり、そして最後に、不休労働週に、労働生産性を高めるための大衆の創造的感激のこの新たな形態に、現はれてゐる。ブルジョア經濟學者さへ、この事實を見て吾々の社會主義建設の成功を默殺し得ないのである。

一年前、チエーリツヒで社會政策學會の或る會議に於て資本主義の運命に關する討論が行はれた。當時の討論は、何びとも知る如く、同志ブハーリンを混亂せしめ、彼をして、組織された資本主義に關する論文を執筆せしめるに至つた。チエーリツヒ會議に於て、就中、その報告の中で外國公債に關し特に強調した有名なる大學教授ボンは、ロシアは外國公債の必要、従つて資本主義的植民の必要に迫られてゐる、と述べた。ブルジョア科學の専門家の一人が昨年かように言つたのである。

これに反し今年は、從來依然として、吾々が幾多の困難を克服し得ないでゐる、吾々が農民大衆の暴動の前に立つてゐる、といふことを指摘しようとした保守黨の機關誌「エコノミスト」は、一論文を發表し、その中で、ロシアは外國の信用を俟たずして工業化計畫を實現してゐる、そしてこの計畫はロシアにとつて新たな革命以外の何ものでもない、といふ重要な結論を引き出さざるを得なかつたのである。吾々の敵がかように言つたのである！吾々の敵すら承認してゐるとき、同志ブハーリン、ルイコフ及びトムスキーが同様に吾々と吾々の成功とを承認するのに何の不思議もないのであ

る。諸君は餘りに遅かつた。親愛なる同志諸君よ！諸君の承認は數ヶ月遅かつたのである！

最後の結論——同志ブハーリンがその「一經濟學者の手記」の中で發展させてゐる農業虐待論は、完全に破産した。わが國の農業が工業のテムポと歩調を合せ得ないことは事實だ。例へば第一年に於て牧畜は二乃至三パーセント後れた。それは右に述べた通り事實である。だが一體、幾百萬の個人主義的な農民經濟を變革したり、それを共同經營の軌道に導いたり、それを社會主義的經濟體制に引き入れたり、わが國の農業の從來の後進性を除いたり、數世紀の間わが國の農村に於て支配し、傳統や幾百萬の習慣によつて神聖化され、周章狼狽した若干の共產主義者すら保守的にしがみついてゐたものを大膽な革命的行動によつて變革したりする決定的な轉換を、サヴェート同盟の經濟の中で、階級關係の中で、少しの危機的な現象をも惹き起すことなく、大農の抵抗や彼等による吾々の方策のサポートや、彼等の「イタリー式ストライキ」、即ち消極的抵抗もなく、この轉換を穀物調達に對するストライキ若しくは公然の抵抗によつて妨げようとする彼の試みに打突かることなく、實現出来るものだらうか？歴史の上のかかる急激な轉換が何等の軋轢もなく行はれるなどと考へるのは自由主義者のみである。資本主義諸國に於ける農業恐慌と比較しようとしてもしないで、ただわが國の農業の狀態について悲觀的な判斷など下し得ようか？例へば資本主義諸國に於て、工業と農業との間の「缺」、ヒラ

キは消滅してしまつたか？ 資本主義世界に於て、日々益々深刻化しつつある農業恐慌こそ事實に於て農業虐待を物語るものなのである。

六六

一九二九年といふ年は、資本主義諸國に於ては深刻なる農業恐慌の年であつた。それは、農業生産物の市場に於ける跳躍的な價格變動に現はれた。最近の八ヶ月乃至九ヶ月間に、價格は三回乃至四回も昇降してゐる。例へば五月までは農産物の價格は上昇の線を畫いてゐた。穀物輸出國の多くに於ては、この時既に豊作の豫想が立つてゐた。するとそれは直ぐ市場に響いて價格は暴落した。五月の末から七月半までに、重要穀物取引所、シカゴ、ウイニベツグ、ロンドン及びベノス・アイレスでは三割乃至五割安を示した。

その後重要な穀物生産國では早魃が始まり、ために過剰生産恐慌が消費不足の恐慌になりさうであつた。その結果はまた價格の騰貴であつた。價格は再び五割も騰貴した。收穫後、取引所恐慌の結果として再び價格は暴落した。

従つて、どの資本主義國でも小經營の破滅過程が認められるのに不思議はない。ブルジ・ア政府はそれを喰ひ止めようとしてゐる。例へばアメリカ政府は、價格の暴落を何とかして防止するために一億弗の支出を認めてゐる。カナダの政府やカナダのブルジ・ア協同組合は、穀物の流出を喰ひ止めそ

して價格の著しい變動を防がうとして絶望的な努力をしてゐる。然し「組織された資本主義」も價格のこの激動を緩和する力なきことを暴露した。

穀物市場の價格の低下と時を同じうして、ゴム價格が暴落したが、それはインドネシアや馬來群島にとつては實に經濟的激動を意味した。また砂糖價格の暴落は、ジャヴァ、キューバ等に恐慌を惹き起し、コーヒーの價格の低下はまた、ブラジルその他多くのラテン・アメリカ諸國に破滅を意味した。木綿の價格も低下し、そのために合衆國、エヂプト、印度、支那等の農業を著しい苦境に立たせてゐる。

同時に資本主義諸國に於ては農業の機械的改造が行はれてゐる。トラクター、コンベイン、機械、電氣の採用、一言でいへば農業の工業化は、幾多の資本主義國に於て大進歩をなした。然しこれらすべての改良は、「新チューリツヒ新聞」によると、大地主及び大農の利益となつてゐるに過ぎず、それは小農や「自由」農民の競争力を弱めてゐる。

小中農は大經營の競争によつて破滅されつつある。技術的變革の過程は、それに伴つて小農及び中農の著しい部分を社會的窮迫に陥れてゐる。近世資本主義の諸關係の下では、然し、この袋小路から遁れ路を見出すことは困難である。中農の一部と幾百萬の貧農とは、破滅し、落ちぶれるであらう。

六七

他面また、産業の合理化、都市の巨大な失業者群、工業発展のテムボの弛緩等の事情は、農民がプロレタリアとして工業に入つて行くことを困難にしてゐる。

サヴェート経済制度の著しい優越性は、それが農民に遁れ路を與へてゐる點にある。中農及び小農は共同経営農場に入つて來、そしてこの優越した形態を通じて共同経営の更に高度の形態、農業コムミュンに到達するのである。農村の「過剰」労働力は、必らずしもすべてのものでないにせよ、一度ならずも、工業化の急速なテムボによつて工業に於ける失業と失職とを見出す。同時に、ブルジョアジーの農業政策が大地主と大農との支持を眼目としてゐるに反し、サヴェート政府の全政策は、中小農民経済の支持に向けられてゐる。サヴェート同盟の協同組合は先づ第一に中小農のために力を盡してゐるが、ブルジョア諸國に於ける協同組合は大農經濟の發生を促がしてゐる。

農業恐慌は、戦争と革命との結果として「農業改良」が行はれた國々の農業に特に鋭く打撃を與へてゐる。農業改良は、抵抗力のない、經營資本や生産手段のない新らしい經濟を無數に發生させた。資本主義の發達、競争、農業恐慌はこれらの國々に於て先づ第一にかうした經濟をぐらつかせてゐる。ポーランド、バルチツク諸國、ルーマニア、チェツコ・スロヴァキア、ハンガリー、ユーゴスラヴィア等に於ける「新」農民の土地は、急速に大地主、資本家、大農の手に移りつつある。貧農の幻想は打

碎かれた。彼等にとつては破滅するか、乞食になるか、プロレタリア化する他に遁れ路はない。これに反して、サヴェート同盟に於ては、プロレタリア革命は、農民經濟にも人類史上かつてなかつた道を拵へたのである。

かくの如きが資本主義世界に於ける農業虐待の最も重要な特徴であるが、わが右翼はこれを見ようと欲しないのである。彼等は、建設されつつある社會主義社會の困難を誇張し、そして資本主義の困難を小さく見る。これらすべての事實はブハーリン一派の見解を否定してをり、そしてそれは、全世界で農業が虐待されてゐるに際して、ひとりわが國の中小農のみがプロレタリアートの指導の下に新たな社會主義的基礎の上にその經濟を力強く向上させてゐることを證明するものである。

わが國の五箇年計畫の遂行は、吾々が世界プロレタリアートに、資本主義を××、プロレタリア××を樹立した後に於て自ら如何に建設を實現するか力強い模範を示してゐることを意味するのみならず、吾々が今日國際的革命的労働者運動の地位を固めてゐることを意味するのである。新たな革命の波は、雁行して高まらねばならず、そしてプロレタリア獨裁の國に於て建設されつつある社會主義の地位のこの確立と同時に高まらねばならない。

それ故、わが國の五箇年計畫は、資本主義安定を破壊する最も重要な要因であり、そして迫り來る

プロレタリア×××の一構成部分である。

七〇

アメリカの取引所恐慌

私は今や、資本主義の情勢、世界経済恐慌の開始に關する私の報告の非常に重要な部分に到達した。コミンテルン執行委員第十回總會で吾々は、資本主義の一般的危機の中で、資主義安定の鋭い危機の不可避免性を論じた。吾々は、吾々の陣營の二三の理論家達を迷はせて「組織された資本主義」とか幾多の國に於ける「産業革命」とかいふ理論を唱へさせた世界経済の一般的上昇傾向が見られた上半期に於て既に、それを論じたのであつた。

それから四箇月経つか経たぬかであつた。このとき取引所の大恐慌が合衆國を襲つた。それは單なる取引所恐慌ではなくて一般的な経済恐慌の初まりである。現在の恐慌は、景氣及び資本主義的生産過程の一般的な悪化の反射現象である。それは、北アメリカの工業、鋼鐵^{II}、鉄鐵^{II}、製紙業及び採炭業、建築業、非含鐵金屬工業、貨物運輸業に於て景氣の悪化、注文の減少及び生産の縮少が顯著となつて來るや突發した。生産のこの縮小は、既に一九二九年の夏に現はれた。それは、數箇月前ブルジョア経済新聞紙上で論ぜられた。

恐慌は不意にやつて來たか？ その不可避免性は、フーヴァーの選舉綱領を巡つて、評判の「繁榮」のスローガンを掲げて展開された大げさな吹聴にも拘はらず、當時既に若干の眞面目なブルジョア國民經濟學者によつて豫言されてゐたのである。有名なるイギリスの經濟學者チーヂ・ベイヂは、ほぼ二年前に、切迫せる恐慌がヨーロッパに對して持ち得べき不慮の困難なる結果について書いた。一九二七年十一月八日の「マンチェスター・ガーディアン」の中で、彼は一九二九年の秋の世界経済恐慌を豫言した。彼は言つた、かうした経済恐慌の場合にアメリカはヨーロッパへの金融の流れを遮斷し、ヨーロッパ大陸に向つて一般的破産の淨火を浴せかけるであらうと。「一九二九年の秋には——彼の確認の中にはかう述べられてゐる——ヨーロッパはもはや、舊公債の利子を新公債によつて支辨することとは出來ぬであらう、ヨーロッパは破産の前に立つであらう。」

私は、イギリスの國民經濟學者の意見を、襲來した恐慌の印象を緩和しようとして努力してゐる資本主義世界の代表者、フーヴァー等々の熱心な安慰的な聲明と對立させるために、それを引用した。この熱心な聲明は本質に於て結局、恐慌は金融的性質を持つてゐる、合衆國の現在の恐慌と關聯してヨーロッパの經濟はアメリカからの資本の逆流により、ヨーロッパへの金の逆流によつて確立されるだらう、ヨーロッパの各銀行は既に現在手形の割引率を引下げたり、信用のひどい逼迫を緩和したり等々

七一

してゐる、と言ふのと同じことである。然しこの官廳的樂觀主義は、事實によつて、「取引所恐慌」が生産の領域まで襲來したことを、そして恐慌がアメリカからヨーロッパまで蔓延した記録によつて、否定されてゐる。

一九二九年の後半には世界經濟の景氣のカーブが下り始めた。既に八月、事實上國際的重要性を占める(三十億ポンド即ち世界生産の七割)合衆國の最大の鋼鐵トラストはその生産を著しく制限した。だが九月には鋼鐵トラストの生産は増加した、といふのは鐵道から大注文があつたからである。この手品の種は、鐵道王モルガンが恐慌の瞬間に内々で鋼鐵トラスト王に大注文をしたことにしたのだ、——と言へば、明かされる。従つて、モルガンの數百萬の注文が或る一人から別の一人に移つた、といふやうな取引だつたのである。

世界經濟情勢の悪化はまた、自動車製造の著しい低下、無數の「平穩」な・而も一般の耳目を聳動する破産、奢侈品生産の制限、採炭の減少にも現はれてゐる。同時に、恐慌の最も特徴的な現象の一つである物價暴落も認められて來た。鋼鐵、鉄鐵、木材、ゴム、木綿、羊毛、ガラス、非含鐵金屬、農産物、植民地向商品の價格は、合衆國ばかりでなく一般に全世界に於て著しく低下した。そしてそれは恐慌の世界的性質の最も確實なる兆候の一つである。

恐慌の兆は、ヨーロッパに於ても既に一九二九年の夏に見えた。例へばウィーン土地信用會社、フランクフルト保險會社の破産、有名なイギリスの投機屋ハトリイの名と關係を持つたすべての企業の破産は、序に言へば、これら紳士達の逮捕をもつて終つた。ハトリイは彼が過信した取引相手に千百萬を支拂つた。これらはすべて、十月下旬にニューヨーク取引所に始まつた動搖の嵐の前觸れに過ぎなかつた。二三のドイツ新聞は、取引所恐慌がアメリカの大銀行の参加なく起りはしなかつた、最大の株式仲買人は既に一九二九年の夏ニューヨーク取引所から隱退し、取引を小投機者に委せた、と先手を打つてゐる。然しニューヨーク取引所恐慌は、これらの種類の株式投機者ばかりでなく小ブルジョア、アジアの廣汎な層や、また勞働貴族、小株式の持主も巻き込んだ。恐慌は、とりわけ小ブルジョアや勞働貴族を破産させた。

取引所恐慌の最初の兆候は、十月十八日に現はれた。すべての工業企業の株式は俄然暴落した。十月二十四日には既に取引所は收拾の途がなくなつてしまつた。

十月末には恐慌はなほ尖鋭化した。十月二十九日には株式の流通が千六百萬弗といふ記録に達した取引所恐慌の範圍を知るためには、「ヴォス新聞」の計算によるとニューヨークその他のアメリカの取引所の恐慌が大小資本家に千六百萬マークといふほとんど天文學的な損害(十一月十五日には二千億

マークに達した)を與へたことが指摘されなければならぬ。然し恐慌は合衆國だけに止まらなかつた、それは他の國に、合衆國と緊密に結びついてゐる國々、とりわけカナダやラテンアメリカの重要諸國、そして遂にはヨーロッパ、特に、スエーデンのやうにアメリカの資本が著しく投下されてゐる國々(クロイク・コンツェルン)に擴がつて行つた。サヴェート同盟と境を接してゐる全東部ヨーロッパ——オーストリー、ハンガリー、ポーランド、バルカン諸國、バルチツク海沿岸諸國は、一般的な經濟恐慌に巻き込まれてゐる。これらの國々の政治的危機は經濟恐慌の結果である。これらの國々の情勢は、吾々に世界恐慌の結果の問題を展開する必要を前觸れしてゐる。わが黨は、用意なしに歴史の進行に當面するやうなことがあつてはならぬ。

然らば、恐慌は如何なる直接的結果を伴ふであらうか？

一 資本主義安定の互解、資本主義のすべての對立の激化、労働者階級の急進化のテムボの促進、彼等の不満の増大、それに伴ふ現象として零落せる小ブルジョアジーの増大。廣汎なる勤勞大衆は、資本主義體制が安定なものだといふ信念を失ひ、改良主義の基礎は萎縮し、労働者運動に於ける労働貴族の意義は減退するであらう。

二 國內市場の著しい狹隘化、資本主義經濟の生産機構と販賣可能性との間の不均衡の増大。生産

の制限は既に大衆的失業の増大を惹き起してゐる。大衆的貧困化に際してブルジョアジーの個々の徒黨どもを富裕にする酒宴は、ブルジョアジーとプロレタリアートとの間の深淵を深めるであらう。

三 ヨーロッパの犠牲に於て危機からぬけ出やうとする合衆國の努力によるアメリカとヨーロッパとの間の鬭争の異常な激化、そしてヨーロッパ大陸に於ける資本主義諸國家間の鬭争の激化。市場獲得のための鬭争は、ヨーロッパにヨーロッパ資本主義の地位を固める長期の信用貸しをすることによつて成功を確保しやうとする合衆國の努力の結果、更に鋭い形態をとるであらう。合衆國の政策は、ヨーロッパから原料の泉を奪はうとする努力によつて、更に攻撃的になるであらう。またヤング案により、植民地、特に支那獲得のための鬭争の激化によつて惹き起された對立は、益々尖鋭化するにちがひない。同時に、經濟的に弱い國に對する壓迫は増大するであらう。帝國主義戦争の危険は不可避的に増大するであらう。サヴェート同盟の外國貿易獨占を破壊しようとする帝國主義列強の試みが重ねられるであらう。

四 恐慌は國際社會民主主義及び國際改良主義の弔鐘となり得る、労働者運動の上に彼等が持つてゐた影響は資本主義安定と緊密に結びついてゐたのである。安定の互解は國際社會民主主義の根底をゆり動かすであらう、それは、労働者階級の上に社會民主主義者の持つてゐた影響を除くために世界

戦争と十月革命とがやり了げなかつたことを完全にやり遂げ得る。

七六

五 恐慌は、資本主義社會にとつて宿命的なものとなり得る。その結果は、資本主義的對立の尖鋭化に關していへば、一九一四年の世界戦争の結果に劣らないであらう。幾多の國々に於ける革命的情勢の成熟は、急速に進展し得る。少くとも、労働者階級の要求は、既に恐慌の第一段階に於て異常に高まるであらう。吾々は、政治的ゼネストの性質を持たうとしてゐる巨大なストライキの波に接近しつつある。プロレタリア獨裁のための闘争の問題は日程に上されるであらう。大衆の間に於ける共產主義的思想の影響は、異常に増大するであらう。この情勢にもかつ目して直面する準備をなすことが××の第一義務である。吾々はこれらの闘争のために自らの陣列をそれに應じて建て直し、すべての腐敗したもの、日和見主義的なもの、力の弱いものを清算し、コースをしつかりと革命的昂揚に向けねばならぬ、吾々は大衆の運動のテムポのあとに取り残されてはならぬ。切迫しつつある經濟的世界恐慌の問題は吾々の當面の革命的見通しの出發點とならねばならぬ。吾々は、労働組合戦術、工場内に於ける吾々の活動、日程に立つ労働者階級の經濟的及び政治的闘争に於ける吾々の活動、の領域に於ける吾々の決定的な任務を決定するに際してそこから出發しなければならぬ。

然し切迫しつつある經濟的世界恐慌は、もう一つの意義を持つてゐる。その光の中で若干の理論が

吟味される。例へば、わが國の社會主義經濟は資本主義世界經濟に従屬するといふトロツキーの理論は崩壊した。コミンテルン執行委員會總會の一つに於てトロツキーが如何に宣言したかを提起せよ——吾々は全電流から一電流を區別するやうに世界經濟から社會主義經濟體制を區別することは出来ぬ、と宣言したのである。トロツキーの見解に従へばこのことは、サヴェート同盟の經濟は資本主義世界の經濟の同じ「景氣變動」をまぬかれない、例へば世界恐慌は資本主義諸國と共にサヴェート同盟をも捲き込むにちがひない、何故ならばサヴェート同盟の經濟は、この理論によれば全世界經濟の一構成部分だからである、といふことを意味するのであつた。そして吾々は現實に於て何を見るか？ 恐慌は次第に東部ヨーロッパを捲き込んでゐるが、然し魔法にかけられた環の前で停止するやうに、サヴェート同盟の國境で停止してゐる。このことが恐慌の特徴的な特殊性である。もしも吾々が與へられたる場合にわが國の經濟と世界經濟との間の交互作用の結びつきについて述べ得るとするならば、それはたゞ、資本主義世界にとつて困難でありわが國にとつては容易である、資本主義の困難は客觀的に革命的な情勢をつくり出し、資本主義諸國のプロレタリアートの革命的任務、従つて社會主義の建設に際してのサヴェート同盟のプロレタリアートの状態を容易にする、といふ意味に於てのみである。「從屬性」はわが國では（トロツキーに於けるやうに）直接的なものではなくて、それとは逆

七七

の、二つの對立した經濟構造の和解し難い矛盾から生じたものである。

七八

同時に、恐慌は、「組織された資本主義」、資本主義經濟の計畫性の傾向、價格形成に際しての國內市場の役割の死滅、資本主義の內的矛盾の死滅等々に關するブハーリンの理論をも否定した。アメリカの經濟恐慌は、資本主義の非計畫性と無政府状態との最も明瞭な現れである。資本主義諸國の國內市場に於ける競争は死滅しつつある、個々の國々の内部に於て資本主義は經濟的破綻を克服するに成功した、資本主義的無政府状態は國際的舞臺に押しやられた、といふ同志ブハーリンの主張は間違ひであることが證明された。幾多の國々に於て革命的情勢を作り出し得るところの切迫せる産業恐慌は同時にまた、ただ國外舞臺に於ける對立即ち戦争のみが新たな革命的情勢の原因たり得るとなすブハーリンの理論をも否定してゐる。

最近數年間に於て合衆國の經濟が「最もよく組織された」ものなりと述べられたことは恐らく周知のことであらう。合衆國の組織されたトラスト資本の典型的代表者フーヴァーは屢々アメリカのブルジョアジーは「技術的進歩」や、個々の經濟部門間の不均衡の除去や、階級間の對立の除去等々を基礎とする一般的「繁榮」の秘密を發見することに成功した、と述べた。アメリカのブルジョアジーは「聯邦準備銀行」制度を誇りとし、それを合衆國の組織された資本主義の最も完全なる部分と見た。

周知の如く、世界の全ブルジョア經濟新聞はなほ昨年まで酒神の歌をうたつて合衆國の聯邦準備銀行を頌へた。事實、聯邦準備銀行もすべての獨占的トラストの巨額の積立金によつて鞏固に創立されたのであつた。それはアメリカの市場、就中貨幣市場を無制限に統制するかのやうに見えた。それは國內市場を支配し、そしてそれによつて工業と運輸業とを規整した。そののみではない。その意志は世界市場に於ても尺度となつた、といふのは例へば聯邦準備銀行が手形の割引率を引上げるか引下げるか直ちに全世界の銀行をも「振動」させたからである。スノーデンは、ブルジョアジーの大藏大臣としての彼の技量を示すべきその信念の見通しの中では、ヨーロッパを混亂から救済するため一般的にはアメリカ資本の活動、そして特殊的には聯邦準備銀行の活動が得た有益なる結果について書いた。

然しアメリカの經濟恐慌の發展は、「聯邦準備銀行」、「組織された資本主義」體制のこの主たる楯杆、が恐慌を防止し、そしてまたその結果を無害に終らせるに完全に無力なることを示した。かくて獨占資本主義の性質に關する論争に於て、同志ブハーリンではなくてレーニンこそが正しかつたのである。

七九

ヤング案と「軍縮」

經濟恐慌が次第に全資本主義世界を風靡しつつあるとき、吾々はヤング案にもその注意を向けねばならぬ。ヤング案は賠償金支拂の單なる規整者として役立つのではなかつた筈である。その發案者はそれ以上に大きいことを計畫してゐた。ブルジョア新聞や社會民主主義新聞によれば、それは、戦争とその結果とによつて破壊された資本主義的世界經濟の均衡を「規整する」ところの、資本主義の最後の安定化の決定的な槓杆であるといふのである。アメリカのブルジョアは、國際賠償銀行をつくることによつて、それを世界信用體系と國際貨幣市場とを指導するための機關にしようとする期待した。吾々は、この計畫が蹉跌することを豫言した。コミンテルン執行委員會第十回總會でも、帝國主義時代の「組織された資本主義」は更に高い段階の決定的な資本主義的矛盾をつくり出すから、ブルジョアは國際的な「計畫經濟的」な機關を持ち得ないといふことは、多くの同志達によつて指摘された。第十回總會はまた、ヤング案が帝國主義的對立を緩和せず、それは舊い對立を尖鋭化し、新しい對立を積み重ねる出發點となるものだといふことな強調した。今やヘーグ會議の後、會議に於て帝國主義列強間に行はれた激烈なる鬭争の後、國際賠償銀行の問題が空虚なものであることがわかつた後に、

第十回總會の分析が如何に正しく適中したかは最早少しも疑ひを入れ得ない。資本主義世界とサヴェート同盟との間の矛盾は益々深刻となつて來た。ヘーグに於てブリアンがデモゴキ的に弄んだ「歐洲聯盟」案は、事實に於てはアメリカ合衆國に對してといふよりもむしろサヴェート同盟に對して向けられたものであつた。東支鐵道に於ける紛争中の帝國主義列強の役割は、何らかの「平和主義的な」口實の下にサヴェート同盟に向つて資本主義世界が襲撃する危險が如何に緊急であるかを示した。更にまた、ヨーロッパの政局に於けるヘゲモニーを巡つて英佛間の鬭争も激化した。

そして最後にヤング案は、合衆國とイギリスとの間の對立を深めた。この對立は今日地球のすべての大陸に於て明白に感じられる。それは、資本主義陣營に於ける決定的なものであつて、マクドナルドとブーヴァーとが海軍の軍縮問題などでどんな協定をしても蔽ひ隠せるものではない。マクドナルドが最近合衆國へ企てた旅行は、太平洋の兩側の勞働者に平和主義的の幻想を抱かせ、帝國主義戦争の切迫に對する彼等の注意を眠り込ませるための憐むべきトリックであつた。現在政權を握つてゐる勞働黨は、自分に投票した勞働者を、「軍縮」を巡るその大道商人的な大法螺によつて偽瞞するためにマクドナルドの旅行を必要としたのである。かうした協定の假面を被りそして平和主義の煙幕の蔭にかくれて、ブルジョアは、一層容易に戦争のためのその熱病的な準備を實現することが出来るの

である。ロンドンの市はマクドナルドの凱旋旅行をかやうに評價し、彼の旅行は大西洋の彼方の實業家達によつてもかやうに評價された。英米協定のこの方面に對して眼を閉ぢ、その中に不可避的な英米戦争の遷延を見やうとするものは、ブルジョア新聞さへがマクドナルド君の平和を愛する努力を如何に判断してゐるかを知るべきである。

例へば「ニューヨーク・タイムズ」紙は、アメリカの空中演習と大陸に於ける戦争の破壊道具の試験とに多くの欄を割いてゐる。その報道のいづれの行からも、一九一四——一九一八年の大殺戮のときの新聞と同じ好戦精神が溢れてゐる。其處には、「その照暗火箭が花火のやうな働きをする高射砲」や「丁度鋼鐵の雨霰のやうに標的に注ぎかかる機關銃」やそして「恐るべき爆發力ある重量六百ポンドの空中爆弾の熔岩」や、「時速六十二マイルをもつて前進し得るタンク」のことが述べられてゐる。吾は、勤勞者が、戦争を生み出す政治組織を××××ときはその生ける標的となるであらう來るべき戦争のこの姿を思ひ浮べると身慄ひする。

演習の経過を詳細に叙述した後、「ニューヨーク・タイムズ」紙は、マクドナルドのやうな「政治家」を嘲笑する、富めるヤンキー得意の素朴な、一本調子の皮肉をもつて次のやうに附加へてゐる、「大砲の第一弾が、あだかも全世界の平和のためにフーヴァー大統領と協定して歸るマクドナルド首相を乗

せた特別列車がその大砲を試験してゐる平原を通つたその瞬間に鳴りひびいたことは、注目に値ひする」と。フーヴァーとマクドナルドとの間の協定の眞の意義と事實上の意義とを評價するために「ニューヨーク・タイムズ」紙より以上にうまい叙述を見出すことは困難である。

有名なるアメリカの陸軍大佐、砲兵隊長にして陸軍省の副官たるベネディクト・クラウエルの演習後に於ける演説もこの協定の眞相を明にしてゐる、「吾々はすべて平和を欲する。然るに吾々が此處に、今までに人間の頭腦が発見し得たうちで最も殺人的な且つ最も破壊的な兵器を試験するために何故に集まつたか、といふことは諸君には恐らく解し難いであらう。だが要するにそこには何の矛盾もない。わが砲兵隊は誰一人として平和を欲しないものはない、然し吾々が考へるに、人類が改造されない限り、牢獄や警察が消滅しない限り、戦争の準備をせざるを得ない」と。

アメリカの軍國主義者は、勞働黨が英米の臨時協定の意義を吹聴するために明らかにもはや我慢がなくなつた瞬間に、かやうに破廉恥に公然と言明してゐるのである。「若し平和を望むなら、戦争を準備せよ」——モルトケの影がアメリカの大佐クラウエルの言葉の裏に動いてゐるのである。

勞働黨の指導者は、英米協定の意義を吹聴するために、あらん限りの努力をしてゐる。けれども協定が破れるに違ひない、といふことは何等疑ひを入れ得ない、資本主義は、自らを破壊する無政府狀

態を克服し得ないからである、戦争をも、資本主義社會を震撼させる經濟恐慌をも除き得ないからである。

オーストリー

世界的經濟恐慌の結果は、就中資本主義體制の最も弱い環に現はれてゐる。恐慌は此處では資本主義の一般的危機を深め、眞先に政治的危機を惹き起してゐる。ブルジョアジーの陣營に於ける勢力移動は、舊い諸黨の崩壊を惹き起し、ファシストが代つてその地位を占めてゐる。ヨーロッパに於けるファシズムの成長は、斷じて、右翼の日和見主義分子が考へる如く、資本主義體制の安定のしるしでもなければ、ブルジョアジーの陣營が強固になつたしるしでもない。事實、資本主義體制の一般的危機の限界内に於て發展しつつある世界的經濟恐慌の現在の情勢に於けるファシズムの成長は、資本主義世界の經濟的及び政治的崩壊の反映である。ファシズムは、先づ第一に、經濟的及び政治的情勢の不安定な國々に成長しつつある。それはオーストリーである。オーストリーに於けるファシズムの成長は、オーストリー資本主義の解決し難い内的矛盾の結果であつた。オーストリーの産業は、舊い君主制の崩壊によつて市場を失つた。これが近世オーストリーの腐朽した第一の原因である。第二の原

因は、オーストリーの農業が全世界の農業恐慌及びオーストリーの人口の購買力の低いことと關聯してひどい恐慌を経験しつつあることにある。外國資本の援けを藉りてオーストリー資本主義を安定させようとする試みが失敗に終るや、ブルジョアジーは、労働者階級の暴力的壓迫、その生活水準の引き下げによつてこれらの困難からの遁れ路を探し求めつつある。

一九二七年七月十五日は、ブルジョアジーの攻勢に對するオーストリー・プロレタリアートの反抗力を示した。この日以来、不満を持つた農民の動員と社會民主主義者の政策に失望した個々の労働者層の獲得とによるファシスト勢力の不屈な準備が始まつた。運動はティロール州に始まり、次第に、二三の重要な産業地區に擴がり、社會民主主義の根據地たるウィーンを席捲した。今や、ファシズムへの降伏政策を掲げてゐる社會民主黨は大膽不敵となつた國防團を煽動し、ために國防團は最近ウィーンにさへ公然と現はれて來た。

ファシズムの攻勢は、シュローベルのファシスト政府に、社會民主黨を以て國防團にファシスト的武力的クーデターへの道を遮斷するの「デモクラシーの政府」なりと聲明したシュローベルのフ政府に、アシスト地盤を準備してやつた。

オーストリーにとつて、一九二二年ローマへ行進したイタリアの黒シャツ黨を手本にしてウィーン

へ行進するファシズムの勝利のイタリーの道が避くべからざるものであるか？ 断じて否である。オーストリーではファシズムは社会民主主義の降伏に際して次第に国家機構、軍隊、警察、工場に於て次々に地位を獲得するであらう。

オーストリーのファッシュ化の過程に於ける特徴的なものは、国防團の公然のファシズムと、パウエル、レンネル等々の社会ファシズムの隠蔽された左翼的言辭との結びつきである。この事情は、著しくファシズムの發展行程に影響するであらう。ファシストの徒黨を武装させ、工場内のファシスト・テラーを組織しつつあるブルジョアジーは、社会民主主義の利用を断念しはしない。

それ故にオーストリーのファシズムの権力への道は、ファシストが「ウイーンへの」行進の喜劇によるファシストの手への権力の最後の移行の隠蔽がないこともなさうであるとは言へ、それはムツソリニーのローマへの道ではない。それは、オーストリー社会民主主義の積極的な援助によるファシズムの「合法的な」確立の道である。

オットー・パウエル、レンネルその他の社会ファシスト的役割はまさに、彼等が先づ第一にファシストに工場の門を開き、かくて、労働者の反対示威の禁止によつてウイーンの街頭を明渡したことで、そして最後に、彼等が周知の如くファシスに好都合な憲法の改正をもつて終つたファシズムとの協

定を「ファシストの行進」とか、「暴力的革命」に關する叫喚によつて隠蔽したことにある。

このことは、ファシズムの勝利は社会民主主義との協定により、オーストリー・マルクス主義の完全なる降伏に際して流血の惨事なく達せられる、それは社会ファシズムによつてかくも犯罪的に裏切られたオーストリー労働者階級の反抗に打突かることはない、といふことを意味するであらうか？ セント・ローレンツツシットツケラウ事件後労働者階級はタイイもなく退却してゐる、国防團は射撃もなく明渡された陣地を占領し得るだらう、と考へるのは馬鹿々々しいことであらう。シヨールベル及びパウエルに對するファシズムの勝利は、ムツソリニーの道と全く同じく市街戦と結び附いてるのである。

第十回總會のわがオーストリー黨の戦術は正しかつたか？ 數の上からはオーストリーの労働者運動に於て非常に小さいグループに過ぎないこの黨には大なる責任がかゝつてゐた。わが黨は倦まず社会民主主義を暴露した、必ずしも巧にやつたのではないが、然し常にこれを暴露したのである。わが黨は労働者大衆に向つて、ファシズムを撃退せよ、と檄した、必ずしもその目的を達したのではなかつた、だが然し常に檄したのである。黨は正しいスローガンを掲げた、黨はそれを工場内の大衆の中に持ち込みはしなかつた、然しスローガンは常に正しかつたのである。最後に黨は、黨員の中ただ小

グループに過ぎなかつたが、ファシズムに對して闘争するために街頭に出た。このことは、黨に向つて如何なる非難もなされ得ないところのすべてである。黨の街頭デモを——大衆を動員するための工場内の活動と對立させることは間違ひであらう。

街頭闘争は、また労働者大衆を動員するための一方法である。吾々は、労働者が後になつて、社會民主主義的指導者が裏切りを準備しそして大衆を街頭行動から引戻した瞬間にわがオーストリーの小共産黨こそがファシズムに對して勇敢に闘争し、労働者に闘争せよと激したところの唯一のものであつたことを考へるであらう、といふことを知つてゐる。オーストリー共産黨の活動は、他日百倍の成果を收めるであらう。

だが黨の過誤は、ファシズムと資本主義的合理化とに對して闘争するに當つて下からの統一戦線戦術の應用が緊要であつたときに犯されたのである。黨は、労働者大衆をして自ら黨に従つて來さすために正しいスローガンを掲げるだけでいいと信じてゐた。労働者大衆が直接共産主義者に轉換する情勢があるものだが、遺憾ながら吾々はオーストリーに於ては未だかうした情勢にはない。其處では共産黨はなほ自分と大衆との間の道をひらく、——比喩的にいふと——社會民主主義者、改良主義者及び企業家が工場周囲に張り廻した鐵條網を通つて道をあけねばならぬ。

吾々はただ「自然發生性」や、突發的な奇蹟や、労働者大衆が自ら、オーストリー・マルクス主義の裏切りによつて教へられて、二十四時間内に社會民主主義に背を向けるだらうなどといふことのみを信じてはならない。そのためには工場内に於ける倦まざる小活動が必要である。そしてそれがオーストリーの共産主義者に缺けてゐるのだ。工場内に於ける吾々の活動は、オーストリーに於て絶対に不充足である。社會民主主義的指導者の意志に反して下からの統一戦線の提議を内容とする公文書を社會民主主義的労働者に宛てるだけでは充分ではない。吾々は、この眞の革命的戦線のためにファシズムに對して闘争しなければならぬ。吾々は公文書を廣汎なる民衆の中に持込み、それを數千部作り、その配布のためにすべての黨員を工場前に動員しなければならぬ。社會民主主義が階級闘争の黨であると考へてゐる幻想を未だ克服しない社會民主主義的労働者に公文書の意義を倦まず、系統的に、あらん限りの辛抱強さと根氣とをもつて説明することが必要であつたのだ。吾々は、社會民主主義的集會に入つて行き、社會民主主義的指導者によつて喉しかけられて、吾々の辯士が散々に擲られ、そしてかうした集會から追ひ出されてもそれを恐れることなく、労働者に向つて固い眞理を語らねばならなかつたのだ。そのためには、ファシズムに對して街頭で闘争するに劣らぬ勇氣が必要であつたのだ。吾々は、工場内の社會民主主義的労働者に向つて落着いて、だが強く、かう言はねばならなかつ

たのだ、さうだ、階級的同志達よ、吾々××主義者は、差當りなほ労働者階級の少数者ではあるが、この階級闘争に於ける指導的役割のための吾々の闘争を唯の一分間も放棄することなく、君達と共に肩をならべ、プロレタリア的習慣に従つてファシズムに對して闘争する心構へがある」と。オーストリアの同志達は、吾々が少数派であるといふ事實を承認することが——最大の日和見主義であると考へた。事實、若しもわが小黨がこれらの闘争に於ける指導的役割のための闘争を放棄し、社會民主主義に曳き摺られたとしたら、それは日和見主義であつたらう。

吾々はそのように行動したか？ 否、わが黨は、どんな日和見主義的集會にも入つて行かなかつた。黨は、工場内に於ける下からの統一戦線のための何等のカムバーニアも組織しはしなかつた。そして統一的労働者戦線に對するこの禁慾的態度の中に黨の主要な過誤があるのである。異常に激化した階級對立の新しい情勢に於て、黨はその活動方法の必要な轉換を成し遂げなかつたのである。黨は、異常に有利な客觀的情勢に於て、黨を労働者階級の大衆黨に變へる途上に於て何等の特に大なる進歩をもなさなかつたのである。

統一戦線戦術の問題に於ける禁慾主義は、コミンテルンのすべての支部にとつて、先づ第一に、だが數の上では弱い支部にとつて最大の危険を内蔵してゐる。統一戦線戦術の舊い形態は廢れ、その新

しい形態は今や成立しつつあり、コミンテルン執行委員會總會の決議の中に決定された。然しこれらの差當りなほ非常に制限された經驗さへも、諸々の支部によつて充分の精力をもつて實現されてはゐない。日和見主義的過誤を避けるには、下からの統一戦線戦術を放棄するが一番だ。然し、黨を日和見主義から救ふかうした方法は、吾々を大衆から孤立させる危険に陥れる。

八月一日を前にせる反戦委員會を思ひ浮べてみ給へ。吾々は八月一日の前夜に、數萬の黨未加入の労働者や社會民主主義的労働者が参加し、吾々と共に肩をならべて帝國主義戦争に對してデモを行つたやうなカムバーニアを組織することが出来たか？ 否、同志諸君、わが反戦委員會は、平常吾々と共に進行してゐる労働者を捕へることが一度も出来なかつたのである。それ故に、幾多の國々に於ける八月一日の示威もまた——活潑な労働者の比較的狭い範圍の示威であつた。吾々のデモは、通常、共產黨が持つ黨員數よりも十倍もの多くの参加者を捕へて來た。それは非常によいことである、だがそれだけでは未だ充分でない。八月一日とオーストリア事件との教訓から吾々は、統一戦線戦術の新しい革命的形態を遂行することなくしては労働と資本との間の階級闘争に於ける決定的要因となり、數百萬の労働者階級を共產主義思想のために獲得し得なかつた、ことを知らねばならぬ。

このことを吾々に教へるものは、先づ第一にオーストリア事件である。然しオーストリア黨の過誤

で吾々は、わが同志達が屢々「直接革命的情勢」が始まった、などといふ一般的公式を携げてこの緊急な、最も初歩的な任務を回避してゐるのを見るのである。例へばウィーンの「ローテ・ファーン」はシトツケラウの事件後、「直接革命的情勢」、即ちオーストリーに於ける暴動の情勢を報道した。而かもそれは一度や二度ぢやない。ベルリンの五月事件後、吾々はまた、「直接革命的情勢」に直面してゐるなどと幾度も主張されるのを聞いた。オーストリーに於ける暴動の情勢を口にし得るか？ 差當り、未だ口にし得ないのである。吾々は、オーストリーに於ける革命的情勢の異常に急激なる成熟を口に出せることは出来る。レーニンは、革命的情勢の特徴として何を挙げたか、

一、支配階級にとつて、變化した情勢に於てその支配を維持することが不可能になつたこと、即ち「上層のもの」に於ける何等かの危機、一つの龜裂を生ぜしめ、それを通つて被壓迫階級の不満と激昂とが外に向つて爆動するところの支配階級の政策に於ける危機。革命のためには通常、「下層のもの」がもはや同じ生活を續けることを欲しなくなることでだけでは足りない、なほ「上層部のもの」が舊い方法ではもはや生活し得なくなることが必要である。

二、被壓迫階級の異常に増大した窮迫と貧困化。

三、「平和」時代に於ては徐々に掠奪され、そして暴風雨時代に於ては危機の全情勢並びに「上層の

もの」とによつて独自の、歴史的行動に押しやられる大衆の、右に述べた原因の結果本質的に高められた活動性。

個々のグループや黨の意志からばかりではなく、個々の階級の意志からも獨立してゐるこれらの客觀的變化なくしては、革命は通常不可能である。(レーニン、第十三卷、一三九頁、ロシア版)

すべての革命的情勢が必ずしも革命に導くといふわけではない。かうした情勢の典型的な例は一九二三年のドイツの情勢である。そして吾々がベルリンの五月事件に於てレーニンの言ふ意味に於ける革命的情勢について述べ得なかつたのは、なるほど五月一日に於て革命的な、充分ではなかつたにしてもとにかく政治的大衆罷業によつて支持された行動が起りはしたが、然し上層のもの、何等の危機、ドイツ資本主義の何等の危機も存在しなかつたからである。ドイツの資本主義は、なほ堅固に鞏固にまたがつてゐたのである。

オーストリーには、上層の危機、労働者階級の搾取の異常な強化はあるが、然し未だ大衆の革命的活動の充分猛烈なる展開はない。労働者階級のこの活動力は、日一日と増大しつつある。成熟は、此處では非常に急速に起り得る。オーストリーの労働者の決定的闘争は數週日のうちに迫つてゐるといふことが出来る、それにも拘らず吾々は今日未だなほオーストリーの暴動の情勢について云々し得な

いのである。

オーストリーの同志達は、二千乃至三千の労働者を街頭に動員し、當該工場の全員によつて選ばれた一、二の反ファシスト委員会を組織し得ないでゐる。彼等はまだ唯の一つの工場に於てさへもプロレタリア自衛團を作らなかつた。然し彼等は暴動の情勢について云々してゐる。オーストリーの「直接革命的情勢」がいくらかでも一九一七年のわが十月事件に似てゐるのか？

直接革命的情勢のかうした叙述は、彼等の考へを暴露し、最も嚴肅な革命的任務について最も不眞面目に、分派主義的に解釋することを意味する。

もしも、武装せる階級が相互に對立してゐる直接的革命的情勢に於てオーストリーの黨が二三百の人々を街頭に動員するだらうといふやうなことを考へなければならぬとすれば——吾々は既にかうした「直接革命的情勢」や、かうした情勢に於て政治的には敗北した地位に立つてゐる、かゝる共産黨はもう眞平だ。もしも直接革命的情勢をこのやうに叙述するとすれば、それは言葉の遊戯であり、革命的情勢の利用に對する黨の責任を少しも感じないことを意味する。オーストリーの労働者は、街頭デモのためにわづか二三百人し、騒起させ得ず、而もその際暴動の情勢を口にする共産黨に如何にしてその信頼を捧ぐべきか？ 労働者は吾々を嘘つきと考へるであらう。彼等は吾々を黨だとは認めない

であらう、何故なら彼等はなほ、ドイツのスパルタクス團が單に小グループでしかなかつたが、階級闘争に於て巨大なる大衆を率ひた、といふことを想起するからである。オーストリーの同志達は、自分を信頼する主人を「直接革命的情勢」について屢々欺いたので、狼が現はれてこの「情勢」が實際に起つたときにも農夫（主人）が最早彼を信じなかつたといふ有名なロシアのお話にある牧童の状態に陥るかも知れぬ。

この態度は危険である。それは黨を工場内の「小活動」から離れしめるからである。もしもすべてのものから「直接的革命的情勢」が作り出されるとしたら、この活動も何にするのか？ もしも暴動が日程に上つてゐるとしたら、吾々のは何のために工場細胞のためにア、ク、セ、ク、するのか？ コミンテルンは、かうした「先走者」に對してその支部を戒めねばならぬ。

オーストリーの同志達は既に、この國に於て成熟しつゝある革命的情勢の中にある。然し彼等は、労働者大衆の活動力がヨリ鋭い形態で展開されないうちは、ウィーンの街頭が労働者大衆によつて暗黒にされ、労働者大衆の雪崩が國防團の無頼漢共を追拂ひ、オーストリー社會ファシズムの運動を打倒さないうちは、暴動の情勢に到達しないであらう。

私は今や、私の報告で植民地を取扱ふ節に到達した。此處では、第十回總會以來の新しい現象として、就中支那に於ける革命の波の昂揚が強調されねばならぬ。それは、支那の「上層のもの」の巨大なる危機、南京の反革命プロツクの瓦解と腐敗との結果である。南京の反動の危機を規定したものは何であつたか？

一 外國帝國主義からの解放は、どの點でも達せられてゐない。外國資本の經濟的地位と分け前とは、支那の土着資本主義の犠牲によつて強められた。帝國主義者は、今では、從來關稅自主の問題でやつたやうな表面上の讓歩すらしようとしない。南京政府は、二度、すべての資本主義列強の政府に向つて公けに、不平等條約を修正し、そして支那に於ける外國人の治外法權の原則を放棄するやうに願つた。それは二度ともハネツケられた。「アメリカのサム叔父さん」にかけた希望は遂げられなかつた。新鐵道線路の建設のための五億弗の借款は、會談の段階を出なかつた。

支那で地歩を固めつつある帝國主義者は、決して支那に對して信用を與へて支那の國民經濟の状態を容易にしてやらうなどとはしない。この點に於て、アムステルダムに於ける一九二九年七月の商業

會議所委員の國際會議は注目に値するものであつた。

支那の代議員が要求した信用と治外法權の撤廢とに答へて、アメリカ資本の卓越せる代表者たるラモント(モルガン會社)は、自分は支那の信用能力を信頼すべき何等の根據をも持たないと宣言した。従つて支那にこれ以上資本を供給することはほとんど不可能である、そして治外法權の撤廢に關する長談議はただ遺憾であると言ふに過ぎなかつた。南京一派の空想、外國の信用と治外法權の撤廢とにかけた彼等の希望はこのように破られた。

二 解決されざる農業問題と、同時に始まつた支那農業の深刻な危機(灌溉設備の破壊、軍閥、地主及び高利資本による農民大衆の掠奪)。當局の報告によれば昨年の凶作は五千七百萬の人口に打撃を與へ、その中三千萬は餓死の運命を與へられた。支那は今日アメリカの麥粉の主たる消費者の一人である。一九二九年の前半期に於て、アメリカから支那に百萬樽の麥粉が輸出された。支那の輸入増加は専ら生活手段に限られてをり、その價格は絶えず騰貴した。

南京反動の瓦解の第三の原因は、工業に於ける危機である。南京政府は、國の經濟生活を規整し得なかつた。木綿工業を除いて支那のほとんどすべての重要産業部門はひどい沈滞状態にある。重工業は、深刻な危機から脱し得ずにある。同時にまた支那に於ける絹工業の没落も益々目立つて來てゐ

る。天津に於けるほとんどすべての製粉機の休止は、製粉工業の状態を特徴付けてゐる。最近起つた上海に於ける最大の製革工場の一つが閉鎖されたことは、製革工業の停滞を證明するものである。最後に支那の煙草工場等々の生産も制限されてゐる。

支那の工業のかかる情勢が衰へずに續いてゐる外國の競争の結果であることはいふまでもない。それは、土着工業の發展の見通しを奪つてゐる。支那の生きた例が、植民地の土着資本の發展の可能性を説く「植民地脱化」の理論を最も明らかに反映してゐる。尖鋭化しゆく農業恐慌と國民の（特に農民の）購買力の絶えざる低下とはまた、工業の状態に影響せずにはゐない。互解はなほ、不斷の國內戦争によつても深められつつある。

四 國の統一は達せられなかつた、封建的な經濟及び政治の分散状態は除かれなかつた。軍閥戦争は消滅しないのみか、反對に益々擴大しつつある。第十回總會の間、南京と江西グループとの間の戦争は主として一省に、江西省の省界方面に限られてをり、當時南京は概して優勢であつた。今日では軍閥戦争の戦線は、全支那に擴ろがつてゐる。

これが南京の危機的情勢の一般的原因である。コミンテルンはそれを豫見し、南京の不可避的な破産、支那に於ける革命運動の昂揚、國民黨の同様に不可避的な互解、及び國民黨からのブルジョア政

黨の發生、を豫言した。國民黨の從來の支持者の中から「改組派」の黨の出來たことも、同様にこの問題に於てコミンテルンの見地が正しかつたことを證明するものである。コミンテルンはまた、支那に於けるストライキ運動の勃興と農民暴動の新たな勃發とを豫見した。支那に於ける革命運動の發展を分析するに際して、資本主義世界のブルジョア新聞がみな誤つてゐたけれども、コミンテルンは正しかつた。

支那に於ける革命の波の昂揚は、就中、ストライキに現はれてゐる。ストライキ運動の範圍はどうかといふに、例へば上海をとつてみると、日に平均一萬人の罷業者を數へ、最低五千人、多い日には二萬五千人に達してゐる。

政治的ストライキの波は、到る處に擴がりつつある。例へば、技師がメーデーを禁止したといふ理由から彼を免職せよといふ要求や、共產主義者の迫害をやめろ、逮捕されたものを釋放しろ、といふやうな罷業労働者の要求は注目に値する。帝國主義戦争に對する闘争、といふスローガンの下に上海及び天津で行はれた八月一日のストライキもまた指摘されねばならぬ。

革命的昂揚の現象として、また街頭デモがあげられねばならぬ。上海のプロレタリアートは、英雄的に街頭占領の彼等の權利を擁護してゐる。五卅事件の四週年記念日には、三萬人の大衆的デモが組

織され、その際群集は國民黨の二つの編輯部を破壊し、自動車電車の交通を停止させた。更にまた、七月十四日、東支鐵道が占領されたといふ報道があつた一日後には、中國共產黨は上海に於てデモを組織した。非合法的な黨にとつて準備期間が非常に短かゝつたにも拘らず、而も國民黨及び帝國主義者の彈壓に抗して、デモには五千人も參加した。従つてそれは異常な鬪争氣分を證明するものであつた。七月二十六日には、もつと大きなデモが繰りかへされた。そして最後に八月一日の國際反戦デーと九月一日の國際青年デーには、支那のプロレタリアートは、國際プロレタリア的連帯のためデモを敢行するために再び無数の都市に於て街頭に進出した。

諸々の都市に於ける強力な革命運動と共に農民運動も成長しつつある。この際先づ第一に、福建省及び廣東省の省界方面に於ける毛澤東及び朱徳のバルチザン隊（便衣隊）の成功的に發展しつつある活動が強調されねばならぬ。彼等は全地域を占領しつゝある。南京政府は、既に二年來、彼等に對して鬪争しつつあるが、失敗に終つた。國民政府はバルチザンに對して三つの派遣軍を準備した。バルチザンの鬪争は、文字通り英雄詩である。

彈藥なく、軍費なく、そして生活手段なくして彼等は、數の上では數倍も優勢な敵に對して鬪争し、革命的活動を中絶することなく數箇月間も山の中に籠り續けた。中國共產黨中央委員會の最近の報告

は、幾多の農民行動と湖南及び湖北省の全地域に於けるサツエートの英雄的な樹立とを述べてゐる。私は此處に、バルチザン運動に關する非合法的支那新聞の概觀を持つてゐる。

一 バルチザン運動に包攝されてゐる省、――

福建省	六十四地區の中	十六
江西省	八十一	四十
湖北省	七十二	三十
湖南省	七十五	四十
河南省	八十九	七
四川省	報告なし	

これら全地方の人口は、凡そ六千萬に達する。

二 バルチザン隊の勢力

毛澤東及び朱徳の第四軍團（福建省及び廣東省を策源地とする）	八千人
賀龍の第五軍團（推定數）	二萬人
ツ ー・ユイ・タン――江西省の北西地方	二千人

- フアン・チー・ミン——江西省の西……………一千人
- ワン・ツォー——省疆……………一千人
- ユイ・ハン・ウェイ・ツァイ——省南……………一千人
- チョー・ウエン・イ——湖南省の南部……………一千人
- ツイ・シユン——湖北省の中央……………一千人
- ダン・イエイ・ツァン——江西省の東部……………四千人
- リ・ツァオ・ツァン——江西省の西部……………一千人
- ヘー・ゴー・ツァン——萍郷の贛山地方……………一千人
- ピヤン・テ——湖南省の南部……………一萬人
- フィン・デー・クイ……………一千人

加ふるに右にあげた諸省に於て、主戦闘部隊を支持するために幾多の・最近成立した小戦闘隊が活動してゐる。北支那には、「紅槍騎兵」などのやうな著しく半神秘的な部隊が活動してゐる。

今まで吾々は、バルチザンの活動を革命の一般的退却に際しての後衛戦と見て來た。今日ではその

性質は變つてゐる。それは飛躍の一構成部分であり、擡頭しつつある革命の波の最も重要な前觸れの一つである。

反動が瓦解し、軍閥間の對立が尖鋭化し、そして新たなる革命の波が擡頭してゐるとき支那の軍閥によつてなされた東支鐵道の強盜的襲撃は、大きな役割を演じた。それによつて南京はサヴェート同盟との關係に困難な状態を作り出し、他面襲撃は帝國主義者間の軋轢の動因であつた（アメリカの提案した東支鐵道國際管理案は、それを滿州に於ける勢力に對する攻撃と見た日本の抵抗に打突つた）。更にまたそれによつて、南京と奉天との間の對立が尖鋭化した。奉天は南京から離れて、自政府の外交部長さへ任命した。次いで、偶發事件は馮、閻その他の軍閥の反南京行動を容易ならしめた。彼等は、南京の苦境を反南京行動に利用したのである。

加ふるに紛争は經濟の恐慌状態を深刻化した——支那の最も重要な鐵道線路の一つが瓦解し、東支鐵道の奥地地區からの支那の無稅通過品及び商品の運送が停滯し、支那の茶の輸出が損害を蒙つたと、これである。

そして最後に、東支鐵道の紛争は、「サヴェート同盟を守れ！」のスローガンの下に於ける労働者と農民との示威運動を盛にする動機を與へた。成長しつつある革命的運動は、そこに運動を活潑にする

ための新たな原動力を見出したのであつた。

擡頭しつつある革命的昂揚に當面して中國共產黨はどんな方針を追求しなければならぬか？

一 中國共產黨は就中、自分が革命の一要因だといふことを忘れてはならない。黨はこの運動を袖手傍観してゐることは出来ぬ。黨は南京の瓦解を利用し、以て積極的に鬭争に参加し、バルチザン運動を發展させ、組織し、地區を占領し、サヴェート権力を樹立し、農民を武装させ、農業革命を實現せねばならぬ。黨は、到る處に於て、独自のな力として立ち現はれねばならぬ。

二 然し、同時にまた黨は全然バルチザン運動の參謀本部になつてしまつてはならぬ、農民運動は工業中心に於ける労働者階級の積極的行動の條件の下にのみ成功し得るからである。それ故、ストライキ運動の組織的指導のための鬭争が黨の最も重要な任務である。赤色労働組合の確立は、國民黨系労働組合内部に於ける黨の最も積極的な参加と鬭争との、それに伴ふ直接的任務でなければならぬ。ストライキ運動の昂揚は、共產主義者が國民黨下の労働組合に於て積極的に活動することによつて黄色國民黨幹部の影響から労働者大衆を解放し得る最も確實な保證である。

三 「改組派」に對する黨の態度は、極めて重要な意義をもつものである。それと黨とのプロツクなどは、それが如何なる形態で行はれるにせよ、許されない。この「改組派」は現在、労働者農民の最

も危険な敵である。彼等は支那で、ヨーロッパに於ける社會民主主義者と同じ役割を演じてゐる。彼等は、革命的労働者農民運動に對する鬭争に於けるブルジョア反革命の最後の豫備軍である。ヨーロッパのブルジョアジーが苦境に陥るとき、彼等はマクドナルドに救ひを求め、支那のブルジョア反革命が言はゞ莖の上で腐るとき、彼等は最後の、未だ切らなかつた切札として「改組派」を出す。「改組派」が南京に反對してゐるのは、國民黨の反革命的政策に不満だからではなくて、南京が革命に對して彼等を保護し得ないからである。彼等は、自分達の方が一層支那革命の絞殺人の役割に適してゐると信じてゐる。中國共產黨の過誤は、「改組派」の反革命的役割を充分暴露しなかつた點にあつた。このことは、大衆が「改組派」に關して彼等の幻想を十分克服してゐないから益々重要である。例へば、賀龍は部下二萬人を率ひて張發奎に投じた、といふ人騒ぎの噂がある。張發奎は、労働者農民の信頼を得るために共產主義者を牢獄から解放した、と報ぜられてゐる。

中國共產黨は、無慈悲に且つ斷乎として「改組派」のデマゴギー的な策動を暴露することなくしては、勤勞者に對するその初歩的な義務を果し得ないであらう。

アフガニスタンとバレスチナ

他の諸植民地に於ける運動については、アフガニスタン及びパレスチナの暴動の教訓を擧げる必要がある、何故なら最初外國の共產主義的諸新聞に於てはパレスチナ及びアフガニスタンの事件が全く正しくは報道されなかつたし、また評價されなかつたからである。

パハリサカオの指導下にある反アマヌラ運動は、最初、イギリスの積極的的支持なくしては發展しなかつた。ローレンス大佐のやうなイギリス帝國主義の代表者は、或る意味でイギリス帝國主義から獨立した政策を遂行しようと試みたアマヌラの改良的努力を終熄せしめるために南方の民族を動員した。イギリスの代辯者は、巧みに農民大衆（アマヌラの全支配期を通じて、ひどい税金の重荷のために破産に瀕してゐた）の不满を利用した。この時期に税金が四倍乃至五倍高められたことだけでも考へてみるがいい。このことは決して偶然の現象ではない、現在植民地諸國の資本主義は外國の信用によつても農民の搾取によつても發展し得るからである。資本主義列強の支持を得て來た若い土着資本主義は、アフガニスタンの農民の犠牲に於てのみ發展し得たのである。この點に於てアマヌラの改良政策はまた反農民的なそして反動的な側面を持つてゐた。それ故、バハの運動は、イギリス人ローレンスによつて置かれた限界を飛び越えねばならなかつた。然し若干のわが外國の同志達は、この運動の階級的性質を見なかつた。彼等はそれを殆んど最後まで、専ら反動的なもの、僧侶と封建的首領と

の運動と見てゐた。

同じ過誤を吾々は、パレスチナの事件の評価の中にも認めることが出来る。砂漠のアラビア人（パレスチナ人）がすべての肥沃な土地から放逐され、約二百萬ヘクタールの土地が強奪され、そしてそれがユダヤ人の移住者に讓渡されたとき、端初段階にあつた彼等の暴動運動はユダヤ人殺戮の形態を取つた。此處でもまた若干の同志達は、既にその一二日後アラビア人がイギリスの守備隊に對して英雄的に闘争し、諸都市の個々の部分を占領したにも拘はらず、この運動を以て反動的な、反ユダヤ人的な迫害だと見ようとした。吾々がアフガニスタン及びパレスチナの事件から引出さねばならぬ教訓は、植民地の運動の現象形態の背後にその階級的内容を推知することを理解しなければならぬといふことにある。吾々は、後れた植民地には、混合物の少しもない水晶のように純粹な形態の植民地運動などといふものがないといふことを考慮しなければならぬ。混合物は、勤勞人口大衆に及ぼす反動的宗教の影響や、かうした運動を包圍する帝國主義的陰謀や、宗教的・民族的・社會的その他の偏見から成り立つ。植民地に於ける共產主義者の任務は、ただ運動の革命的意義を指摘するだけでなく、運動の事實上の階級的内容を歪曲するすべての邪魔物を除去し、運動に参加するすべての勤勞者がその一般的階級的任務を理解する水準にまで運動を高めることにある。私の報告の植民地の部分を終るた

めには、なほ、簡単に南アフリカの最近の運動に立ち入らねばならぬ。

一〇八

南アフリカ

南アフリカに於ける黒人暴動は既に以前からあつたが、今や再び今年の六月ポート・ナタール（デウルバン）に起つた。然しこの度の運動は、南アフリカのやうな資本主義の確立したイギリスの領土に於て未だ曾つて見ない鋭さと組織的形態を取つて現はれた。

南アフリカの黒人人口の擄取は極度に高められた。土着農民人口はその土地を強奪され、益々都市に逃れざるを得ない。都市に於て黒人労働者は極度にひどい状態に置かれてゐる。ただ一例を擧げるだけに止めるが、鑛山業に於て黒人労働者三十二萬人の賃銀總額が白人労働者二萬乃至二萬二千人の賃銀總額と同一である。法律は、黒人が經濟的紛争に参加することを禁止し、それを企業家の自由意志に委せてゐる。白人の耕地に働く數十萬の黒人は事實上奴隸である。

大地主の代表者たる公爵を首班とする愛國主義的政府は、最近、黒人に對して向けられた一連の法律を議會に於て採用した。これらの法律は黒人からその經濟的發展と組織との最後の可能性までも奪ひ、且つ從來總數四百五十萬人の中一萬六千人の黒人が持つてゐた被選舉權をも含む政治的權利を

剝奪することを規定してゐる。

デウルバンの暴動はこの政策、忍へ難い税金に對する答へであつた。

この運動の展開されつつある情勢は、支那に於ける革命的昂揚により、印度革命の問題を日程に上せてゐるところの印度に於ける革命的大衆運動により、そして最後に本國に於ける革命的労働者運動の飛躍によつて特徴付けられてゐるといふことを忘れてはならぬ。かうした情勢に於て、南アフリカに於ける運動の意義は異常に高まりつつある。

死と滅亡とは、イギリス帝國主義をあらゆる方面から脅してゐる。更にまた、南アフリカ及びパレスチナの運動が、イギリスに於て労働黨が權力を握つてゐる瞬間に起つてゐるといふことを忘れてはならぬ。事實は、労働黨政府が資本主義的合理化と戦争準備との政府であるばかりでなく、最も殘酷な、保守黨の傳統的方法と少しも異なるところのない植民地絞殺の政府であるといふ第十回總會のテーゼの正しいことを日毎に證明してゐる。

隠蔽された日和見主義が暴露されて來た

私は、コミンテルン内の右翼日和見主義的偏向の問題に移る。第十回總會以來この領域に於て新た

一〇九

に暴露されたものは何であつたか？

コミンテルン執行委員會第十回總會に於て、吾々は日和見主義の特殊の形態、所謂「隠蔽された日和見主義」について述べた。それは、わが諸支部内に數年來存在してゐた。鋭い階級的紛争が存在せず、共産黨のボルシェヴィキ化のための闘争が特にイデオロギーの形態を持つてゐた間は、それは一聯の、わが黨内に於て平和的に生存し、黨の方針とコミンテルンとに對する表面上の忠誠によつてその目的を達すると信じてゐた。それは、表面上は第六回世界大會に賛成し、苦々しい顔つきをしながらも「第三期」を丸呑みにしてゐた。それは、自分達は舊い社會黨の手本に習ひ、労働者階級の迫り来る革命的闘争について述べたてゝゐるのだ、彼等、日和見主義は、第三期に於てもコミンテルンが取つたコースに對し官僚的な遁辭を設けることによつて革命の嵐を切抜け得る、と信じてそれに形式的に妥協したのであつた。然し既に第十回總會は、この日和見主義を懲すばかりでなく、その害を除く吾々の影響が鞏固であつたことを示した。

第十回總會以來新たなものは、隠蔽された日和見主義が今や到る處で吹出物のように現はれて來たことである。吾々はすべての側からそれに肉迫しよう。

最近吾々は、スウェーデンの問題に於てそれに肉迫した。キルブーム及びサミュエルゾンによつて

指導されるスウェーデンの日和見主義者達は、長年の間、文字通りすべての決議に賛成し、あらゆる文書に署名し、日和見主義者をコミンテルンの他の諸黨から除名することに賛成した。フリッグ及びサミュエルゾンは第十回總會に於て、同志ブハーリンの過誤を斷じた決議に賛成した。そのときなほ吾々は、かうした確信あり訓練ある人々に向つてどんな要求を掲げ得たか？ 然し彼等はスウェーデンの黨に於て、コミンテルンの方針とは原則的に相容れない政策を遂行したのであつた。コミンテルンの決定は握り潰された。第十回總會に於てコミンテルンは、サミュエルゾン及びキルブームに向つて黨の政策のすべての決定的問題に於て明確な答辯をなすべきことを要求した。

スウェーデンの帝國主義はどんな性質を持つてゐるか、スウェーデンは半植民地であるか、それとも、他の帝國主義列強の體系中にその地位を獲得するために闘争しつつある若い帝國主義國家であるか？ これらの問題に對する答へによつて、また黨の戦術上の態度が取られねばならなかつた。共産黨フラクシオンが、スウェーデンのブルジョアジーは平和を愛する性質を持つてゐるなどといふ幻想を労働者の間に植付けたところの社會民主主義的「軍縮案」を提出したことは許さるべきであつたか？ 社會民主主義者とブロックを作り、而もその戦術がストックホルムに於けるメーデー・デモの取消しといふ悪評ある突發事件となつて現はれた共産主義者の實踐は、コミンテルンの決定に合致したもので

あつたか？ 労働組合問題に於けるキルプーム一派の——武器を放棄する——提議はコミンテルンの方針と一致したか？ 吾々は、これらすべての問題をスウェーデンの日和見主義者に押しつけたのであつた。遁辭はもはや不可能であつた。そしてスウェーデンの日和見主義者達は「自ら正體を暴し」、ドイツのブランドラー一派の如く公然と立ち現はれて來たのである。

更にまた、隠蔽された日和見主義を暴露するに際しての八月一日（國際反戦デー）の役割、八月一日の示威運動の提議に對して多くのわが黨内で如何に不機嫌の態度を取つたか、を思ひ浮べよ。數ダースもの反對文書を擧げ、大衆からの分離を以て吾々を威嚇し、失敗するにきまつてゐると前觸れし大衆の間の氣分が明らかに不足してゐるぢやないか、組織の力が弱いぢやないか、などと主張した。青年コミンテルンの陣列内に於てもこの提議は少しも感動的な反動を見出さなかつた。八月一日は、メスを振つて斷つようにすべてこれらの氣分を暴露した。吾々は、八月一日の示威運動によりすべてのわが黨をして、その組織の眞の姿を示させた。革命についてお喋りするだけでなく、帝國主義戦争に對する鬭争について仰々しい決議を採用するだけでなく、行爲によつて、君が帝國主義戦争に對する鬭争に於てなし得ることを示せ。

此處では日和見主義者もはや偏向し得なかつた。問題は此處では明瞭に提議され、ために一般的

な言辭によつてでなく、行爲によつて答へねばならなかつた。直接的に答へるといふ政策の正しいことが明らかにされた。この政策は、例へばフランスに於ては、統一労働總同盟の大會に於て、長年沈黙して來た隠蔽された日和見主義を暴露する援けとなつた。日和見主義は八月一日に反對したばかりでなく、資本主義的合理化の問題に於ける共産黨の態度や、労働組合運動に於ける共産黨の指導的役割等にも反對した。そして最後にまた、黨の政策に對する自治體委員會の「謀反」も指摘されねばならない。黨は年々、同じ人々を自治體機關に送つたが、彼等は其處で黨の統制を少しも受けない自治體政策を遂行してゐた。わが共産主義的自治體委員會の實踐は、社會主義者や小ブルジョア的民主主義者のそれと殆んど異ならなかつた。それは、一種の・日和見主義の最後の避難所であつた。廣汎な大衆を動員するための鬭争綱領の代りに——博愛主義的な「労働者愛」の綱領、ブルジョアと社會ファシズムとに對する鬭争の代りに——自治體政策の本質的問題に於て彼等との多かれ少なかれ假面を被つた協調、資本主義國家とその機關とに對する鬭争の代りに——その支配體系との合成、であつた。要するにわが共産黨フラクシヨンの自治體活動は、一種の、日和見主義の最後の塹壕であつた。そして共産黨はこの塹壕を占領しなければならなかつた。黨は共産主義的自治體政策を吟味し、そしてこの吟味には次の二原則を基礎としなければならなかつた、（イ）共産黨は自治體行政に於て、その

活動の他の領域に於けると同じく合法主義の傳統と絶縁し、その實踐に於てブルジョアの合法性の限界を乗り越えねばならぬ。(ロ)共産主義者は、彼等が全権力機構を××したとき何をなすかを具體的な例によりその自治體政策を通じて労働者に示さなければならぬ。

そしてフランスの黨がかうした統制を遂行しようとき、彼等はパリ郊外の地區委員クリシーの抵抗に打突かり、次いでルイ・セリール・カルシエリー等々の反黨的態度に打突かつた。

隠蔽された日和見主義の暴露に導かれたこれらすべての過程を、若干の年若い同志達は理解しなかつたし、また逸してしまつた。彼等は、最近の事實の存在を全く知らないものゝ如く、隠蔽された日和見主義について述べてゐる。彼等は、第十回總會以來始まつた變化を考慮してゐない。それ故に彼等は、隠蔽された日和見主義に對する闘争をも最も重要な任務として前面におし出してゐるのである。

かうした規定の危険は何處に隠されてゐるか？ それは、共産黨の注意を、新たなる戦線が確立されても消滅され且つ克服されてゐないところの實際の日和見主義的危険から外らせてゐる。サヴェート同盟共産黨内にはまた、「有能な事務の才」と闘へ等々といふ如き新しいスローガンを以て日和見主義に對する闘争に置換へようとする試みがあつた。政治的日和見主義は明らかに克服されてしまつた

から、最も重要な任務は現在では實踐的日和見主義に對する闘争である、と指導部が宣言したウラヂミール事件を指摘するだけで充分である。更にかうした規定は、政治闘争を心理的詭辯等々によつて置換へる動因を與へ得るものである。かくて吾々は、例へばドイツの共産主義青年同盟の文書の中で日和見主義に對する闘争と共に、「隠蔽された日和見主義に對する闘争」とか、「日和見主義的氣分」に對する闘争等々の第二義的の任務の全等級分けを見出すのである。

最後に、これらの規定は青年にとつて特に危険である、それは青年の注意を緊急必要な方向轉換から外らすからである。方向轉換とは、わが青年の同志達の間で、孤獨や、獨りよがり等々の傾向となつて現はれてゐる大衆に對する恐怖を克服しなければならぬことである。大衆に對する恐怖は、決して左翼的道德ではない。それは日和見主義である、然し決して隠蔽された日和見主義ではなくて、かなり率直なそして公然の日和見主義である。それはブルジョア社會にとつてもまた政治的分派主義にとつても、資本主義國家機構、その裁判所、警察及び軍隊に對する責任といふ見地からいへば、一般に大衆に何の影響をも及ぼさず、彼等を組織し、闘争に導入れることを理解せず、然しその際日和見主義的無能が急進的言辭の蔭にかくされてゐるといふことなどよりもズツト／＼罪が軽い。ブルジョアジーの眠りは、かうしたデモ革命家によつては破られない。かうしたデモ革命家は、ブルジョアジー

を妨げもしない、彼等ブルジョアジーは労働者の陣列内に於けるその無力と破壊的役割とを知つてゐるからである。戦争を前にしての労働者運動の中には、たゞかうしたデモ革命家（ジュオー、ヘルヴエ等々）のみがうよく／＼してゐた。

恐慌、失業及びストライキ運動

一 二三の暫定的結論

今や世界經濟恐慌の成熟は争ふ餘地のない事實である。一ヶ月半前にブルジョアジーの經濟新聞には、まだ恐慌が合衆國から他の諸國へ傳播するかどうかといふ疑問が書かれてゐたし、また少し以前まで共產主義的新闻にも亦た——殊にプロレタリア獨裁の吾々の國でもサヴェート經濟學者達の間で（パウロフ）——アメリカ恐慌の意義の過小評價が見られてゐたとしても、もはや今日では世界恐慌の成熟といふことは争はれないのである。世界經濟恐慌の成長のテムボや度合や形態については色々の違つた意見があるが、右の事實は誰も否定することができないのだ。

續いて報告者は恐慌が巨大な社會政策的諸結果を齎すことを指摘し、すでに始まつてゐる經濟恐慌から二三の政治的結論を與へる。これらの結論は大體次のやうである。

第一。戦後のあらゆるブルジョア理論の根柢に横はつてゐたアメリカの『繁榮』の理論、資本主義體制の調和と安泰との理論、資本主義經濟の計畫性の増大の理論、資本主義經濟の組織性と無政府状態克服の可能性——無政府状態は自由競争の上に立つてゐた初期資本主義の一特性に過ぎないといふのだ——といったやうなこれらの理論は破産してしまつた。

結論の第二。アメリカの例外的地位に關するラヴストーン・ペーパーの理論、繁榮理論の一變種に過ぎないこの理論は、破産してしまつた。

結論の第三。恐慌はまた『組織化された資本主義』に關する社會民主主義的理論を片づけてしまふ（カウツキーの超帝國主義に關する理論、經濟的利害の國際的錯綜のうちに資本主義的矛盾を取り除く要素を見つけ出すヒルファーディングの『組織化された資本主義』に關する理論、及び最後に景氣の調整に關するこの理論の最新版、これはナフタリによつて擁護され今やドイツ労働總同盟の公認綱領になつてゐる）。

第四。恐慌は『組織化された資本主義』に關する殊にブハーリン一派との吾々の討論の結論をも引き出す。ブハーリン一派は、帝國主義の現在の時期には『市場、價格、競争、恐慌の問題は益々世界經濟の問題となり、一國內に於ては組織の問題と置きかへられる』かのやうな見解を、コミンタインの列伍のなかへも亦た持ち込まうと企てたのだ。アメリカ恐慌は次のことを明瞭にした。それは『市場價格、競争、恐慌の問題』は益々世界經濟の問題となるがそれと同時に、この問題はあらゆる個々の資本主義國家の内部に於て、外的矛盾と平行しそれと常に交互作用を起しながら増大して行く深刻な内的諸矛盾を呼び起すといふことだ。

第五。恐慌は第三期の性質に關する吾々の右翼派及び調停派との鬭争に結論を與へる。

第六。恐慌の成熟は資本主義的合理化並びにその結果に關するコミンタインの立場の正しさを證明する。

第七。恐慌は嘘八百の非植民地化理論に關して結論を與へる。

最後に、資本主義諸國に於て成熟しつゝある世界經濟恐慌は、サヴェート同盟に於ける五ヶ年計畫の勝利ある實現に當面して、世界史的意義のある總決算をやるものだ。二つの世界體制が、即ちアメリカの資本主義的繁榮の體制と吾々の社會主義的建設の五ヶ年計畫とが衝突するのだ。

吾々の五ヶ年計畫と集團化との眞の世界史的意義を正しく評價し得るためには、これらに對する全資本主義社會の恐怖を見なければならぬ。帝國主義者共の側からのサヴェート同盟攻撃の危険は増大した。帝國主義的サヴェート戦線は擴大しつゝある。アメリカがそのなかで指導的役割を演じ始めてゐる。そしてアメリカ資本主義の地位が震撼さればされるほど、アメリカ・ブルジョアジーの反サヴェート政策は益々積極的になるだらう。

二 恐慌の地理

現在の恐慌の國際的性質を示すどういふ指標があるか？ その指標は價格の反落、株相場の下落、資本發行の縮小、一聯の植民地諸國に於ける爲替相場恐慌、破産數の増加、一聯の諸國に於ける生産の不規則的な反落、及び最後に破局的な大きさを有する失業だ。價格下落は恐慌の國際的性質の眞の指標だ。價格下落の状態はどうか？ 私は最近數ヶ月間の價格下落に關する數字を二三引證しようと思ふ。例へば小麥の價格は一九二九年中に一〇・四%、一九三〇年のたつた一ヶ月の間に一二・六%下落した。棉花の世界價格は一年間に一四・七%、一ヶ月間に六%下落した。オーストラリアの羊毛の價格は昨年の中に三九・五%、一九三〇年の一ヶ月に二一・二%下落した（周知の通りオーストラリアは雑誌『流れに抗して』の經濟學者たちから、現在隆盛の段階にある諸國のなかに數へられてゐるのだ）。黄麻の價格は一年間に二〇%、一ヶ月間に四・五%下落した等々。昨一九二九年に比して皮革は一五%鞣皮は一〇%低落した。ゴム價格は三〇%、錫は一九%、銅は七%下落した等々。

世界經濟恐慌の發展を述べるに當つて諸國の四つの型を確認することができる。何よりも先づ北アメリカ合衆國。第二に東Ⅱ及び中央ヨーロッパ。第三に植民地及び半植民地即ち印度、支那及び南アメリカ。第四に私が前恐慌景氣の諸國と呼びたいと思ふ諸國、西ヨーロッパ、フランス、イギリス及びスカンディナヴィア諸國の一部をそれに數へることができる。

(一) 合衆國。合衆國の恐慌は世界經濟恐慌の最も重要な根本的部分だ。だが合衆國の恐慌は一九二〇年の恐慌の鋭さにはまだ達してゐない。『アナリスト』によれば一九二九年の生産指數は次のやうだ。七月一〇八、八月一〇六、九月一〇五、十月一〇三、十一月九四、十二月八九。従つて生産は約一八%低下してゐる。これは年々の季節的變動を考慮に入れてないのだから、實際には生産はもつと多く減退してゐるのだ。鐵道工事Ⅱ諸會社の注文に關聯して、一月には冶金工業と鋼鐵工業とにいくらかの恢復が見られる。だがそれと同時に消費商品を生産する工業部門の状態はなほ一層惡化した。同志諸君、諸君は、フーヴァーと工業家連中や金融業者仲間との商議に従つて經濟恐慌克服のために講じられた方策が大騒ぎされたことを思ひ出すだらう。諸君はフーヴァーのプログラムが建築事業を發展させるにあるといふことを思ひ出すだらう。フーヴァーの方策の成果はどうか？ 今のところこの成果は少しも顯著でない。一九三〇年一月の建築契約總數は一九二九年に比して五五%少い。

(二) 東Ⅱ及び中央ヨーロッパ。恐慌に襲はれてゐる第二のグループは東Ⅱ及び中央ヨーロッパの諸國である。これらの諸國の個々の國では（オーストリア、ポーランド）、合衆國より以前に恐慌が展開してゐる。これらの諸國グループは長い經濟的沈滞——それが恐慌へ伸びて行くのだ——をこれらの國で呼び起す獨自の特殊諸原因を有してゐる。その諸原因といふのは、會つて統一的であつた國家領

地の戦後に於ける分散、生産力の發展を阻害する封建的殘存物、世界資本によるこれらの諸國の財政的抑壓——この財政抑壓は、中央ヨーロッパの諸國を、オーストリアやドイツのやうな國までを、苦しめてゐる——、これらの國の資源に不適合な軍備費や警察費の増大等々だ。經濟的沈滞の作用を深刻にするこれらすべての要素は、これらの國で政治的危機の成熟のための諸前提を作り出す。この政治的危機は吾々の戰術的立場に於て、殊にポーランドのやうな國に關して顧慮されなければならないのである。

ドイツに於ける恐慌現象はどこに現はれてゐるか？ 何よりも先づ石炭採掘の減退と石炭貯藏の増加とに現はれてゐる。例へば十二月末には石炭及び骸炭貯藏は七十七萬八千噸だったが、一月末には二百萬噸となつた。鉄鐵及び鋼鐵の生産は最近一〇乃至一五%低下した。金屬加工工業や織維工業の狀態は不良であり、建築業は停滯してゐる。到る處で労働者が解雇され、株相場は下落する。東ヨーロッパの狀態はもつと悪い。ポーランドでは鑛山業、鉄鐵Ⅱ及び鋼鐵工業が激烈な恐慌に襲はれてゐる。織維工業の生産は半分以下に減退した。農業恐慌は尖鋭化し、株相場は下落し、破産數は増加してゐる。オーストリア、チェコスロヴァキア、バルカンの狀態は非常に悪い。失業は異常な大きさに達し數十萬の労働者家族は飢餓に迫つてゐる。

(二) 植民地及び半植民地。恐慌諸國の第三の型は植民地及び半植民地だ。一般に周知の通りこれらの國は、數年來深刻な經濟的沈滞の狀態を脱しない。この經濟的沈滞がこれらの國で大きな政治的運動の土臺を作つてゐる。現在の世界經濟恐慌はたゞこれらの國の恐慌現象を尖鋭化するに過ぎない。有名なイギリス經濟學者ケーンズは、『ナショナル保險會社』の株主總會での演説のなかで、切迫した恐慌によつて作り出された世界經濟情勢を特徴付けて次のやうに言つた。

『嵐の中心點はイギリスにあるのでもなければ合衆國にあるのでもない。原料を生産する諸國にある。好轉或は一層の悪化の徴候はロンドンやニューヨークに求めるべきでなく、オーストラリア、南アメリカ、アジア及び中央ヨーロッパにこれを求めるべきである』。

これらの國々ではいかなる特殊諸原因が恐慌現象を呼び起すのだろうか？ 何よりも先づ封建的殘存物、及び多くの地方ではまだ奴隸制度の殘存物を基礎とした金融資本の略奪耕作形態の發展だ。例へば南アメリカに於ける革命的昂揚の急速なテムボは次のことにその根據がある。南アメリカの諸國では奴隸制度の殘存物、封建制度の殘存物及び金融資本による搾取の最新形態といふ三種の社會的支配形態の結合が存在してをり、このことがやがてこれらの國で最も鋭い形の階級闘争を作り出すのだ。第二の原因は所謂經濟の單一作物型である。帝國主義者共は植民地を經濟的に抑壓し、經濟的な或は

往々軍事的な方策を用ひて、強制的に母國の工業に必要な生産物だけを作らせる。例へばエクアドルはココアを（世界生産物の三分の一）、チリは硝石を、ポリヴィアは銅を、ブラジルは珈琲を（世界輸出の七〇％）、マレイ群島はゴムを、キューバは砂糖を、印度は棉花・黄麻・油脂植物・茶を、エチプトは棉花を（總輸出の八〇％）等々。

世界市場に於ける景氣の動搖が不可避免的にこれらの産業部門の状態に反映することは全く明かだ。景氣の動搖は植民地に於ける無数の小生産者を没落させる。恐慌がこれら植民地及び半植民地の諸國の全經濟に齎らす破壊的結果を書き付けるならば、多數の頁をうづめることができるだらう。

植民地に於ける經濟的沈滞の第三の原因は、農業生産物の價格下落を遙かに超える植民地の原料價格の破局的な反落である。指導的資本主義諸國に於ける過剰生産は自動的に植民地原料の過剰生産を伴ひ、その結果著しい價格下落を引き起さざるを得ないので。

(四) 前恐慌景氣諸國。最後に第四のグループの諸國——前恐慌景氣の諸國（フランス、イギリス、スカンディナヴィア諸國の一部）。フランスではすでに恐慌状態の指標が明瞭に現はれてゐると主張することはできないだらう（三月十一日）。反對に全ブルジョア新聞はフランス資本主義の現状を隆盛期と評價してゐる。それにも拘はらずヨーロッパ石炭カルテルの決議に従つて、一〇％の鋼鐵生産制限

が行はれた。繊維工業の状態には悪化があり、株の値下りが認められ、農業恐慌も亦たこゝでは鋭く作用してゐる。

イギリスは去年はいくらか前進したとは言へ、慢性的沈滞が続いてゐる。繊維工業に於ける状態は更らに極度に逼迫してゐる。資本の輸出は減退の傾向を示し、すでに前年に於けるよりも少なくなつてゐる。取引所相場は下落し、新證券發行は減少してゐる。同時に失業は増加し現在（三月十一日）二百萬を算してゐる。

スカンディナヴィア諸國に關しては、二月八日の『エコノミスト』がスウェーデンすでにアメリカ恐慌の影響が目立ち出したと確認してゐる。生産指數は一九二九年十一月の一三七から十二月には一三〇に減退した。景氣悪化の最初の徴候がオランダにも、スイスやベルギーにも認められる。

これが現在の時期に於ける世界經濟の一般様相である。これが成熟しつつある世界經濟恐慌の諸要素である。

三 恐慌の諸結果と諸共產黨の任務

同志諸君！ 今や私は報告の第四の「原文のまゝとす」そして最後の部分に到達した。それはこの

の下に行はれたアメリカ資本の反イギリス政策——それはイギリス植民地及び自治領に對するアメリカの公然の攻撃のための準備段階を示してゐるに過ぎない——は、世界の分割のための帝國主義戦争の政策へ伸びて行くのだ。發展しつつある世界經濟恐慌は、イギリスと合衆國との間の帝國主義戦争の成熟を高度に速めるのだ。

更に恐慌は一方に於て帝國主義陣營と、他方に於て植民地及び經濟的・政治的隷屬諸國との間の對立を深刻にする。ブルジョアジーは何よりも先づプロレタリアートを犠牲にし、だが同時に植民地並びに隷屬諸國及び半植民地諸國を犠牲にして、恐慌から逃れやうと試みるだらう。だがこのことからより大きな公然の植民地略奪、武装暴力をもつてする植民地分割、及び軍事占領の方法のヨリ一層廣汎な使用の時期が始まるのだ。帝國主義者共にとつては、恐慌の結果による支那の經濟的衰微によつて支那の分割が日程に上つて來た。南アメリカは内亂及び英米資本の傀儡による個々の國家間の戦争のヨリ鋭い段階へ入り込んでゐる。巨大な帝國主義的抑壓に對する返答として植民地世界全體に、最近吾々が目撃したやうな蜂起の波をすべてその蔭にかくしてしまふほどの一つの新たな蜂起の波が起つゝある。同時に恐慌はイギリス自治領の遠心的傾向を強め、自治領のイギリスからの分裂過程を速め、その結果地球の大きな部分に於ける勤勞大衆の奴隸化を基礎とするイギリス世界帝國の、經濟的

並びに政治的壞滅をも速めるのだ。

資本主義諸國家の内的諸關係の領野では、恐慌の結果新たな資本集積の波を、中小ブルジョアジー没落を引き起してゐる。恐慌は勞働貴族の社會的基礎を奪ひ去り、それによつて社會的對立のXX招く。だがこのことは現在の諸關係の下では不可避免的にファシズムの増大を招く。このことは社會民主黨と改良主義的勞働組合官僚との一層のファシズム化過程を速め且つ深めて、彼等を『資本主義的安定化』の黨から、XXXXしつゝある資本主義の擁護の黨に轉化させる。同時にこのことは現在のXXX昂揚が、指導的資本主義諸國及び植民地に於けるXXX情勢にまで生長するといふ重大な見透しをも亦た開くのだ。以上は——今後プロレタリアXXXXXXXX闘争に至るまでの數年間を考慮した——大きな歴史的斷面に於ける恐慌の諸結果である。

四 戰 術

だが同志諸君、現在の幹事會の任務は、今後の數年間に對する吾々の戰略的立場を決定するのにあるのではなく——このこと「戰略的立場」は第六回大會及び第十回プレナムの文書で明かにされてゐる——、吾々の任務は、現在の歴史的瞬間に於て今後の三四ヶ月に對する吾々の戰術的方針を描くこ

とにある。そしてこの恐慌の結果と關聯して吾々の當面する第一の問題は恐慌が國際労働者運動の革命的昂揚に對し、今後三四ヶ月間どのやうに作用するかといふ問題だ。

第十回プレヌムの時期の情勢はどうだつたか？ 周知の通り資本主義的安定化にとつては、一九二八年は經濟的ストライキ運動の發展に關して記録的な年だつた。吾々は、この時期を労働者階級の内部に於ける沈滞の終末、及び經濟闘争へのプロレタリアートの移行の時期として特徴付けた。それは資本の攻勢に對するプロレタリアートの逆襲の時期だつたのだ。

經濟的ストライキ闘争は、第十回プレヌムの時期に對する革命的昂揚の主要現象形態だつた。このことは、既に數個の國で經濟闘争が他の形態の革命的闘争を伴つたことを除外するものではない。吾々は第十回プレヌムの時期にいくつかの大衆デモンストレーションを見た。それらは五月一日に數個の國で流血の衝突にまで至り、ベルリンではツエルギーベルの警官隊に對抗する三日間に亘つたバリケード上のバルチザン闘争にまでなつたのだ。植民地、殊に印度では、既にこの時期に労働者階級のストライキは國民革命的解放のための闘争と結合し、その結果或る程度まで政治的性質が刻印づけられた。

第十回プレヌム以後、成熟しつゝある革命的昂揚が一段高まつたことを吾々が主張し得るやうない

かなることが起つただらうか？

「八月一日」。第一に八月一日のプロレタリアートの反戦闘争だ。もしも革命的昂揚がなかつたならば八月一日を遂行することができなかつたといふことは全く分りきつたことだ。だが吾々はこの運動を自然發生的な波の上に打ち建てたのではなく、諸共産黨の大衆への組織的影響の上に打ち建てたのだ。即ち共産主義者は最小抵抗線に進んだのではなく、大困難の線に進んだのだ。なぜならば、吾々の組織的影響こそは吾々の活動の弱點だからだ。だがそれにも拘はらずコミンテルン諸支部の黨員數の十倍もの労働者をこの運動に引き入れることができたとすれば、この事實は革命的昂揚に對する最も確かな證明なのだ。種々な共産黨の代表者たち——殊にイタリア、ルーマニアその他の非合法共産黨の代表者たち——は、八月一日が數個の國々に白色テロルとファシスト獨裁の諸國の労働運動に於ける飛躍の一モメントであつたことを知つてゐる。

「ストライキ運動」 革命的昂揚の成熟を證明する第二のモメントは、ストライキ運動と共に、またストライキ運動が行はれるあの激烈な形態である。第十回プレヌム以後一聯の諸國でストライキの波の一層の強化が見られる。例へばイギリスでは、一九二八年にストライキ参加者が十二萬四千人、ストライキ日數は百三十八萬八千日であり、一九二九年にはストライキ参加者五十三萬二千人、ストラ

イキ日數八百二十三萬日だつた。フランスでは、ストライキ参加者は一九二八年には二十二萬二千人、一九二九年には四十三萬一千人だつた。だがその他の一聯の諸國即ちドイツやまたイタリアでさへも、一九二九年にはストライキの數が減少した。このことは、革命的昂揚のテムボが弱くなつたといふこと、或は一般に革命的昂揚が存在しないといふことを意味するのだろうか？

右翼背教者共は直ちにこのやうな結論を引き出す。彼等の意見では、主として一率に高まつて行くストライキの波がなければ革命的昂揚もない、と言ふのだ。煩鎖哲學的な猶太律法學者だけがこのやうに問題を立てることができる。だが革命家はそんなことはしない。第一に革命的昂揚は到るところ一率に起り得るものではない。第二に革命的昂揚は經濟的ストライキのなかだけに現はれるものではない、他の形態の階級闘争のなかにも現はれるのだ。

〔經濟的ストライキといふ〕闘争のこの形態だけが全體としての運動の生長または衰退を決定する必要は、絶対にないのだ。第三に昂揚とは、毎月、毎週、毎日ごとにストライキが増加することだとするやうな生氣の抜けた日和見主義的幻想をもつて、革命的昂揚の性質をおきかへることはできない。最後に昂揚の一指標としてのストライキそのものゝ分析に當つて、吾々は、このストライキの取る形態に注意しなければならない。一九二六年のイギリスのゼネラル・ストライキは、階級闘争の非常に

重大な一事件であつたけれども、極めて平和な形態に始終した。これに反して現在の部分的ストライキは戰鬪性を帯びてゐる。特に現在のストライキ闘争の特色をなしてゐるのは、ストライキ闘争が單に企業家やその國家に對して向けられてゐるばかりでなく、改良主義的労働組合官僚や社會ファシズムに對して向けられてゐるといふことだ。現在のストライキ闘争の殆んど全部は、單に資本と労働との紛争であるばかりでなく、その性質に於て英雄主義と決意とをプロレタリアートに要求する階級闘争の焦點となつてゐる。だからプロレタリアートの革命的闘争の學校としての現在のストライキ闘争の意義は非常に重大なのだ。

同志諸君、だが既にストライキ闘争は常に政治的性質を有してゐると言ひ得るだらうか？ 絶對的な形態ではこのやうな主張は誤りであらう。このストライキの性質を、個々の場合に於て分析しなければならぬ。

最大資本主義諸國を考へる場合、それらの國では、運動はまだ主に經濟的運動として現はれてゐると主張することができる。それらの國では、經濟的闘争の政治的闘争への生長について語ることはできない。それらの國では共產主義者は、大衆をして政治的マツセン・ストライキのスローガンを實現せしめるために、まだもつと活動しなければならない。そのやうな經濟的闘争の政治的闘争への生長

の最初の徴候は既に方々にある。

それはどこに現はれてゐるか？ それは同情ストライキがより一層廣汎に擴がり始めてゐることに現はれてゐる。一九一九年に於けるフランスのストライキ總數のうち一六％は同情ストライキだつた。この點に關してドイツにも亦た前進的運動が確認される。一共產主義者の解雇に關聯して勃發したオーベル工場のストライキは、最初に考へられたよりもヨリ多くのものを示してゐる。周知の通りイギリスではマクドナルド政府は、同情ストライキ、及び一般に政治的ストライキに向つて労働組合に關する保守黨の監獄法を適用してゐる。

第二流資本主義諸國のストライキ運動を考察するならば、それらの國では最大資本主義諸國のストライキ運動に於けるよりも、一層多くの政治闘争の要素が見出される。ルーマニアでは、革命的労働組合防衛のスローガンの下にストライキとデモンストレーションが展開された。ギリシアでは、ストライキ運動が農民の諸要求の防衛と結び付いた。植民地諸國、例へば印度では、ストライキ運動が國民革命的解放闘争の諸要求と結び付けられる。

これらの國では政治的ストライキの諸要素の増大が、最大帝國主義諸國に於けるよりも一層急速に進行してゐる。だがこれらの現象を一般化し、現在のストライキ運動を特徴づけてゐる不均等性を見

ないならば、それは誤りであらう。

更に現在のストライキ運動の特徴の一つは、ストライキ運動が益々屢々街頭デモンストレーションから警察、憲兵隊、軍隊、ストライキ破り、社會ファシスト的スパイ等との衝突に至るといふことである。それによつて労働者は、益々經濟的闘争と政治的闘争との結合の必要を知るやうに仕向けられるのだ。

第十回プレヌム以後労働者運動が一聯の白色テロルの諸國に於けるファシスト獨裁の埒を打ち破つたといふ新たな事實がある。イタリアやルーマニアに於ける労働者の明白な態度が亂暴極まるファシスト的反動の數年以來、初めて革命的昂揚を反映してゐる。このことを一體否定することができるだらうか？

〔失業者運動〕。革命的昂揚の第三の現象は失業者運動である。第十回プレヌムの時期には、これはこのやうな大きさや形態のものではなかつた。現在全世界に約一千七百萬人のプロレタリアが、資本主義社會から飢餓と貧窮に打ち捨てられてゐる。この大衆は屈從して死なうとは思はない。彼等は嵐のやうなデモンストレーションによつて訴へ、政府や自治體代表者に向つて『パンと仕事』の要求を提出する。改良主義的労働組合や『労働者』大臣連や社會民主黨はこの大衆を裏切る。社會ファシスト

的ごろつき共は、労働者階級の運動を失業者運動から切り離さうとして、あらゆる方法で努力する。それは一つ一つの労働者の隊伍を一つ一つやつけるためなのだ。現在の恐慌の諸關係の下に於ける失業者運動の意義は非常に重大である。失業者運動は、ドイツのミュラーやイギリスのマクドナルド、トーマス等の社会民主主義者の政府のブルジョア・ファシスト的政治の本質を一目瞭然に暴露することによつて、プロレタリアートの全階級闘争を革命化する。

失業者運動の國際的意義がヨーロッパの諸共産黨によつて注意され、三月六日ヨーロッパの諸共産黨によつて注意され、三月六日ヨーロッパの諸共産黨によつて注意され、三月六日ヨーロッパの諸共産黨によつて失業者の國際的闘争デーが課せられた。三月六日は孤立した失業者運動の日ではない、成熟しつゝある世界經濟恐慌の全結果を労働者の肩に背負ひ込ませやうといふブルジョアジーの企圖に對する、全國際労働者階級の闘争の日でなければならなかつたのだ。

〔農民同盟軍の××運動への導入〕。最後に革命的昂揚の第四の現象形態は、世界農業恐慌の影響の下に、資本主義諸國に於ても亦た特に植民地に於ても、農民同盟軍の××運動への導入が始まつてゐる事實である。このことは、やつと微弱にしか現はれてゐないとしても、このことは革命的昂揚の現在の段階の特質を見るにあたつて第十回ブレナム以後に於て確認しなければならぬ一つの新たなこ

となのだ。吾々は最近クレタ島及びドイツに於て農民運動を見、ポーランドや南イタリアに於ける堪え難い課税負擔に對する農民間の不穩を見た。印度に於ける農民大衆の運動の開始が見られる。それに對する諸徴候は土地を渴望する印度シーク（前兵士）の運動、北方の宗教一派の運動及び約二萬五千人の農民が参加したパンジャブに於ける農民會議だ。更に農業恐慌と關聯してハイティ、南部ニゲリア及びその内の植民地に於る土人の蜂起の波が見られる。最後に第十回ブレナム以後南米反動の崩壊、支那の軍閥戦争の再勃發があり、支那に於ける革命の波の新たな昂揚に對して有利な前提が發生したことを證明してゐる。

すべて以上のことは、第十回ブレナム以後革命の波が一層高まつたことを物語つてゐる。過去に於て革命の波を否定した者だけは、このことを見得ないのだ。だがこのことから次の結論を導くことができるだらうか？ 即ち國際労働者運動が第十回ブレナムの時代に於けるやうな逆襲の段階を出でて全戦線に亘つて攻勢に移つたと結論し得るだらうか？

多くの人は次のやうに信じてゐる。第十回ブレナムは、労働者運動の昂揚の性質のうち主として逆襲について語つた。吾々は今——一層の昂揚を強調するために——プロレタリアートの總攻撃について語らなければならぬ。

問題をこのやうに立てることは結局ブランドラー主義者の立場、革命的昂揚に對する彼等の見解に移行することを意味するのだ。彼等の見解に従へば、それ「革命的昂揚」が二三週間のうちに革命的情勢へ、プロレタリアートの××争奪闘争へ生長する場合にのみ革命的昂揚があるので、それまでは労働者階級の徹底的な退却と労働者運動に於ける反動とが起らざるを得ないと言ふのだ。實際に於て革命的昂揚は、ブルジョアジーの攻撃を全然除外するものではない。だがそれはこの攻撃に反抗するプロレタリアートの戦闘力を前提する。世界恐慌の成熟に關聯して、労働者階級に加はるこのブルジョアジーの攻撃を現在拒否する「否定する」ことは事實を拒否することになるのだ。事實の拒否は幻想を生ぜしめ、且つこのことは革命家及び戰鬥的プロレタリア政治家の最上の性質には決して屬しないのである。

二三の同志達は、革命的昂揚に對する恐慌の直接的影響の問題を純粹に機械的に立てやうとする傾きがある。彼等は言ふ、恐慌は不可避免的に革命的昂揚を伴ふと。一九〇八年舊ツアールのロシアに於て經濟恐慌が勃發した時、それについてレーニンは何と言つたか？ 當時吾々の黨機關紙では、恐慌の發展が労働者運動の復活に對しどう作用するかといふ問題について活潑な討論が行はれた。或る者は、恐慌が經濟闘争のみでなく政治的闘争をも衰微させるだらうと主張した。また他の者は、經濟闘

争は衰微するが政治的闘争は強化するだらうと主張した。最後に第三の者は、恐慌を労働者運動の一般的革命的昂揚の見透しに結合した。この討論に關してレーニンは書いてゐる。

『どの考への根柢にも何らか誤つたものがあると吾々は信ずる。それは複雑な問題の單純化だ。疑ひもな工業恐慌の徹底的研究は最も重要だ。だがまた革命的昂揚が近づいてゐるかどうかと言ふ問題を正しく決定し得るやうな、恐慌についての數字は——たとへ表現し得る最も正確なものでも——そんなものがあるものではない、と言ふことは疑ひを容れない。なぜならば、この昂揚は前もつて豫測することのできない多くの要素に依存してゐるからだ。農村に於ける農業恐慌の基礎と工業に於ける波滯とがなくしては、深刻な政治的危機は不可能である。』(傍點筆者—M)

勿論吾々は、世界労働者運動昂揚を示してゐる一九三〇年の情勢と、舊ロシアに於ける一九〇八年の労働者運動の下降期の情勢とを比較しようとするものではない。だがこのことは、レーニンが恐慌と革命的昂揚との關係の問題に對してとつた態度が古くなつてしまつたことを意味しはしないのだ。今でも吾々は、現在の革命的昂揚が革命的情勢に生長する時點を豫言することはできない。現在の世界農業恐慌と成熟しつゝある工業恐慌とが、資本主義諸國に於ける深刻な一般的政治的危機に對する基礎を作り出すといふことを、吾々は知つてゐるばかりである。正にそれだからして現在の情勢は、

いかなる時にも増してコミンテルンの全支部に對し次の義務を負はせるのだ。即ち『一國に於ける全政治生活の脈搏、特に運動の情勢と廣汎なプロレタリア大衆の氣分とを最も注意深く追求する』義務を負はせるのだ。

だが現在の經濟恐慌が一般的政治的危機に生長するかどうか——このことはこれに關係するあらゆる要因に、何よりも先づ主體的要因即ち諸共產黨の力と戰鬥力とに依存する。だから吾々はテーゼのなかで、大衆を資本主義制度××に導くために現在の恐慌の諸結果を利用し盡すことができるかどうか——またいかに急速に、そして何時「できるかどうか」——といふことに對する決定的な前提としての主體的要因の上に、コミンテルンの全支部の注意をうながしてゐるのだ。かくして吾々には第十回プレヌムの主要問題が、労働者階級の多數者獲得のためのその戰略的テーゼが、問題になるのだ。労働者階級の多數者獲得の任務は、成熟しつゝある世界恐慌の前提の下には第十回プレヌムの時期に於けるよりもヨリ一層切實になつてゐる。今やこの方面に於ける諸共產黨にとつてヨリ有利な前提が発生する。今やアメリカ共產黨の労働者階級の大衆黨への轉化のための前提が第十回プレヌムの時期よりも數倍有利であることは明かではないか？ ドイツやポーランドの共產黨による労働者階級の多數者獲得のための前提は、一九三〇年三月に於ては半年以前に於けるよりも一層有利ではないだ

らうか？

吾々の戰術的立場に於ても亦たそれに對當した結論を導かなければならない。吾々は今までよりもつとつと急速に擴大しなければならぬ。單に大衆に對する共產主義者の影響ばかりでなく、諸共產黨の黨員數も亦た擴大しなければならぬ。イデオロギー的影響と大衆の組織的把握との間の間隙を今こそ清算しなければならぬ。同時に吾々の擴大は、労働者運動に對する社會民主主義者の影響の減退を伴はなくてはならない。労働者運動に於ける指導的役割の争奪に關してもしも社會民主主義者共にこつびどい打撃を喰はせることができないならば、革命的昂揚について語ることは何の役にも立たないのだ。

革命的昂揚は大きな計畫的活動を前提し、運動に曳きづられないために共產主義は、この計畫を日に遂行しなければならぬ。何よりも先づ吾々は、吾々の活動に於ける自然發生的な運動に關する極めて有害な理論を片付けてしまはなければならぬ。自發性の英雄達の哲學はかうだ。歴史が吾々に有利に働き、資本主義がその没落に直面すると同時に、共產主義者が大きな歴史的破局のために働きかける必要がなくなる。それは社會民主主義をも改良主義的労働組合官僚をも投げ捨て、しまひ、共產黨をして労働者運動に於ける指導的地位につかせるのだと。

この理論、受働性の理論、革命的日常活動の諸關係の下に於ける共產主義的理想の促進力に對する不信の理論は、實際に於て日和見主義的追隨主義の一現象であつて、これを克服することなしには、大衆獲得の鬭争に於て諸共產黨は重大な前進を一步も進めることができない。同時にこのやうな見解は、労働者運動に於ける黨の組織的役割の無理解を反映してゐるのだ。

第十回ブレンムの時期にオーストリアで経験した経験を考へよう。オーストリアでは、深刻な經濟的沈滞に基いて政治的危機が展開した。社會民主主義者共は、彼等を支持する數十萬の労働者の眼前でファシズムに降服した。オーストリア共產黨が労働者の大きな層をオーストリア社會ファシズムから切り離し、自らオーストリア労働者階級の大衆黨になり得る諸前提があるかのやうに思はれる。だがそれにも拘はらず、共產黨は一九二七年七月十五日の前夜に於けると同じ、數的に小さな組織に止まつてゐる。オーストリアに於ける吾々の黨の大敗北のこの経験は、吾々の主要缺陷を、吾々の前に曝露してゐるのではないか？ 従つてまた尖鋭化しつゝある階級鬭争のテムポにおき去られるといふことを。吾々は、よい論文やテーゼや決議を書くことのできるジャーナリストを持つてゐる。吾々は、テーゼの確定を忠實に繰り返すアヂテーターを持つてゐる。だが大衆運動を指導し、大衆の信頼を獲得し、大衆のなかへ×の權威を固く植え付けるといふさういふ人々を非常に僅かしか持つてゐないの

だ。もしもオーストリアでファシズムに對する鬭争が内亂にまで生長したとしても、内亂は吾々の黨の横を通り抜けてしまつただらう。そしてこのことが現在共產インターナショナルの多數の支部の最大危険である。

コミンテルンの多數の支部は未だに煽動及び宣傳の時期を脱してゐない。だが階級鬭争の全状態は既に吾々に對して大きな要求を課してゐる。大衆の生活状態を信じ難く悪化させる恐慌は、大衆を運動のなかへ導き、労働者階級の新たな諸層を吾々に持ち來る。だが諸共產黨は、それに對する準備ができてゐるだらうか？ だが諸共產黨は社會民主黨の脚の下を充分掘り崩してゐるだらうか？ 諸共產黨は充分強力な組織的支持點を、諸共產黨をして充分な準備をもつて諸事變に當ることとを可能にするばかりでなく、また諸事變の發展を運め、運動を指導し、その先頭に立つことを可能にする支持點を大衆のなかに持つてゐるだらうか？ 吾々は労働者階級のなかで運輸労働者、鑛山労働者、金屬労働者、化學工業労働者、電氣労働者の間で決定的地位を獲得してゐるだらうか？ この點に於て吾々は、一個の斷乎たる活動に、計畫的で、激烈で、忍耐づよい活動に當面してゐるのだ。

オーストリアの教訓を學びつくし、革命的昂揚の深化及び擴大の前提としての計畫的活動の上にコミンテルンの全支部の注意をうながすか、或はオーストリアの同志たちのやうに、客觀的革命的情勢

の影響に基く共産黨の大衆黨への轉化の「奇蹟」に吾々の希望をつなぐか、この二つのうちどちらか一つだ。

進出しつゝあるファシズムや社會ファシズム、また恐慌の全結果を勤勞者の上に轉化するブルジョアジーに對する鬭争に廣汎な大衆を動員するために、諸共産黨が固執しなければならぬ主要部分はどこにあるか？ この主要部分には勞賃、勞働時間、失業の問題と結びつき、ストライキ鬭争及び失業者運動の問題と結び付いてゐる。國際労働者階級の強力な運動のみが國民革命的植民地運動に確固たる基礎を與へ、資本主義的鎖の最も弱い環であるヨーロッパ諸國に於ける鬭争形態を尖鋭化するのだ。

革命的方法に於て、經濟鬭争よりも高度な鬭争形態を労働者階級が用ひることを吾々が望むならば、次のやうに命令する。ぼんやりしてゐないで、労働者階級の經濟鬭争の結合のために、その政治鬭争への導入のために活動せよ、政治的大衆ストライキに關する第十回ブレナムのスローガンを宣傳するばかりでなく、經濟鬭争の指導を通じて大衆を政治的大衆ストライキの實現に齎らせよ。

同志諸君、同時に吾々は、第十回ブレナム以後になされた經驗を考慮しつゝ、あらゆる個々の國に於て諸共産黨に對し今後數ヶ月間の最重要な主要任務を定めなければならない。一聯の諸國では共産黨は既にこの重要任務に着手してをり、共産インタナショナルの諸支部に對して方向を指し示してゐる。

ドイツ及びアメリカの×の××獲得カムバーニアの經驗は國際化されなければならない。コミンテルンの全支部は短いカムバーニアの形態に於てはなく、彼等の組織の組織的な日常活動として、××獲得活動を遂行しなければならない。吾々はこの活動に當つて、今までとは違つたテムボをとらなければならない。このテムボは革命的昂揚の現在のテムボを適應しなければならない。吾々の「今までの」テムボは平和時のテムボであつて、動亂時のテムボではない。例へば二百萬の労働者人口を有する一都市の組織たるパリの組織が、ベルリンの組織の挑戦に對して、千人の新黨員と二百人の新共産青年同盟員との獲得の義務を負つたといふことは、おかしなことである。

「そこで同志マヌイルスキーは、コミンテルンの個々の支部に對する現在の瞬間に於ける最重要任務を算へ、そして言ふ」。

今後數ヶ月間に對して吾々の課する諸任務は、見たところ控へ目に見える。それらには劃時代的なものはないし、新しい輝かしいスローガンもなく、利口でえらがつた『新しい言葉』もない。だが絶えず大衆と接觸してをり、吾々のあらゆる弱點と缺陷とを強く感じてゐる××員ならば、普通の×員の誰でもが、この全××黨の肩にかゝつてゐる任務を理解し得るのだ。これらの任務は、幾千人もの××黨員が工場のなかで遂行する大きな活動から切り離されはしない。これらの任務は、革命的運動

一四八

の数ヶ月數ヶ年に於て集められた経験によつて浸透される。これらの任務は革命的昂揚の方向に向つて、資本主義を××××、プロレタリア××××を××××するための労働者階級の——口先きによる闘争ではなく——行動に於ける闘争の方向に向つて置かれるのだ。これらの任務を遂行することは、プロレタリア革命とその成果とのために活動することを意味する。これはすばらしく廣汎な戦線を整へ、後れたものを引き寄せ、前衛と結付き、後部を固め、全世界の勤勞者の巨大な軍隊を、最後の決定的闘争のために決意せしめることを意味するのだ。そしてこのやうな諸條件の下に於てのみ、××的世界運動の司令部——諸×××——は、事變の決定的急變に際し、急激な歴史的方向轉換に際して、その時點を吾々は正確に知り得ないが、確固且つ従容として言ふことができる、『用意はできてゐる！』と。

著 者 権			所 有		
昭和五年十一月一日印刷 昭和五年十一月五日發行					
發 行 所	譯 者	發 行 者	印 刷 者	定 價 金 五 拾 錢	
東京市牛込區鶴卷町四七一 振替東京六七五一九番 希望閣	希 望 閣 編 輯 部	東京市牛込區早稻田鶴卷町四七一 市 川 義 雄	東京市外下戸塚二四〇 内 田 廣 藏		

【行 印 所 刷 印 原 萩】

希望閣出版書目

著譯者	書名	定價	送料	著者	論	價
デボーリン著	哲學とマルクス主義	一、五〇	〇、一〇	佐野 學著	宗 教	一、四〇
河上 肇著	マルクス主義經濟學	一、三〇	〇、一〇	河上 肇著	唯物論哲學としてのマルクス主義	一、三〇
シヤバロフ著	マルクス主義への道	一、五〇	〇、一〇	シヤバロフ著	薩 州	一、四〇
ロシュエーテン著	サザエト憲法	一、八〇	〇、一〇	著	廣東から上海へ	一、六〇
アヂアチクス著	廣 東	一、六〇	〇、一〇	著	抗 争 と 建 設 の 勞 農 ロ シ ア の 諸 逆 流	一、七〇
産業労働調査所著	闘争と建設の勞農ロシア	一、七〇	〇、一〇	産業労働調査所著	闘 争 と 建 設 の 勞 農 ロ シ ア の 諸 逆 流	一、七〇
産業労働調査所著	抗 争 と 建 設 の 勞 農 ロ シ ア の 諸 逆 流	一、七〇	〇、一〇	産業労働調査所著	抗 争 と 建 設 の 勞 農 ロ シ ア の 諸 逆 流	一、七〇
大西俊夫著	農民運動の道	一、八〇	〇、一〇	大西俊夫著	農 民 運 動 の 道	一、八〇
プーハリン著	世界經濟と帝國主義	一、二〇	〇、一〇	プーハリン著	世 界 經 濟 と 帝 國 主 義	一、二〇
村山藤四郎著	政治的戰略Ⅱ 戦術	一、六〇	〇、一〇	村山藤四郎著	政 治 的 戰 略 Ⅱ 戰 術	一、六〇
山根一郎著	産業合理化と労働階級	一、二〇	〇、一〇	山根一郎著	産 業 合 理 化 と 勞 働 階 級	一、二〇
無産者新聞社	無産者新聞論説集	一、〇〇	〇、一〇	無産者新聞社	無 産 者 新 聞 論 説 集	一、〇〇
服部之聽著	明治維新史	一、二〇	〇、一〇	服部之聽著	明 治 維 新 史	一、二〇

著譯者	書名	定價	送料	著者	論	價
緒方・沼田著	改良主義論	一、七〇	〇、一〇	緒方・沼田著	改 良 主 義 論	一、七〇
産 勞 編	ロシア革命誌	一、四〇	〇、一〇	産 勞 編	ロ シ ア 革 命 誌	一、四〇
佐野 學著	宗教に就て	一、四〇	〇、一〇	佐野 學著	宗 教 に 就 て	一、四〇
評議會編	工代会議の戦術	一、五〇	〇、一〇	評議會編	工 代 會 議 の 戦 術	一、五〇
マルクス著	クーゲルマンへの手紙	一、三〇	〇、一〇	マルクス著	ク ー ゲ ル マ ン へ の 手 紙	一、三〇
林 房雄著	マルクス主義と哲學	一、二〇	〇、一〇	林 房 雄 著	マ ル ク ス 主 義 と 哲 學	一、二〇
塚本三吉著	ソヴェト・ロシア辭典	一、〇〇	〇、一〇	塚本三吉著	ソ ヴ ェ ト ・ ロ シ ア 辭 典	一、〇〇
研究所編	ウラヂミール・イリイチ・レニン	一、三〇	〇、一〇	研究所編	ウ ラ チ ミ ル ・ イ リ イ チ ・ レ ニ ン	一、三〇
瓜生 信夫著	人間レニン	一、八〇	〇、一〇	瓜生 信夫著	人 間 レ ニ ン	一、八〇
瓜生 信夫著	革命の陣頭に起ちて	一、〇〇	〇、一〇	瓜生 信夫著	革 命 の 陣 頭 に 起 ち て	一、〇〇
三矢 剛著	辯證法的唯物論入門	一、〇〇	〇、一〇	三矢 剛著	辯 證 法 的 唯 物 論 入 門	一、〇〇
高橋 一夫著	レニン主義の理論と實踐	一、八〇	〇、一〇	高橋 一夫著	レ ニ ン 主 義 の 理 論 と 實 踐	一、八〇
アドラトスキー著		一、〇〇	〇、一〇	アドラトスキー著		一、〇〇
北野・河野編		一、〇〇	〇、一〇	北野・河野編		一、〇〇
産 勞 編		一、〇〇	〇、一〇	産 勞 編		一、〇〇
清水 三郎編	反動期に於けるマルクス・エンゲルス	一、四〇	〇、一〇	清水 三郎編	反 動 期 に 於 け る マ ル ク ス ・ エ ン ゲ ル ス	一、四〇
高橋 一夫著	農業問題と『マルクス批判者』	一、八〇	〇、一〇	高橋 一夫著	農 業 問 題 と 『 マ ル ク ス 批 判 者 』	一、八〇
支那問題研究會編	支那問題辭典	一、八〇	〇、一〇	支那問題研究會編	支 那 問 題 辭 典	一、八〇
大竹博吉著	労働者に答ふ	一、四〇	〇、一〇	大竹博吉著	勞 働 者 に 答 ふ	一、四〇
クアルイレンコ著	ソヴェト法並に國家の哲學的基礎	一、五〇	〇、一〇	クアルイレンコ著	ソ ヴ ェ ト 法 並 に 國 家 の 哲 學 的 基 礎	一、五〇
スタール著	社會民主主義のために	一、六〇	〇、一〇	スタール著	社 會 民 主 主 義 の た め に	一、六〇
プーハリン著	マルクス主義と農民問題	一、五〇	〇、一〇	プーハリン著	マ ル ク ス 主 義 と 農 民 問 題	一、五〇
メチエリヤコフ著	マルクス主義と農民問題	一、五〇	〇、一〇	メチエリヤコフ著	マ ル ク ス 主 義 と 農 民 問 題	一、五〇
バシユカエー著	マルクス主義と農民問題	一、五〇	〇、一〇	バシユカエー著	マ ル ク ス 主 義 と 農 民 問 題	一、五〇
エリコリ著	マルクス主義のために	一、四〇	〇、一〇	エリコリ著	マ ル ク ス 主 義 の た め に	一、四〇
河上 肇著	マルクス主義のために	一、四〇	〇、一〇	河上 肇著	マ ル ク ス 主 義 の た め に	一、四〇
ヴァアルガ編	マルクス主義のために	一、四〇	〇、一〇	ヴァアルガ編	マ ル ク ス 主 義 の た め に	一、四〇
スタール著	労働者に答ふ	一、四〇	〇、一〇	スタール著	勞 働 者 に 答 ふ	一、四〇
プーハリン著	労働者に答ふ	一、四〇	〇、一〇	プーハリン著	勞 働 者 に 答 ふ	一、四〇
クアルイレンコ著	労働者に答ふ	一、四〇	〇、一〇	クアルイレンコ著	勞 働 者 に 答 ふ	一、四〇
大竹博吉著	労働者に答ふ	一、四〇	〇、一〇	大竹博吉著	勞 働 者 に 答 ふ	一、四〇
支那問題研究會編	支那問題辭典	一、八〇	〇、一〇	支那問題研究會編	支 那 問 題 辭 典	一、八〇
高橋 一夫著	農業問題と『マルクス批判者』	一、八〇	〇、一〇	高橋 一夫著	農 業 問 題 と 『 マ ル ク ス 批 判 者 』	一、八〇
清水 三郎編	反動期に於けるマルクス・エンゲルス	一、四〇	〇、一〇	清水 三郎編	反 動 期 に 於 け る マ ル ク ス ・ エ ン ゲ ル ス	一、四〇

レーニン	農業問題と「マルクス批判家」	定価八 送料六 十 錢錢
ミリウテイン	農業問題	定価四 送料四 十 錢錢
産 勞 編	サヴェト・ロシアの 農村問題	定価一 送料八 錢圓
スターリン	サヴェト農村の 社會主義的建設	定価四 送料四 十 錢錢
レーニン	ロシア農村問題 十九世紀末ロシアに於ける農村問題	定価七 送料六 十 錢錢
マルチエリヤコフ メシテリヤコフ	マルクス主義と農民問題	定価一圓五十 送料十 錢錢
ヴァルガ	農業問題の理論的基礎	定価七 送料十 十 錢錢
レーニン	社會民主黨の農村綱領	定価四 送料四 十 錢錢
ポポフ	マルクス農民に関する見解	定価五 送料四 十 錢錢

¥.50

終